

第4回くらしと生活設計に関する調査 報告書

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査内容	3
3. 調査対象	3
4. 抽出方法	3
5. 調査方法	3
6. 調査期間	3
7. 回収状況	4
8. 回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年代	4
(3) 未既婚	5
(4) 本人および配偶者の健康状態	5
(5) 本人・父母・配偶者の最終学歴	6
(6) 世帯主からみた続き柄	6
(7) 住居および生計をともにしている家族人数	6
(8) 子ども人数（養子・継子・非同居含む）	7
(9) 子どもの状況	7
(10) 現在同居者	9
9. この報告書を読む際の注意	9
II 結果の概要	11
1. 消費生活について	13
(1) 買い物について	13
2. 小学生の頃のことについて	17
(1) 高学年の頃の家族との外食頻度	17
(2) 高学年の頃の家庭の収入状況	17
(3) 高学年の頃の父親と母親の職業	18
(4) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額	19
(5) 高学年の頃の家の仕事の手伝い	19
(6) 小学生の頃の両親の公営競技等	20
3. 金融の知識について	21
(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報	21
(2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品	22

(3) 金利の計算	22
4. クレジットカードについて	23
(1) クレジットカードに対する意見	23
(2) 自分名義クレジットカードの保有状況	24
(3) 自分名義クレジットカードの利用状況	25
(4) 自分名義クレジットカードの利用金額	25
(5) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き）	26
(6) 自分名義クレジットカードの選択理由	27
(7) 自分名義クレジットカードの利用先	28
5. カードローンや消費者金融について	29
(1) カードローンや消費者金融に対する意見	29
(2) カードローンや消費者金融からの借入経験	30
(3) カードローンや消費者金融から借入したことによる生活の変化	32
(4) カードローンや消費者金融から借入した理由	33
(5) 現在のカードローンや消費者金融からの借入状況	34
(6) 現在のカードローンや消費者金融からの借入総額	35
(7) カードローンや消費者金融からの現在の借入への返済	36
6. 決済方法について	37
(1) 各種支払いに利用する決済方法	37
(2) スマホ決済の利用状況・利用意向	40
(3) 利用しているスマホ決済（利用意向含む）	41
(4) スマホ決済を利用しない理由	42
7. 消費税率の引上げについて	43
(1) 消費税率引上げ前の駆け込み購入	43
(2) 消費税率引上げ前の駆け込み購入の金額	44
(3) 消費税率引上げ後の消費増減	45
(4) 消費税率引上げ後の買い物内容や買い方の変化	46
(5) ポイント還元制度の利用	47
(6) ポイント還元が受けられる店舗で利用した金額と決済方法	48
(7) ポイント還元制度を利用しなかった理由	49
8. リスク性金融商品について	50
(1) リスク性金融商品の保有・運用経験	50
(2) リスク性金融商品の保有・運用の目的	51
(3) リスク性金融商品を保有・運用しない理由	52
(4) リスク性金融商品を保有する必要性	53

(5) 魅力を感じるリスク性金融商品	53
(6) 税制が優遇される長期資産形成制度の利用	54
9. 就業状況について	55
(1) 現在就業状況（本人・配偶者）	55
(2) 就業者の雇用形態（本人・配偶者）	56
(3) 就業者の業種（本人・配偶者）	57
(4) 就業者の職種（本人・配偶者）	58
(5) 就業者の就業先従業員数（本人・配偶者）	60
(6) 就業者の就労時間（本人・配偶者）	61
(7) 就業者の就労時期（本人・配偶者）	62
(8) 就業者の仕事に対する満足度（本人）	63
10. 収入と支出、社会保険について	64
(1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）	64
(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）	65
(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出	67
(4) 家計の収支状況と保有金融資産残高	68
11. 住居について	69
(1) 住居形態	69
(2) 取得経路・取得時期	70
(3) 自己資金以外の購入資金	71
(4) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利	72
(5) 住居構造・築年数・敷地面積・床面積	74
(6) 持ち家の3年後の資産価値予測（持ち家居住者）	76
(7) ひと月の家賃（賃貸居住者）	77
12. 金融機関の利用状況について	78
(1) 利用している金融機関	78
(2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス	79
(3) 行員等がいる窓口を利用している金融機関	80
(4) 銀行等の窓口を利用する目的、理由	80
(5) 銀行等の窓口を利用する頻度・最もよく窓口を利用する金融機関	82
(6) 最もよく窓口利用する金融機関のロケーション	83
(7) 窓口利用する金融機関の店舗の変更	84
Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）	85

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、個人の生活設計や暮らしむきに関する考え方を調査することにより、個人金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。

2. 調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、「Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）」を参照。

- (1) 消費生活について
- (2) 小学生の頃のことについて
- (3) 金融の知識について
- (4) クレジットカードについて
- (5) カードローンや消費者金融について
- (6) 決済方法について
- (7) 消費税率の引上げについて
- (8) リスク性金融商品について
- (9) 就業状況について
- (10) 収入と支出、社会保険について
- (11) 住居について
- (12) 金融機関の利用状況について

3. 調査対象

20歳以上の男女個人 5,000人

4. 抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出法により全国から 250 の調査地点を選び、各調査地点から 20 歳以上の個人を無作為に 20 人選ぶことによって、計 5,000 の調査対象者（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出は原則住民基本台帳を使用し、住民基本台帳が閲覧できなかった地点については住宅地図により抽出した。

5. 調査方法

抽出した調査対象者に依頼状と調査票を送付した後、記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった（郵送法と郵送留め置き法の併用）。

6. 調査期間

2019年11月23日（土）～12月24日（火）

7. 回収状況

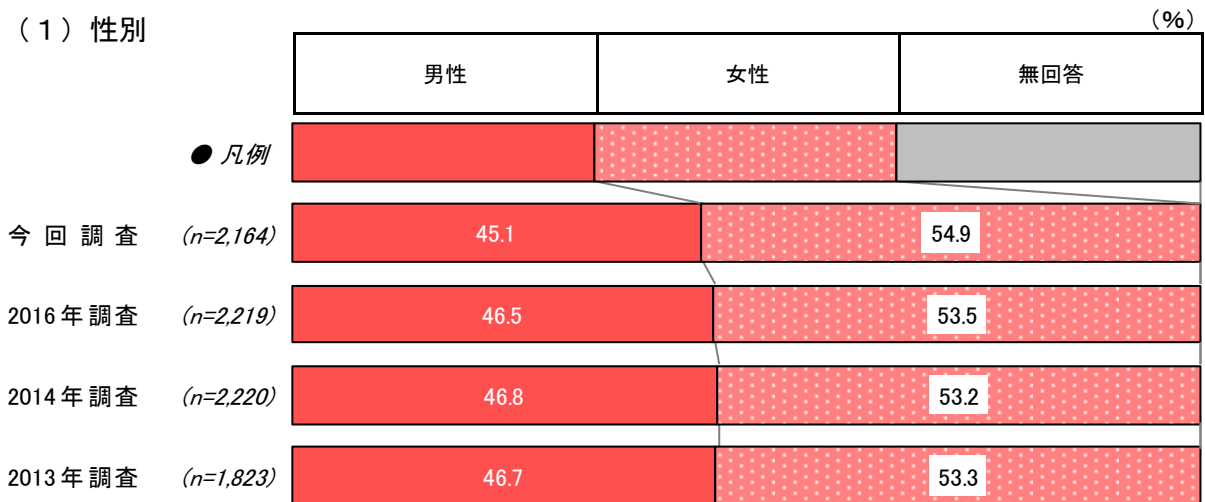
有効回収数（回収率） 2,164 票（43.3%）

〈地域別〉

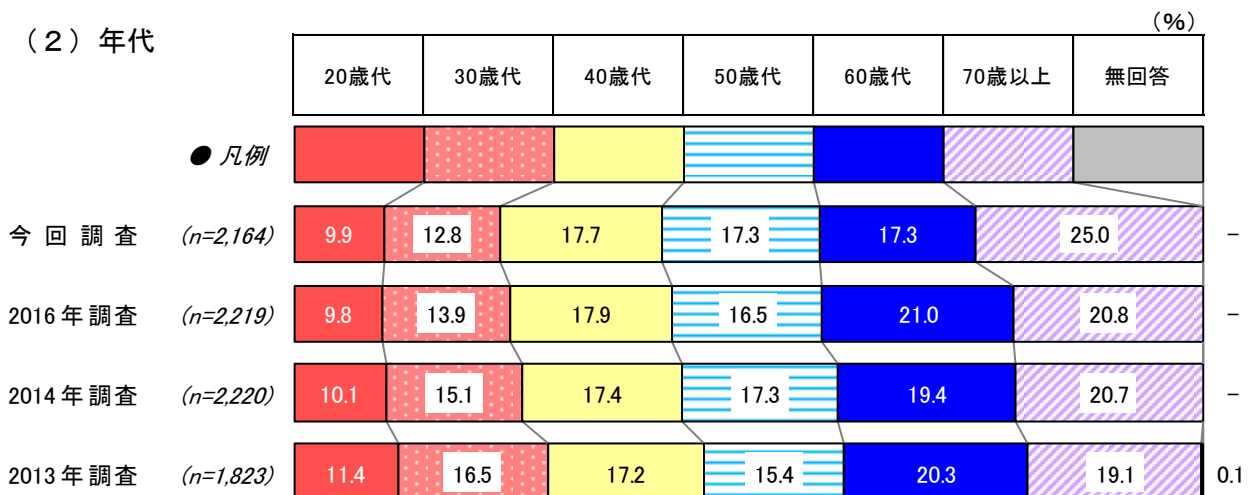
	抽出数	回収数	回収率
全 国	5,000	2,164	43.3%
北海道	220	108	49.1%
東 北	360	209	58.1%
関 東	1820	675	37.1%
北 陸	200	100	50.0%
中 部	580	271	46.7%
近 畿	820	318	38.8%
中 国	300	138	46.0%
四 国	140	65	46.4%
九 州	560	280	50.0%

8. 回答者の属性

(1) 性別

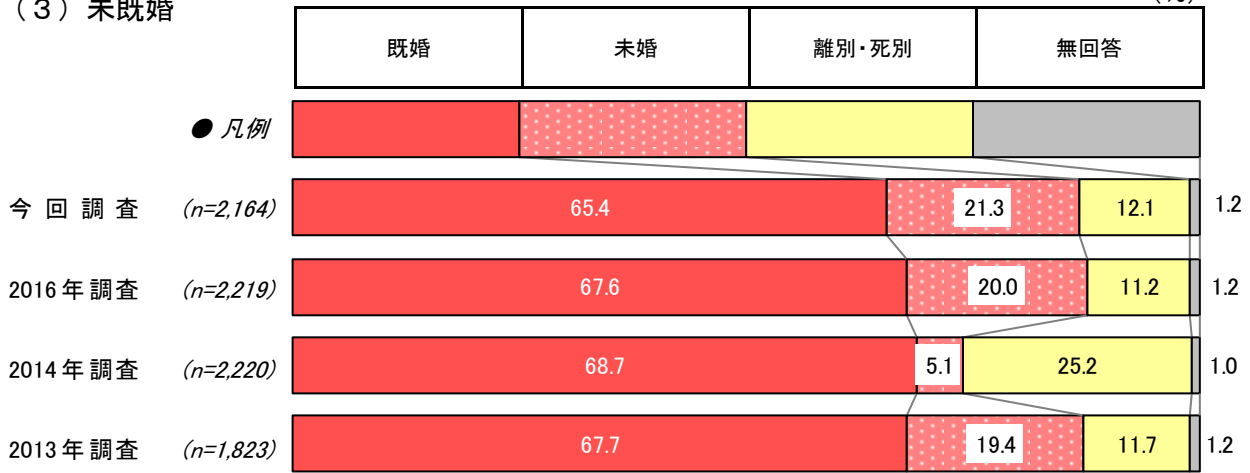


(2) 年代



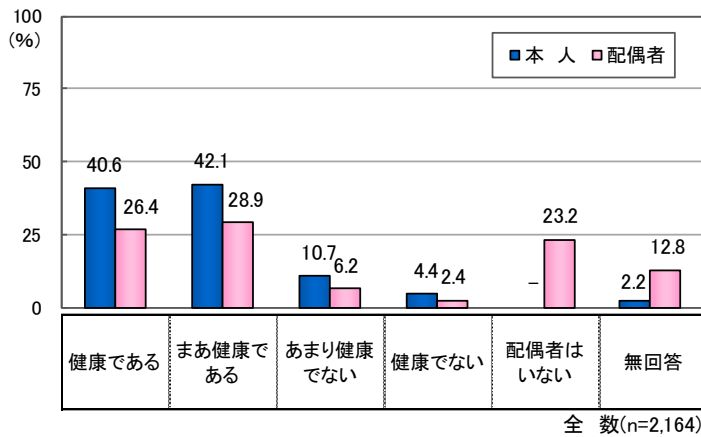
(3) 未既婚

(%)

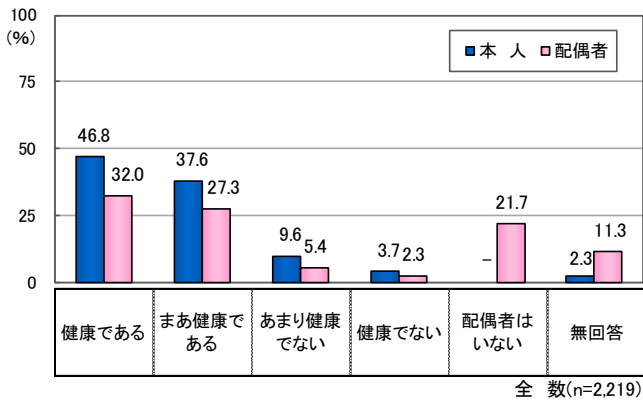


(4) 本人および配偶者の健康状態

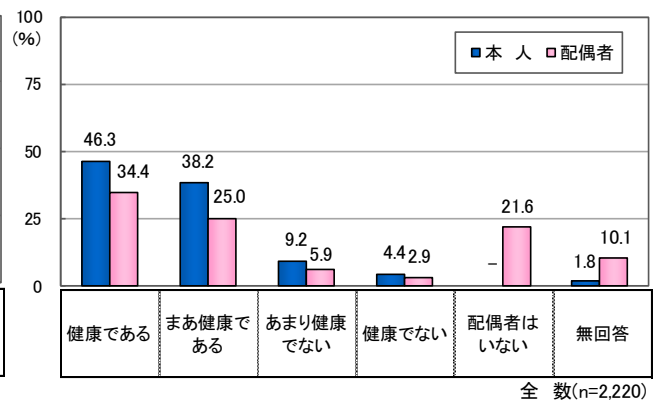
【今回調査】



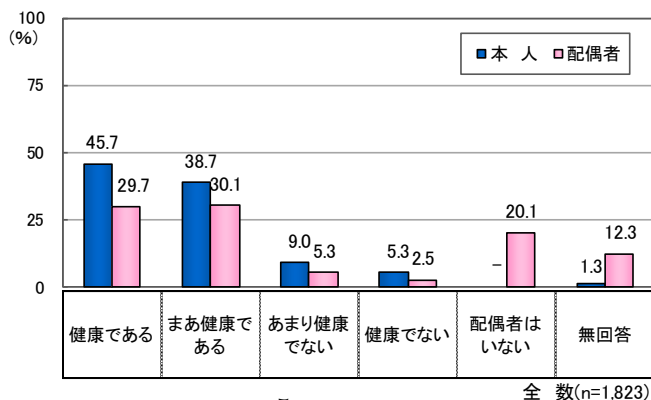
【2016年調査】



【2014年調査】



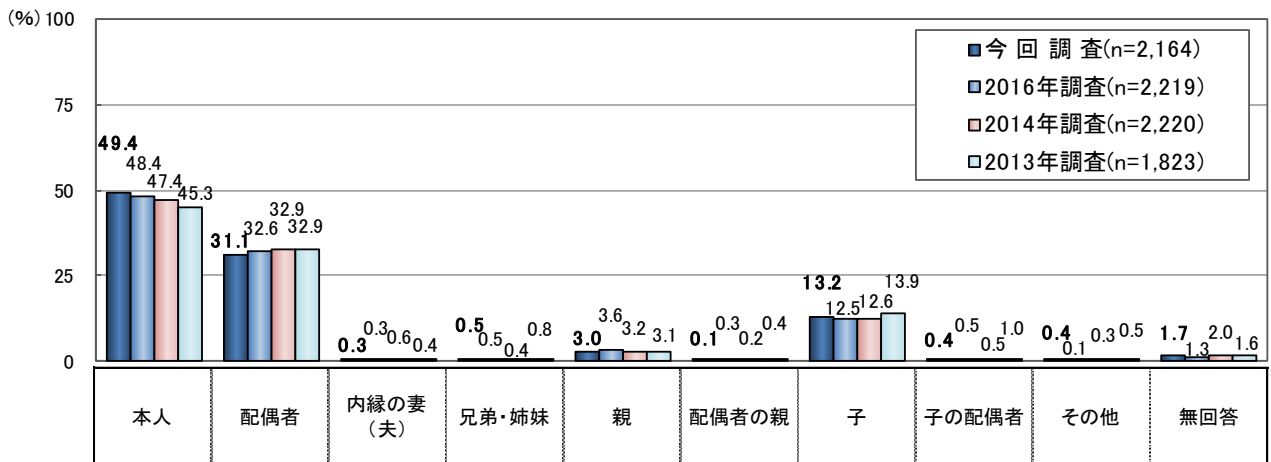
【2013年調査】



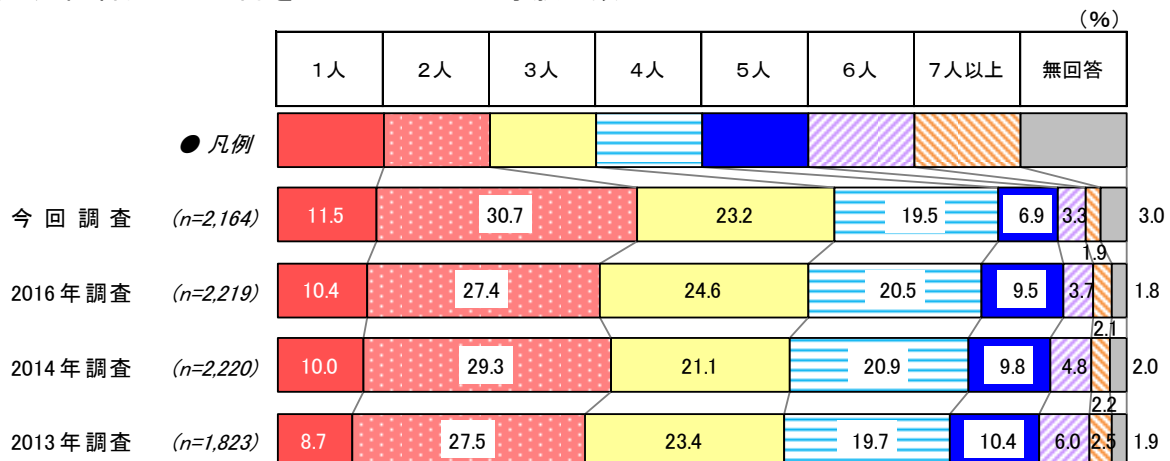
(5) 本人・父母・配偶者の最終学歴

		中学校(旧制小・高等小)	高等学校(旧制中・旧制高女)	専修学校・各種学校	短大・高等専門学校	大学・大学院(文系)	大学・大学院(理系)	その他	わからない	無回答
本人	今回調査 (n=2,164)	9.8	39.0	9.9	12.8	17.3	7.3	0.9	0.2	2.9
	2016年調査 (n=2,219)	10.6	40.4	9.0	12.5	15.9	7.5	0.1	0.5	3.5
	2014年調査 (n=2,220)	12.0	41.2	8.5	12.0	14.1	7.5	0.1	0.3	4.3
	2013年調査 (n=1,823)	13.1	42.6	8.2	12.3	13.2	6.9	0.7	0.6	2.4
本人の父親	今回調査 (n=2,164)	31.3	29.3	2.6	3.0	9.9	5.1	0.5	11.3	6.9
	2016年調査 (n=2,219)	31.2	28.9	2.7	2.7	9.9	3.9	0.0	12.9	7.9
	2014年調査 (n=2,220)	32.9	27.1	2.8	2.4	8.5	4.2	0.2	13.0	8.9
	2013年調査 (n=1,823)	34.4	28.6	2.0	2.5	9.1	4.2	0.4	11.1	7.7
本人の母親	今回調査 (n=2,164)	29.8	36.3	3.4	7.6	4.3	0.8	0.3	10.6	6.8
	2016年調査 (n=2,219)	29.0	36.3	3.3	7.6	3.2	0.4	0.2	12.0	8.1
	2014年調査 (n=2,220)	31.7	34.3	3.5	6.7	3.0	0.7	0.1	11.1	8.8
	2013年調査 (n=1,823)	34.0	32.4	3.3	7.5	3.6	0.5	0.4	10.3	8.0
配偶者(離別・死別の場合は元配偶者を含む)	今回調査 (n=2,164)	7.0	31.1	5.8	8.5	13.6	5.4	0.4	1.0	27.3
	2016年調査 (n=2,219)	8.1	29.8	6.3	8.8	12.5	5.9	0.1	1.0	27.4
	2014年調査 (n=2,220)	10.1	33.1	5.7	8.2	10.4	5.7	0.2	1.4	25.1
	2013年調査 (n=1,457)	10.7	37.1	5.8	9.0	13.0	7.7	0.3	1.2	15.3

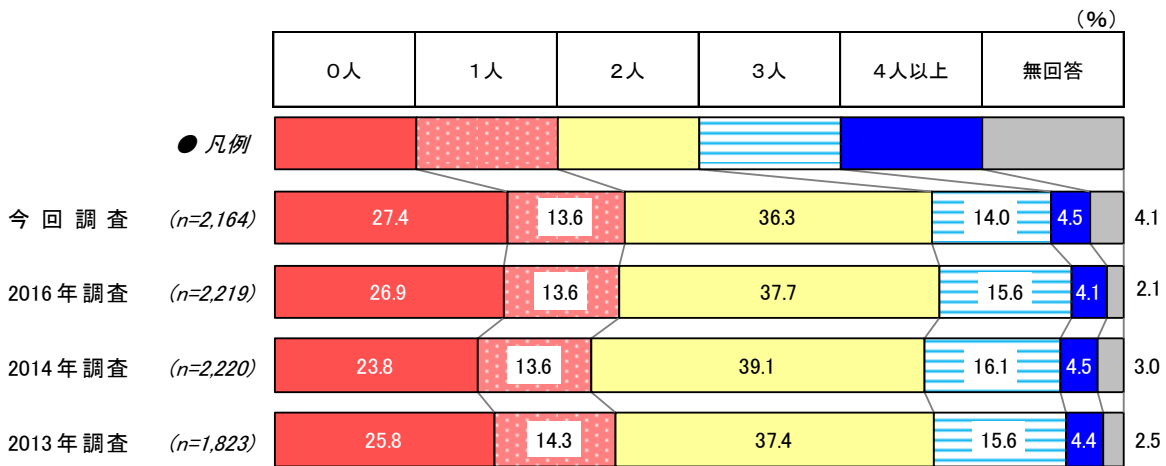
(6) 世帯主からみた続き柄



(7) 住居および生計をともにしている家族人数

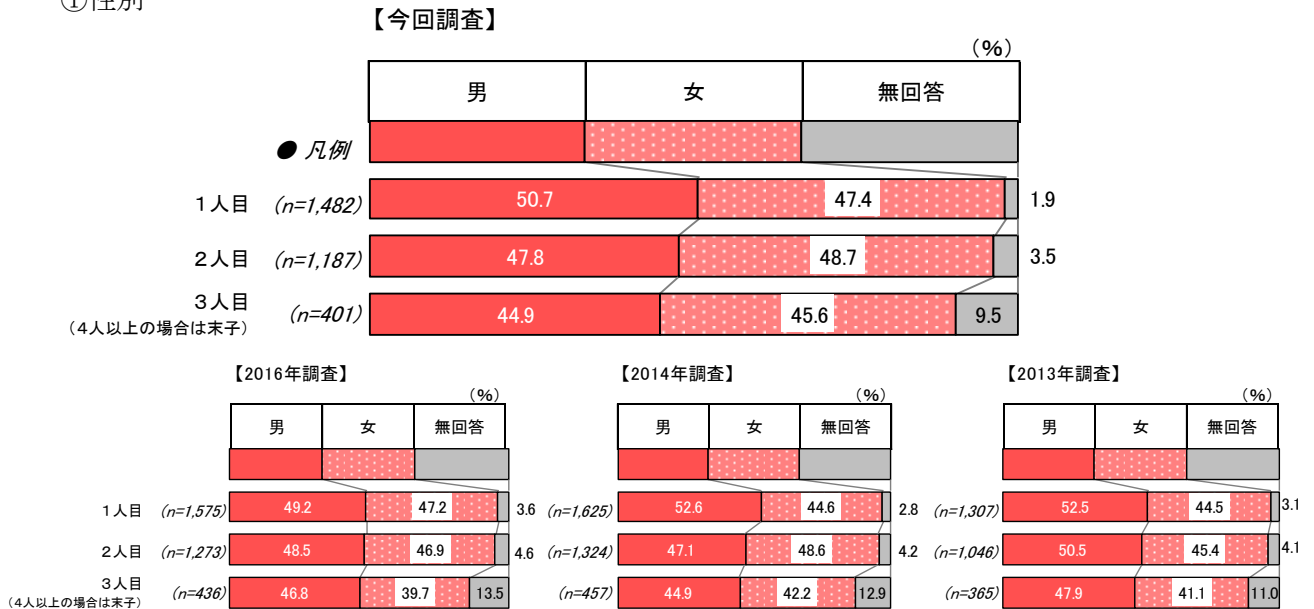


(8) 子ども人数 (養子・継子・非同居含む)



(9) 子どもの状況

①性別



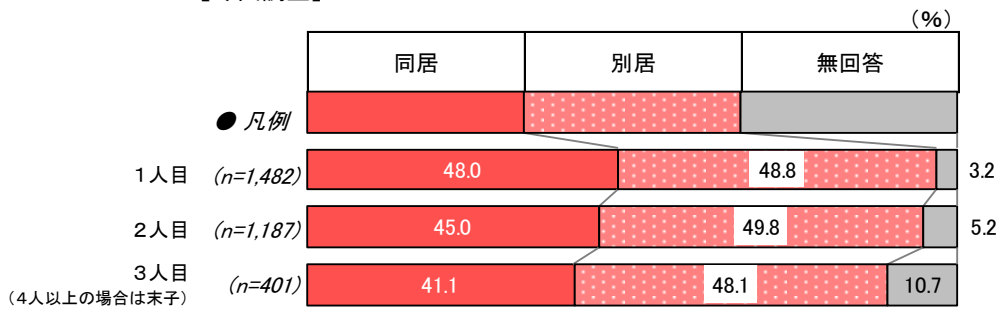
②出生年 (西暦)

(%)

		1950年代以前	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	無回答
1人目	今回調査 (n=1,482)	1.8	8.8	18.3	17.2	15.9	15.9	12.2	10.1
	2016年調査 (n=1,575)	3.5	12.3	20.1	16.4	14.9	13.4	8.4	11.1
	2014年調査 (n=1,625)	5.5	13.2	17.2	13.9	16.1	14.0	5.8	14.2
	2013年調査 (n=1,307)	4.7	11.1	18.5	14.2	15.5	13.8	5.3	16.8
2人目	今回調査 (n=1,187)	0.9	7.2	17.7	18.4	15.6	14.2	14.2	11.9
	2016年調査 (n=1,273)	2.1	9.9	19.6	20.5	14.3	13.4	8.5	11.7
	2014年調査 (n=1,324)	2.6	11.8	18.6	15.9	14.7	15.1	6.0	15.3
	2013年調査 (n=1,046)	3.5	10.2	19.1	15.2	16.3	13.4	4.5	17.8
3人目 (4人以上の場合は末子)	今回調査 (n=401)	0.2	4.7	13.2	20.2	14.7	12.7	13.7	20.4
	2016年調査 (n=436)	0.7	3.7	15.6	20.0	14.9	12.8	11.2	21.1
	2014年調査 (n=457)	3.1	5.9	13.8	18.6	15.8	13.8	6.3	22.8
	2013年調査 (n=365)	4.1	5.5	13.7	17.0	15.1	14.2	6.0	24.4

③同居状況

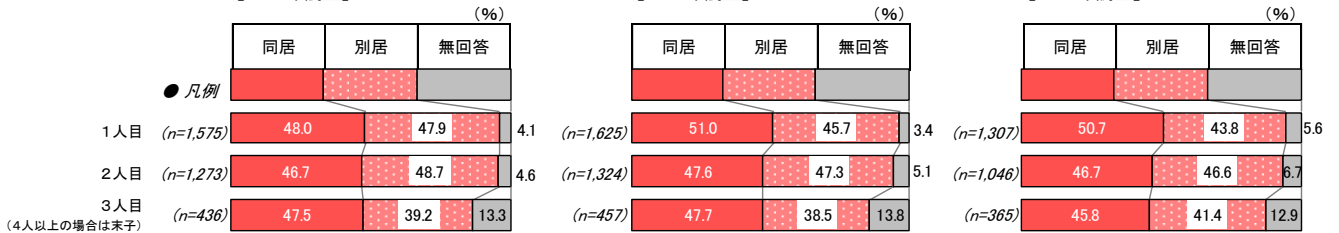
【今回調査】



【2016年調査】

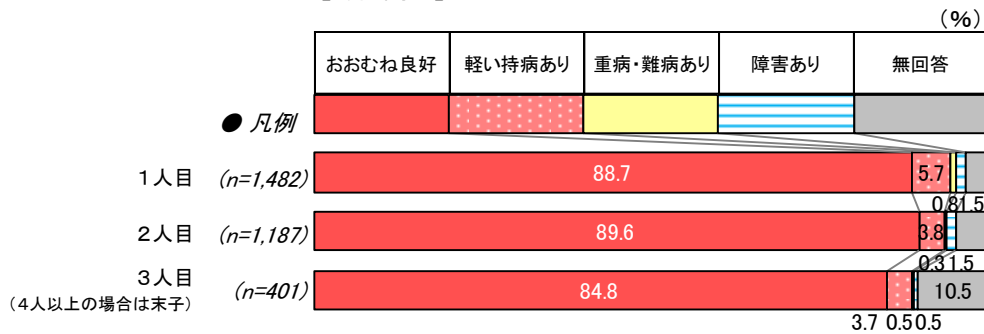
【2014年調査】

【2013年調査】



④健康状態

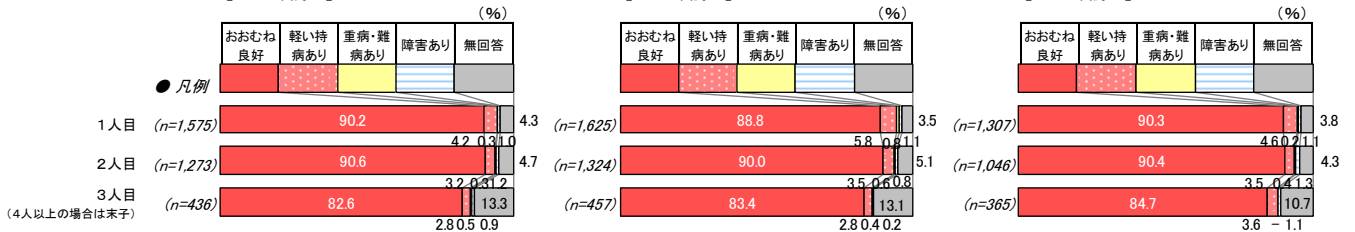
【今回調査】



【2016年調査】

【2014年調査】

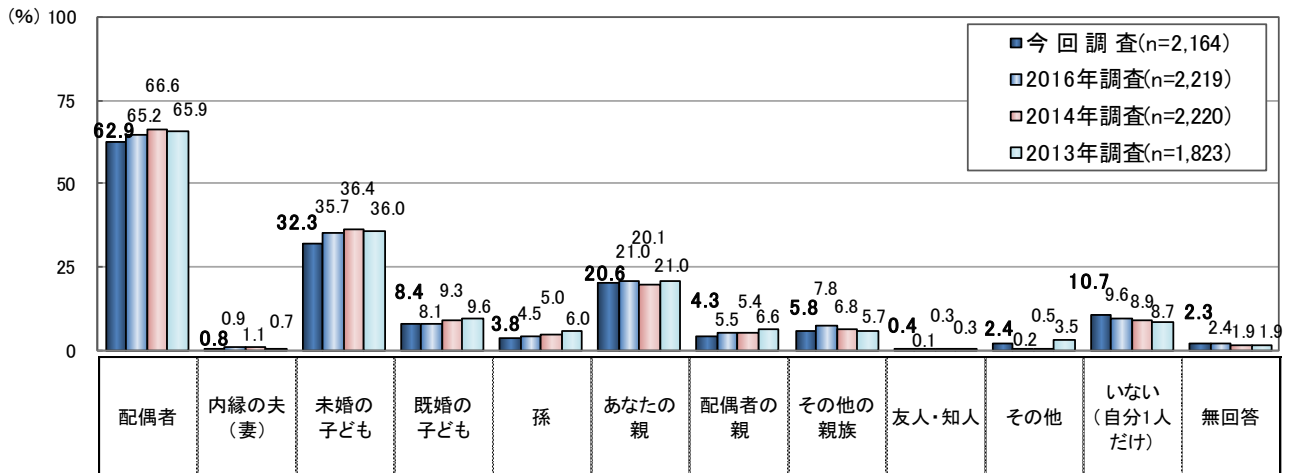
【2013年調査】



⑤学校等教育機関での在籍状況

調査年	人数	在籍状況 (%)									
		認可保育園	認可外保育施設(認証保育園、ベビーホテル等)	幼稚園	小中高校(国公立)	小中高校(私立)	短大・高专	大学・大学院	その他教育機関	該当なし	無回答
1人目	今回調査 (n=1,482)	3.3	0.2	2.2	24.2	5.4	6.3	15.0	1.1	33.6	8.7
	2016年調査 (n=1,575)	2.7	0.3	2.7	14.6	2.7	0.8	16.8	1.2	35.0	23.2
	2014年調査 (n=1,625)	3.1	0.4	2.2	16.6	3.7	1.3	13.2	1.2	37.5	20.9
	2013年調査 (n=1,307)	2.8	0.2	2.4	15.1	2.5	1.0	10.9	1.4	37.1	26.5
2人目	今回調査 (n=1,187)	4.2	0.3	2.3	22.7	4.7	7.2	14.7	1.4	31.5	10.9
	2016年調査 (n=1,273)	3.2	0.3	2.0	14.5	2.4	1.1	14.5	0.7	36.2	25.2
	2014年調査 (n=1,324)	2.7	0.0	3.1	17.6	3.1	0.8	11.3	1.2	36.8	23.3
	2013年調査 (n=1,046)	3.1	0.3	2.1	16.9	2.4	1.3	10.5	0.8	34.0	28.6
3人目 (4人以上の場合は末子)	今回調査 (n=401)	4.7	0.5	2.5	23.2	4.2	6.2	11.7	0.5	31.7	14.7
	2016年調査 (n=436)	5.7	0.5	1.6	14.9	1.8	0.7	8.7	1.1	35.3	29.6
	2014年調査 (n=457)	2.4	0.7	2.0	19.9	2.6	0.9	7.7	1.8	33.9	28.2
	2013年調査 (n=365)	3.8	0.3	3.0	16.4	3.0	1.1	7.7	1.6	30.7	32.3

(10) 現在同居者



9. この報告書を読む際の注意

- (1) 図表中の n とは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数 (2,164 人)、または分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は、小数点第 2 位で四捨五入して、小数点第 1 位までを表示した。四捨五入したため、合計値が 100% と一致しないことがある。
- (3) 「複数回答」と表示のある設問は、2 つ以上の複数回答を認めているため、回答計は 100% を超える。
- (4) 図表中“—”は、回答者が皆無であることを、“0.0”は 0.05 未満の数値であったことを示す。
- (5) 回答者数が 50 人より少ない場合は傾向をみるにとどめ、コメントは百分比でなく人数を紹介している。
- (6) 過去調査 (2013 年 3 月実施、2014 年 8 月実施、2016 年 1 1 月実施) と同一設問については、図表中に「2013 年調査」「2014 年調査」「2016 年調査」として数値を紹介している。

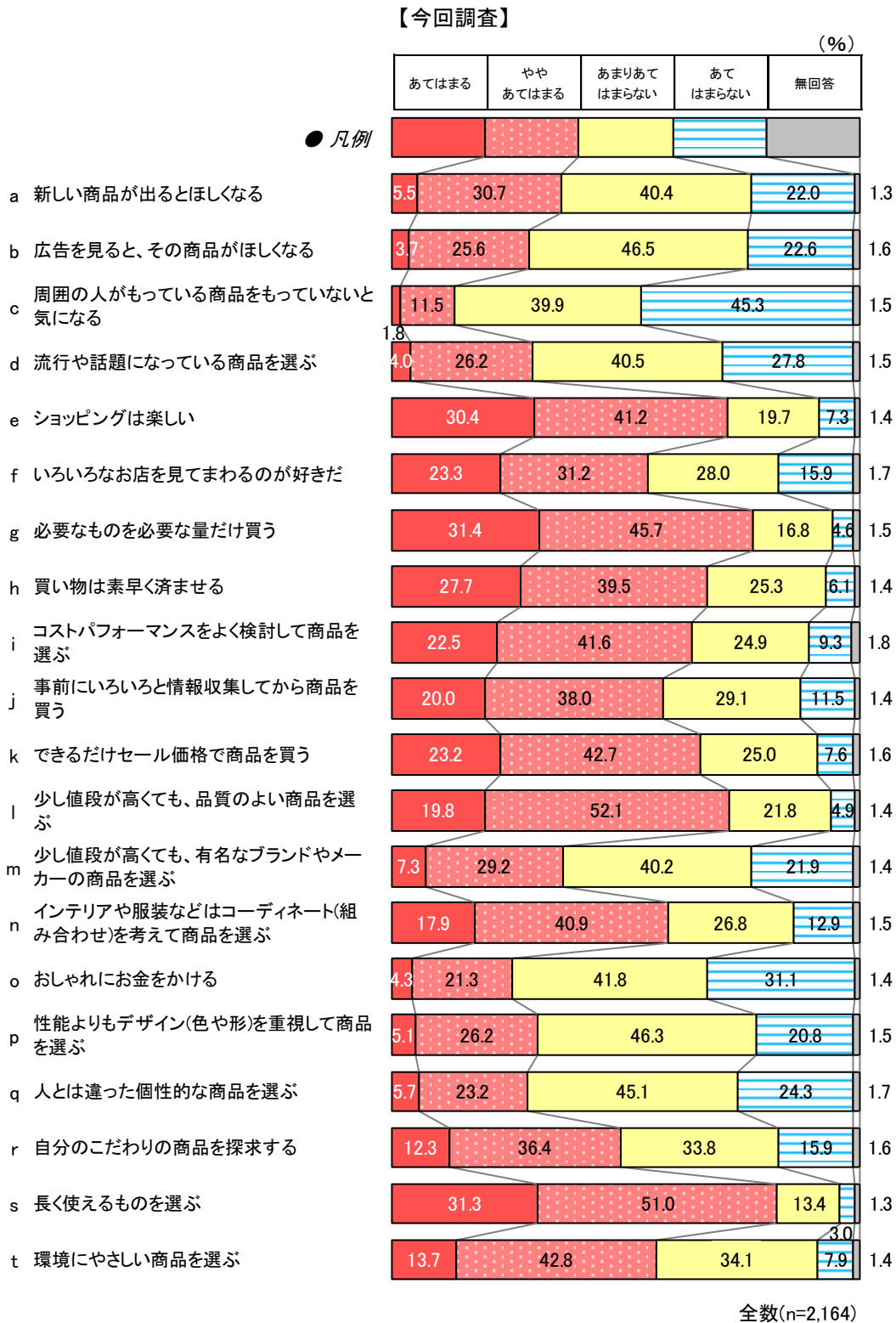
II 結果の概要

1. 消費生活について

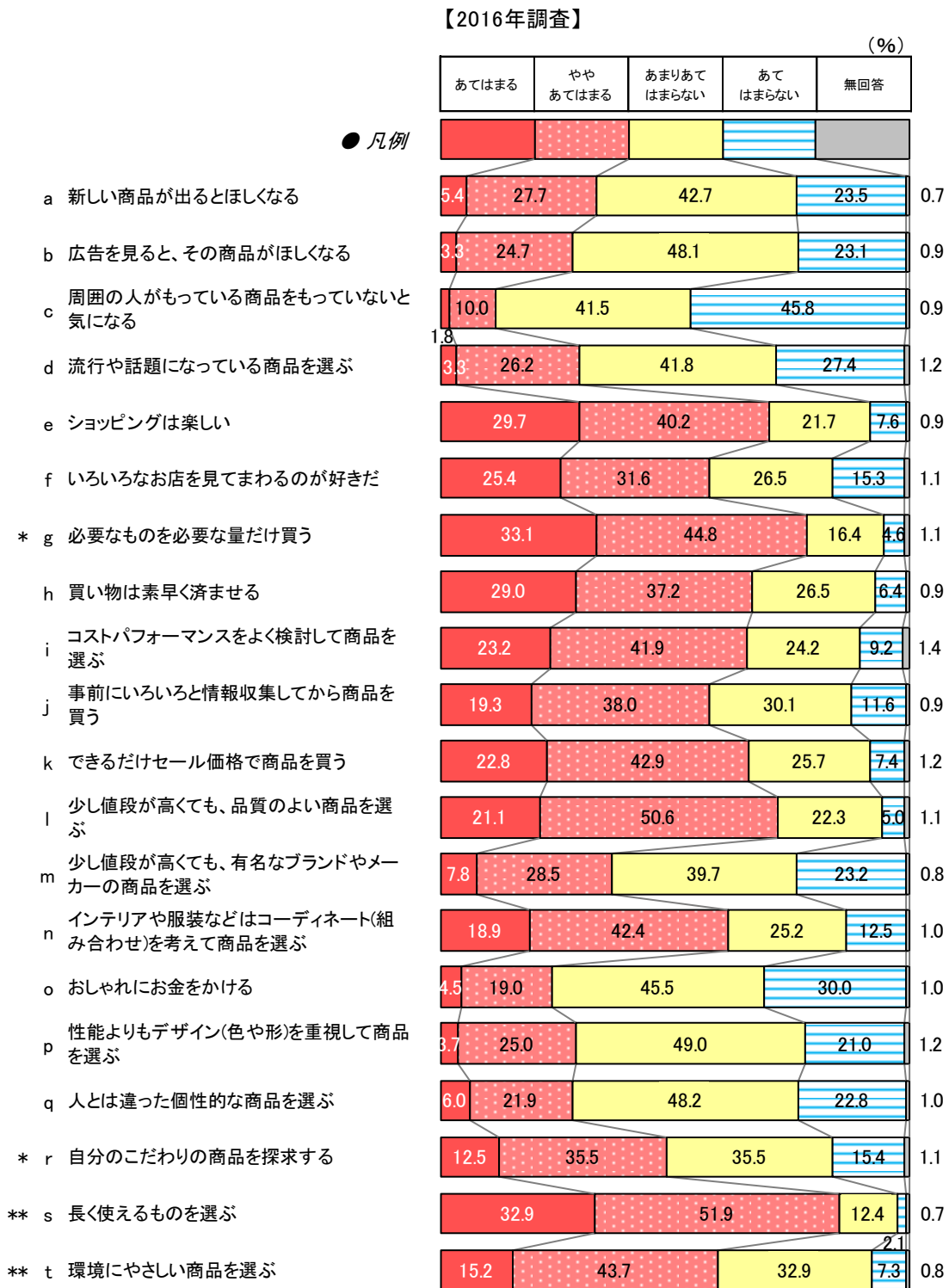
(1) 買い物について

- 買い物についての考え方や行動 20 項目について、回答者にあてはまるかどうかを聞いた。
- 『あてはまる』（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）という回答者が最も多かったのは、“長く使えるものを選ぶ”の 82.3%であった。
- “必要なものを必要な量だけ買う”（『あてはまる』 77.1%）、“少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ”（同 71.9%）、“ショッピングは楽しい”（同 71.6%）は、それぞれ 7 割以上であった。
- “買い物は素早く済ませる”（『あてはまる』 67.2%）、“できるだけセール価格で商品を買う”（同 65.9%）、“コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ”（同 64.1%）は、それぞれ 6 割台を占めた。
- 一方、“周囲の人がもっている商品をもっていないと気になる”では、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計）が 85.2%と、最も多かった。
- また、“おしゃれにお金をかける”は『あてはまらない』が 72.9%と 7 割以上を占めた。次いで“人とは違った個性的な商品を選ぶ”（同 69.4%）、“広告を見ると、その商品がほしくなる”（同 69.1%）、“流行や話題になっている商品を選ぶ”（同 68.3%）、“性能よりもデザイン（色や形）を重視して商品を選ぶ”（同 67.1%）なども、『あてはまらない』が 7 割弱に上った。（図表 1-1）

(図表 1 - 1) 買い物について (問 1)



(図表 1 - 1 続き) 買い物について (2016 年調査)

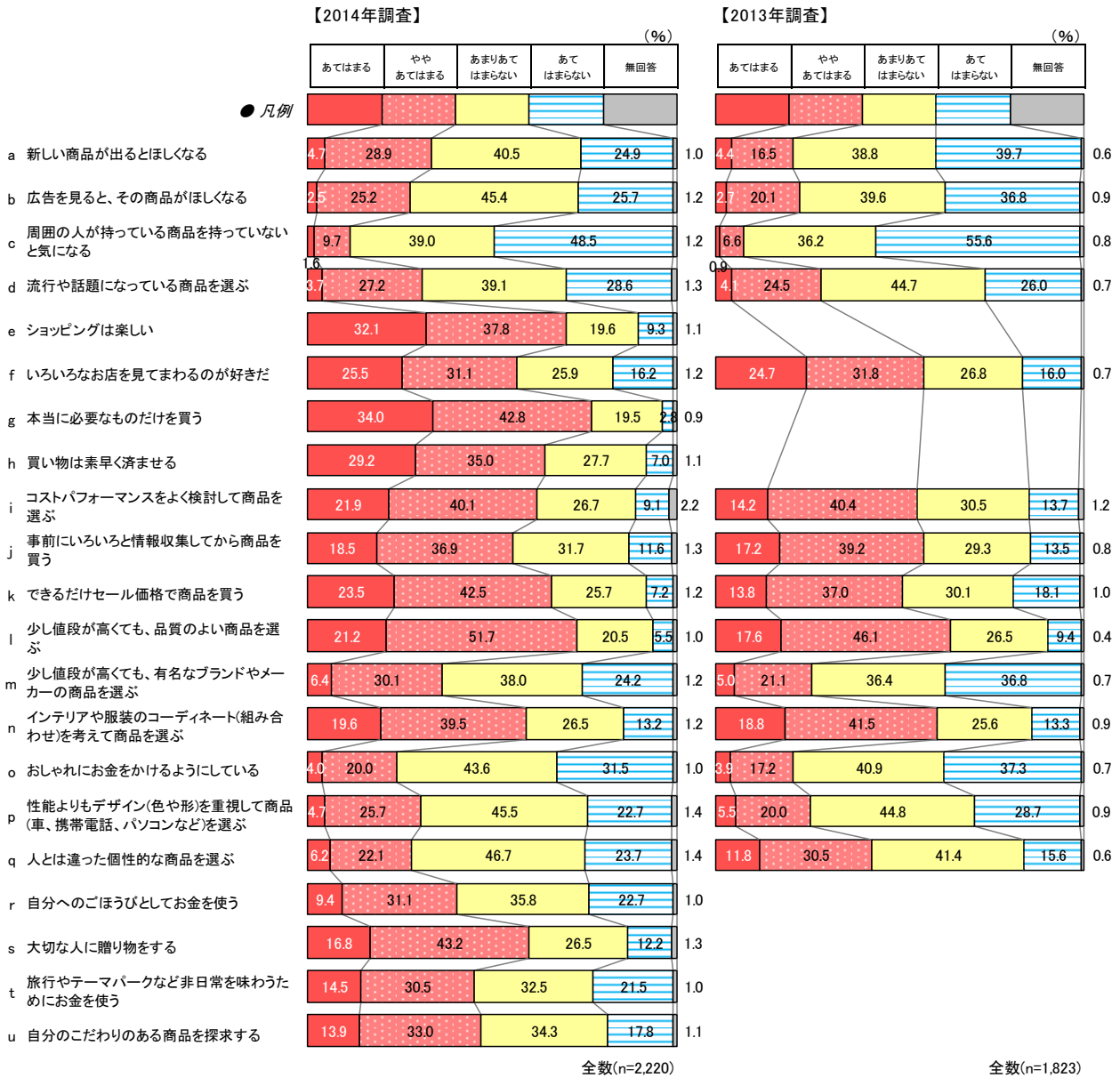


全数(n=2,219)

* 2014年調査と表記内容が若干違う項目

** 2016年調査の新規項目

(図表1-1 続き) 買い物について (2014年調査・2013年調査)

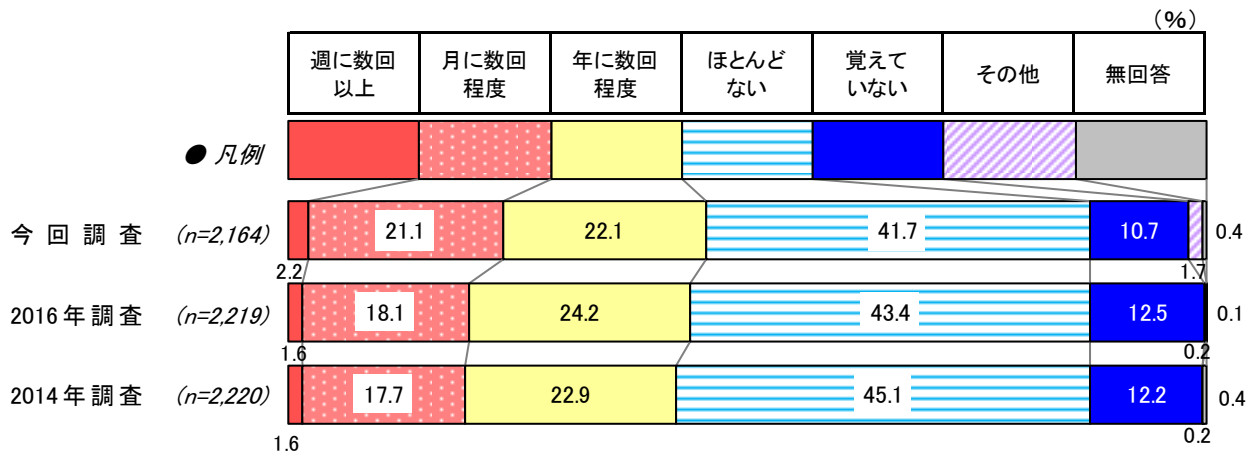


2. 小学生の頃のことについて

(1) 高学年の頃の家族との外食頻度

- 小学校高学年の頃の家族との外食頻度は、「ほとんどない」が41.7%で最も多かった。以下、「年に数回程度」(22.1%)、「月に数回程度」(21.1%)がいずれも2割程度、「週に数回以上」は2.2%となっている。(図表2-1)

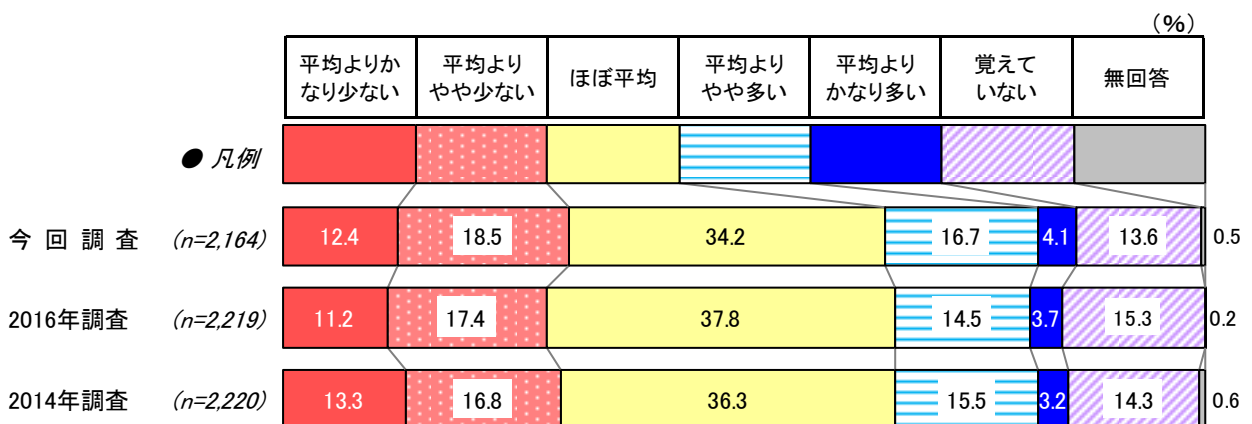
(図表2-1) 高学年の頃の家族との外食頻度 (問2)



(2) 高学年の頃の家庭の収入状況

- 小学校高学年の頃の家庭の収入状況は、「ほぼ平均」が34.2%で最も多かった。以下、『平均より少ない』(「平均よりかなり少ない」と「平均よりやや少ない」の合計)が30.9%で、『平均より多い』(「平均よりかなり多い」と「平均よりやや多い」の合計)の20.8%を上回った。(図表2-2)

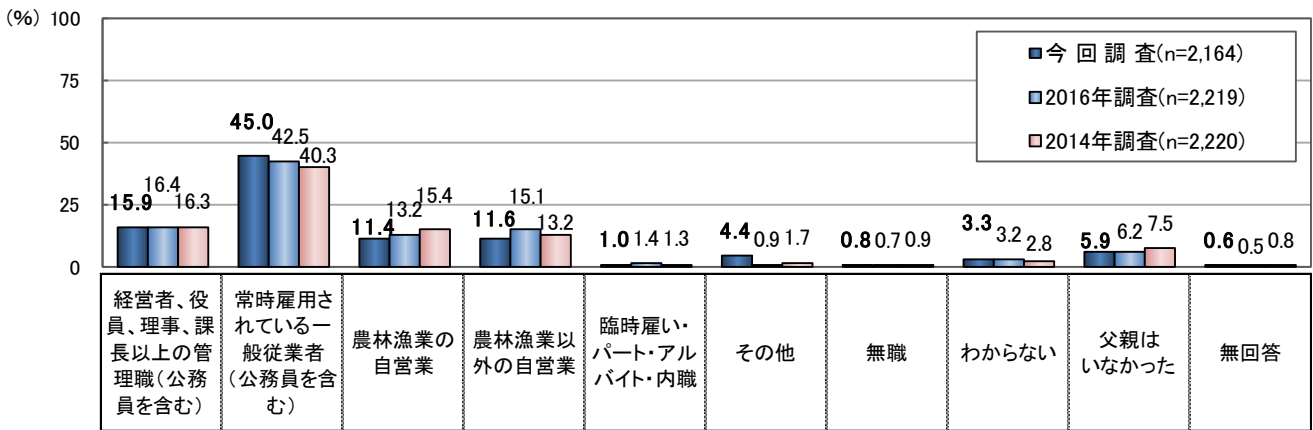
(図表2-2) 高学年の頃の家庭の収入状況 (問3)



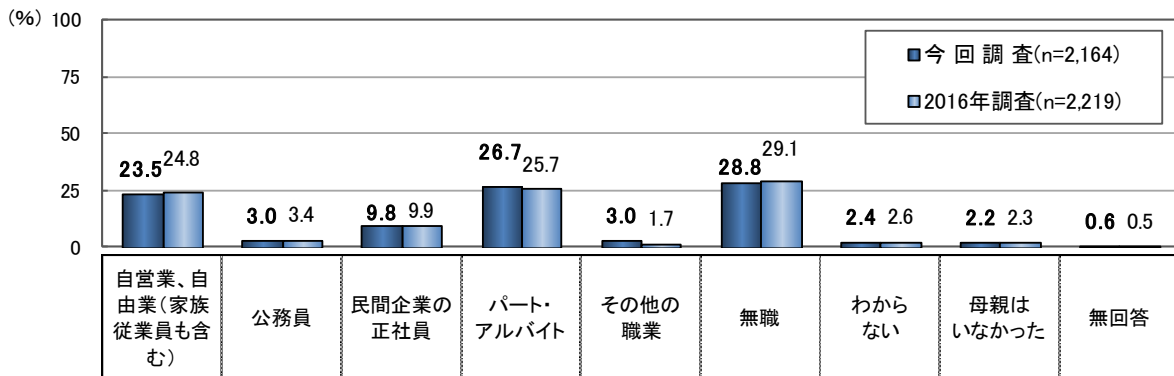
(3) 高学年の頃の父親と母親の職業

- 小学校高学年の頃の父親の職業は、「常時雇用されている一般従業者（公務員を含む）」が45.0%で最も多かった。以下、「経営者、役員、理事、課長相当以上の管理職（公務員を含む）」（15.9%）、「農林漁業以外の自営業」（11.6%）、「農林漁業の自営業」（11.4%）の順となった。（図表 2-3-1）
- 一方、母親の職業については、「無職」が28.8%で最も多かった。次いで、「パート・アルバイト」（26.7%）と「自営業、自由業（家族従業員も含む）」（23.5%）が、ともに2割台で続いた。（図表 2-3-2）

(図表 2-3-1) 高学年の頃の父親の職業 (問4)



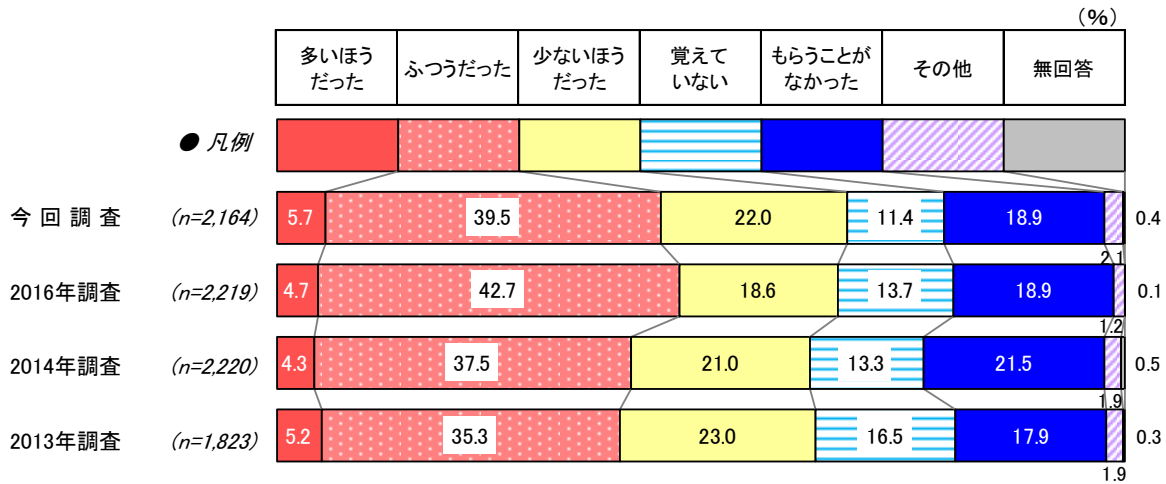
(図表 2-3-2) 高学年の頃の母親の職業 (問5)



(4) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額

- 小学校高学年の頃の両親からもらうおこづかいやプレゼントの金額は、「ふつうだった」が 39.5%で最も多かった。「少ないほうだった」は 22.0%で、「多いほうだった」の 5.7%を上回った。また、「もらうことがなかった」という回答者は、18.9%であった。(図表 2-4)

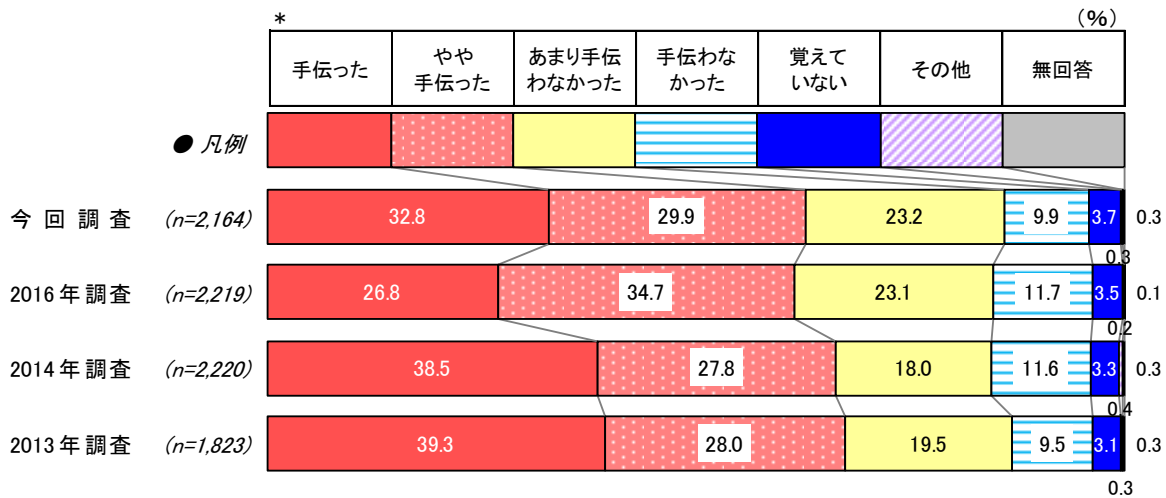
(図表 2-4) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額 (問 6)



(5) 高学年の頃の家の仕事の手伝い

- 小学校高学年の頃、家の仕事（料理、洗濯、掃除、おつかいなど）については、「手伝った」が 32.8%で、「やや手伝った」(29.9%)を合わせると、6割以上が『手伝った』と回答した。
- 一方、「あまり手伝わなかった」は 23.2%であり、「手伝わなかった」(9.9%)を合わせると、『手伝わなかった』という回答者は3割台であった。(図表 2-5)

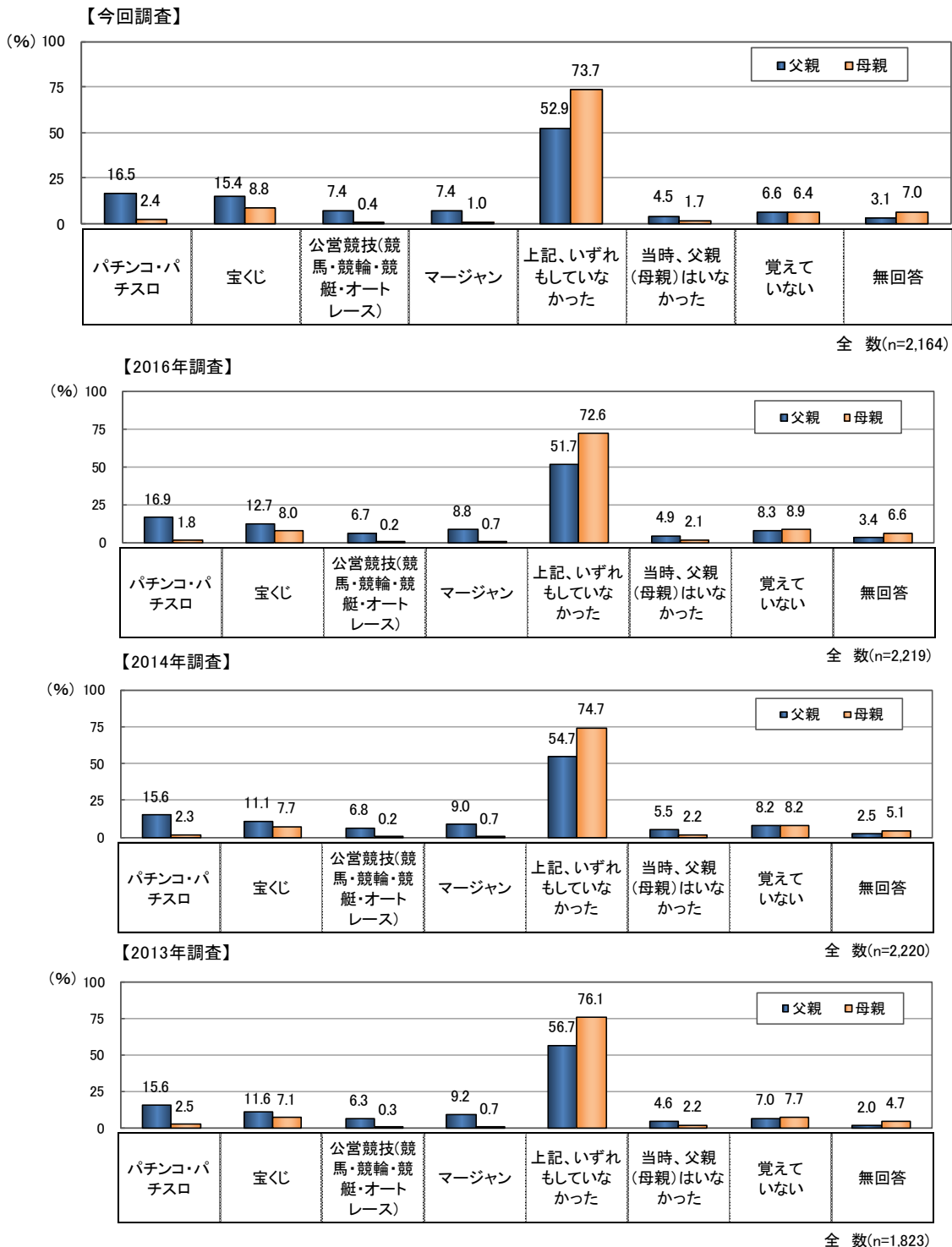
(図表 2-5) 高学年の頃の家の仕事の手伝い (問 7)



(6) 小学生の頃の両親の公営競技等

- 小学生の頃、両親がしていた公営競技等（複数回答）としては、父親は「パチンコ・パチスロ」が16.5%、次いで「宝くじ」が15.4%、「公営競技（競馬・競輪・競艇・オートレース）」「マーじゃん」がいずれも7.4%だった。過半数が、「いずれもしていなかった」（52.9%）と回答した。
- 一方、母親は「宝くじ」が8.8%、「パチンコ・パチスロ」が2.4%で、7割以上は「いずれもしていなかった」（73.7%）と回答した。（図表2-6）

(図表2-6) 小学生の頃の両親の公営競技等（問8、複数回答）

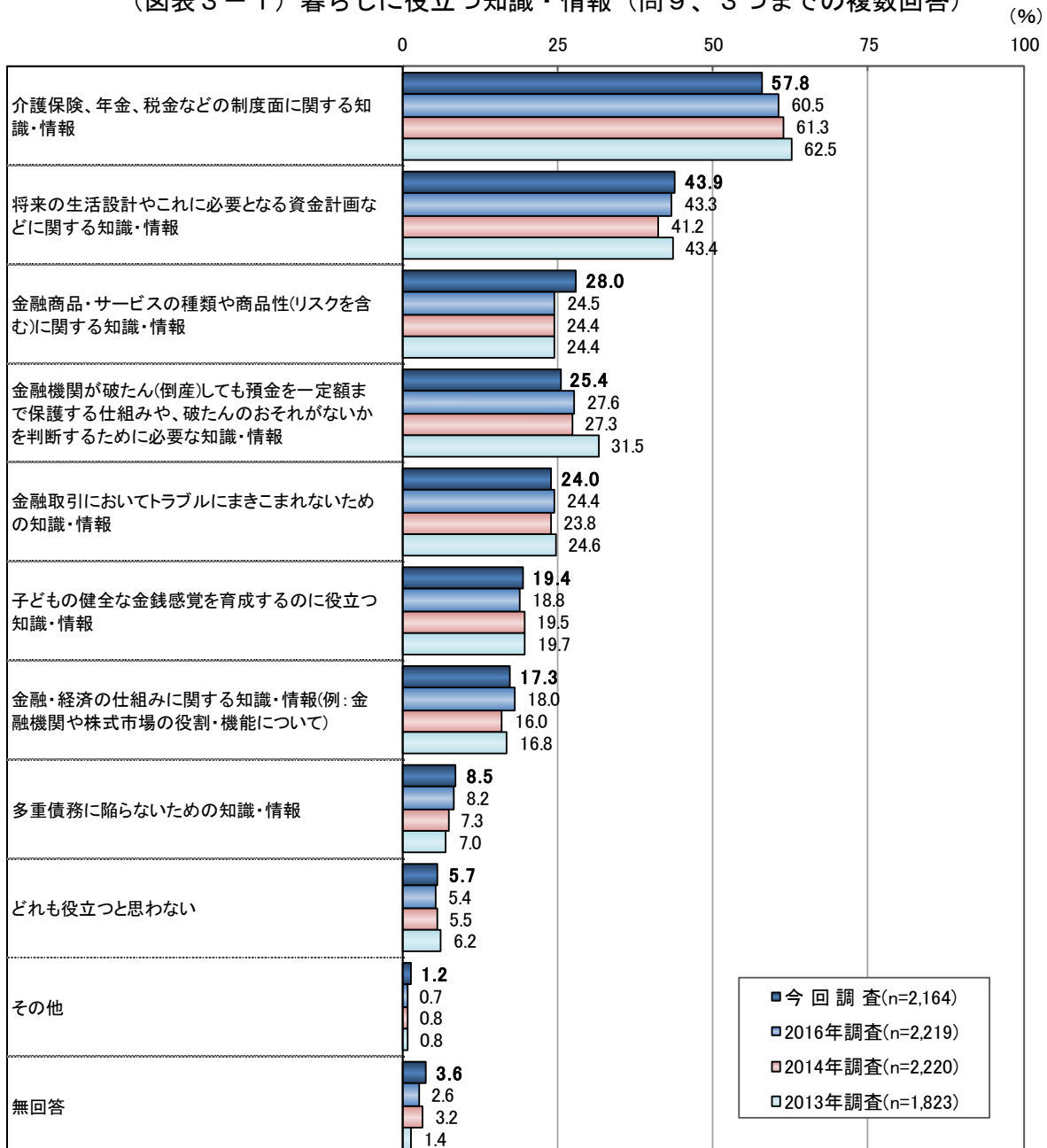


3. 金融の知識について

(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報

- 暮らしに役立つと思う金融に関する知識・情報（3つまでの複数回答）としては、「介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報」が57.8%で最も多かった。以下、「将来の生活設計やこれに必要な資金計画などに関する知識・情報」（43.9%）、「金融商品・サービスの種類や商品性（リスクを含む）に関する知識・情報」（28.0%）、「金融機関が破たん（倒産）しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報」（25.4%）、「金融取引においてトラブルにまきこまれないための知識・情報」（24.0%）、「子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報」（19.4%）、「金融・経済の仕組みに関する知識・情報」（17.3%）、「多重債務に陥らないための知識・情報」（8.5%）の順で続いた。
- 「どれも役立つと思わない」は、5.7%となった。（図表 3-1）

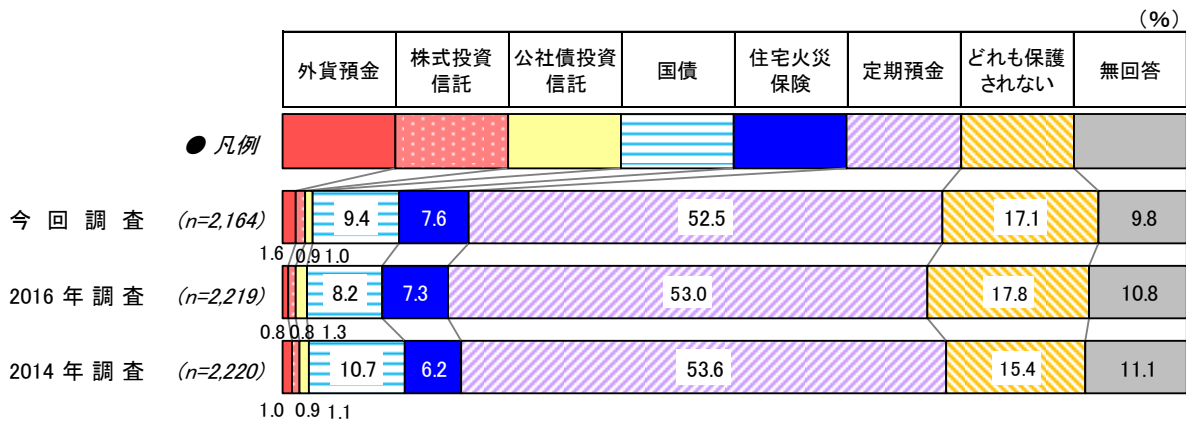
（図表 3-1）暮らしに役立つ知識・情報（問9、3つまでの複数回答）



(2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品

- 預金保険の保護対象だと思う金融商品の正答率(「定期預金」)は52.5%で、半数を超えて最も多かった。誤回答として、「どれも保護されない」が17.1%で最も多く、次いで「国債」(9.4%)、「住宅火災保険」(7.6%)となった(図表3-2)。

(図表3-2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品 (問10)

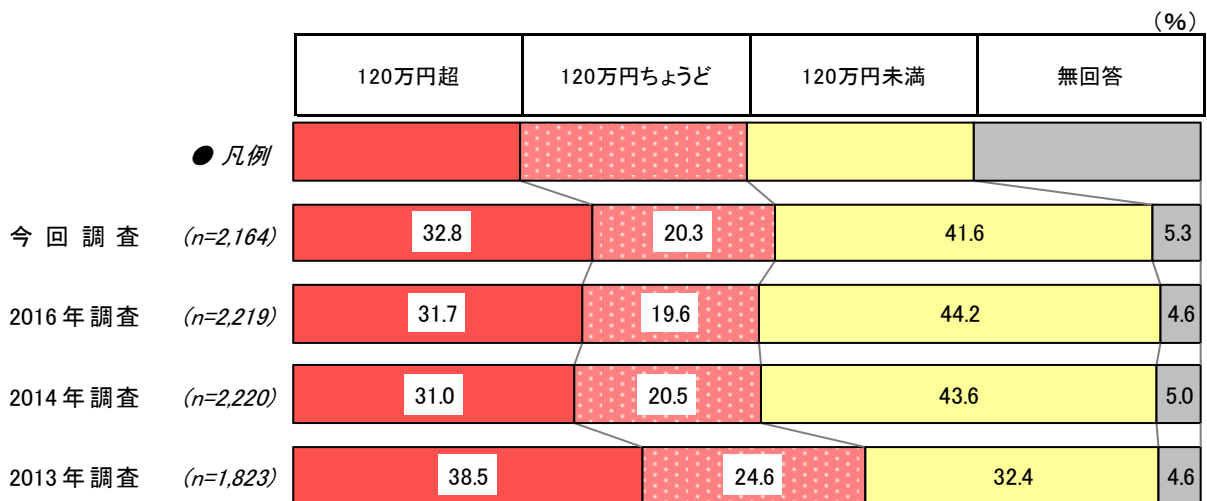


(3) 金利の計算

- 複利計算の正答率(*)は32.8%で、誤回答の「120万円未満」は41.6%、「120万円ちょうど」は20.3%であった。(図表3-3)

*預金金利が年率2%の場合に100万円を10年後まで預けたときの金額を「120万超」と答えた比率。

(図表3-3) 金利の計算 (問11)

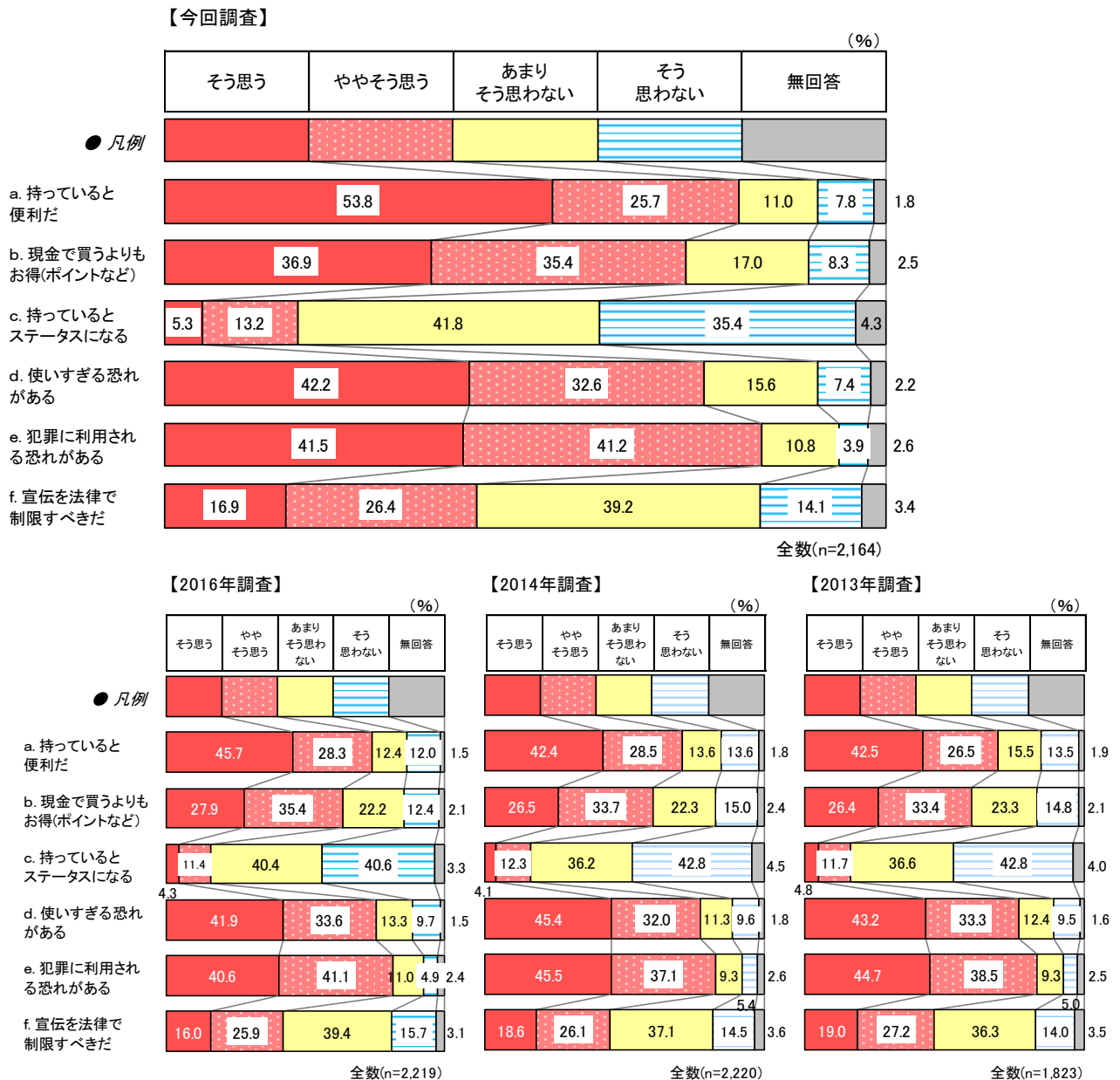


4. クレジットカードについて

(1) クレジットカードに対する意見

- クレジットカードに対する意見を6つあげて、それぞれに対する考え方を聞いた。
- 『そう思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）人が多かったのは、“犯罪に利用される恐れがある”（82.7%）で8割を上回り、次いで“持っている则便利だ”（同 79.5%）も約8割に上った。
- また、“使いすぎる恐れがある”と“現金で買うよりもお得（ポイントなど）”も、『そう思う』（使いすぎ 74.8%、お得 72.3%）人が『そう思わない』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）人（使いすぎ 23.0%、お得 25.3%、）を大きく上回った。
- 一方、“持っている則ステータスになる”は、『そう思わない』が 77.2%を占めた。
- “宣伝を法律で制限すべきだ”は、『そう思わない』（53.3%）が過半数を占め、『そう思う』（43.3%）を上回った。（図表 4-1）

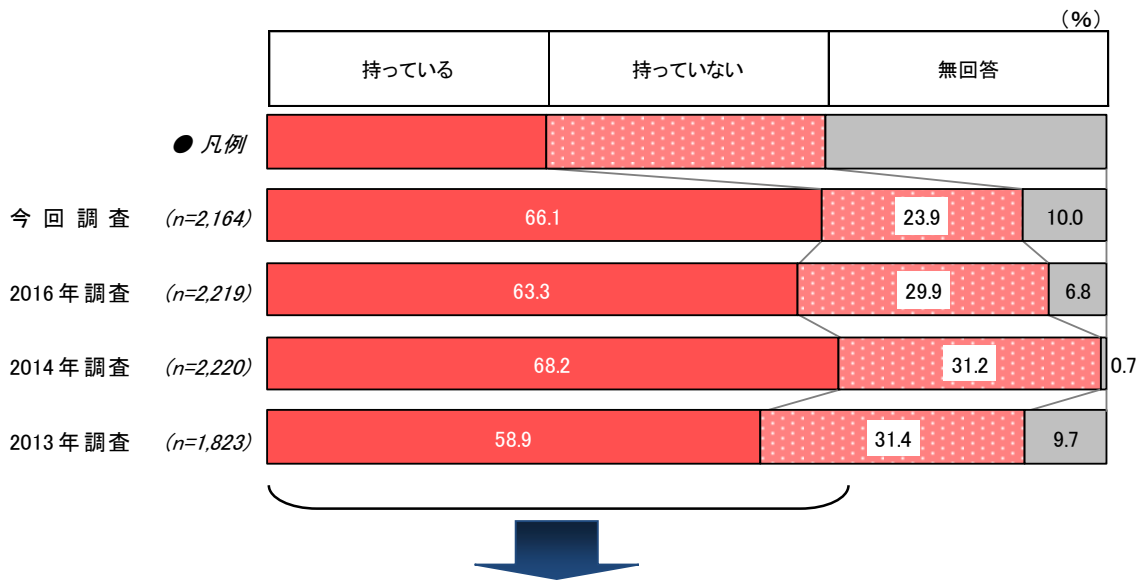
(図表 4-1) クレジットカードに対する意見 (問 12)



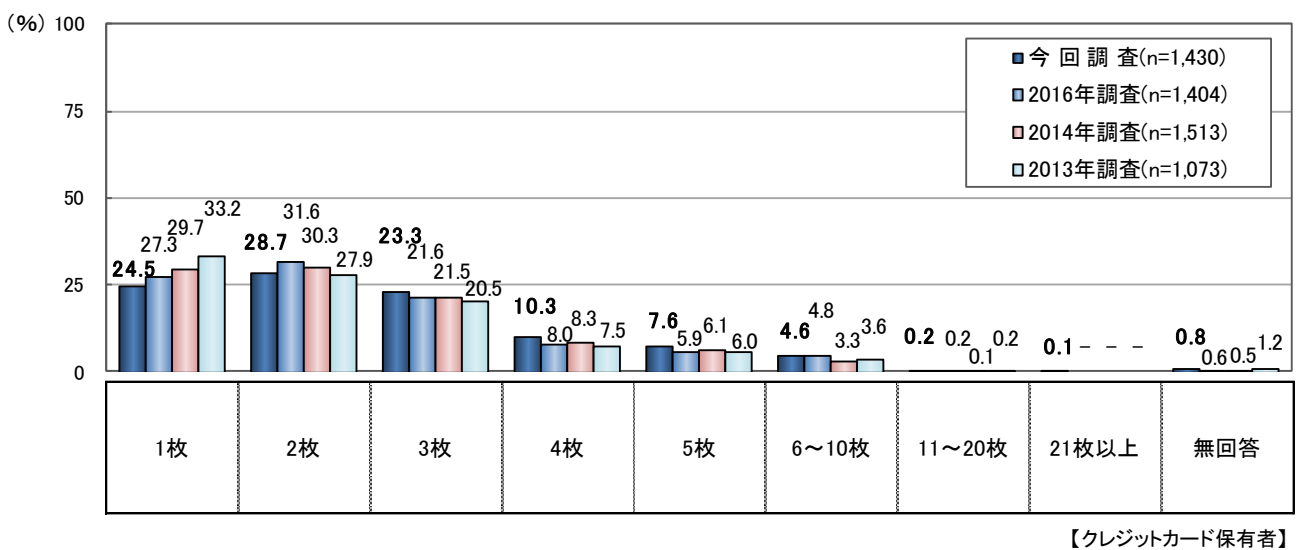
(2) 自分名義クレジットカードの保有状況

- 自分名義のクレジットカードは、「持っている」と答えた人が 66.1% で、「持っていない」(23.9%) を 42.2 ポイント上回った。(図表 4-2-1)
- 自分名義のクレジットカード保有者 (n=1,430) が持っているクレジットカードの枚数は、「2枚」が 28.7% で最も多く、「1枚」が 24.5%、「3枚」が 23.3% となった。なお、クレジットカード平均保有枚数は 2.7 枚であった。(図表 4-2-2)

(図表 4-2-1) 自分名義クレジットカードの保有状況 (問 13)



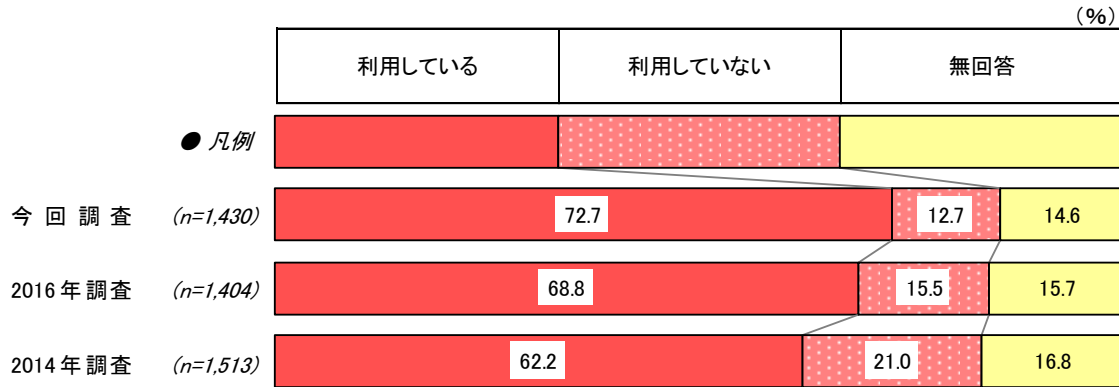
(図表 4-2-2) 自分名義クレジットカードの保有枚数 (問 13-1)



(3) 自分名義クレジットカードの利用状況

自分名義のクレジットカード保有者 (n=1,430) のうち、私的なショッピングでのクレジットカード利用状況は、「利用している」が 72.7%、「利用していない」が 12.7%であった。(図表 4-3)

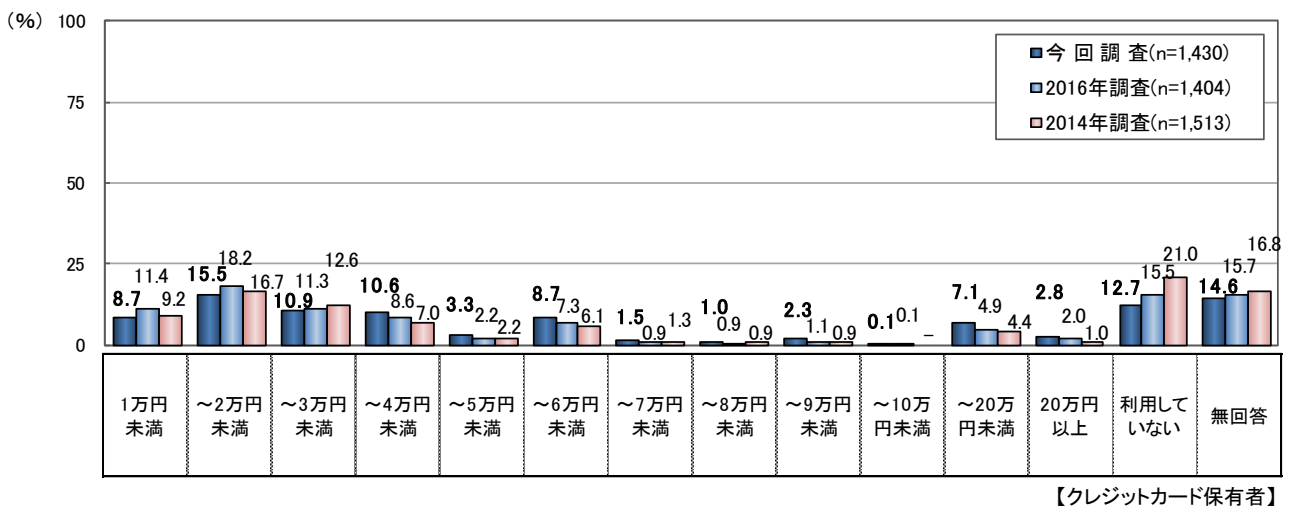
(図表 4-3) 自分名義クレジットカードの利用状況 (問 13-2)



(4) 自分名義クレジットカードの利用金額

● 自分名義のクレジットカード保有者 (n=1,430) のうち、ひと月あたりの私的なショッピングでのクレジットカード利用金額は、「1万円以上2万円未満」が 15.5%で最も多かった。次いで、「2万円以上3万円未満」(10.9%)、「3万円以上4万円未満」(10.6%) が約 11%で並び、「1万円未満」と「5万円以上6万円未満」がいずれも 8.7%、「10万円以上20万円未満」が 7.1%の順となった。なお、平均利用金額は、42,800円であった。(図表 4-4)

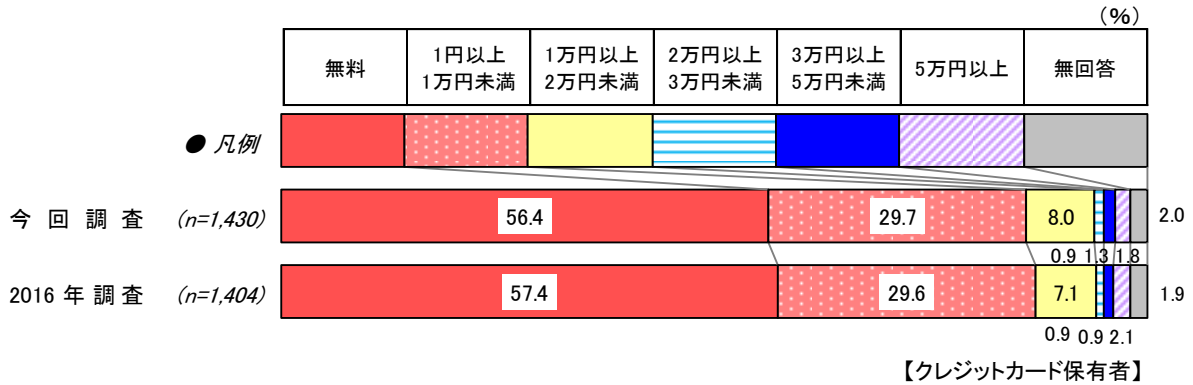
(図表 4-4) 自分名義クレジットカードの利用金額 (問 13-2)



(5) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き）

- 自分名義のクレジットカード保有者（n=1,430）が保有するクレジットカードのうち、年間利用額が最も多いカードの年会費（税抜き）は、「無料」が56.4%で、最も多かった。
- 有料の場合の年会費は、「1円以上1万円未満」が29.7%、「1万円以上2万円未満」が8.0%であった。（図表4-5）

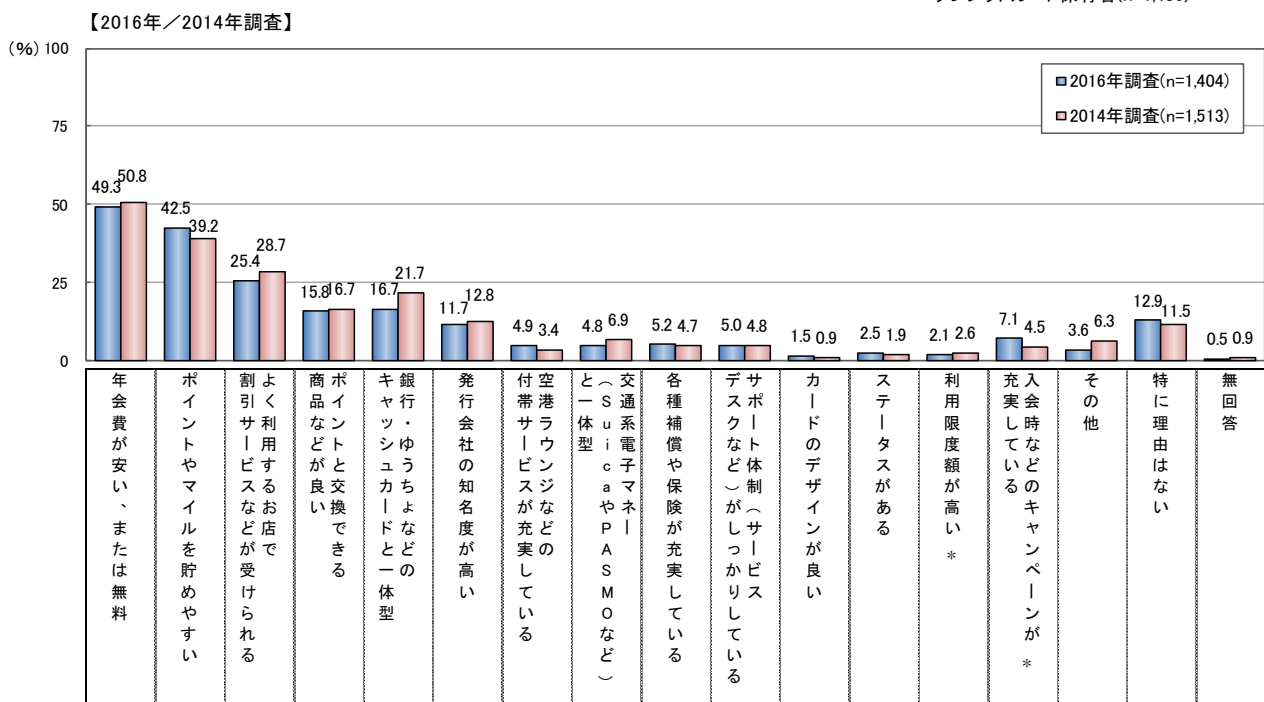
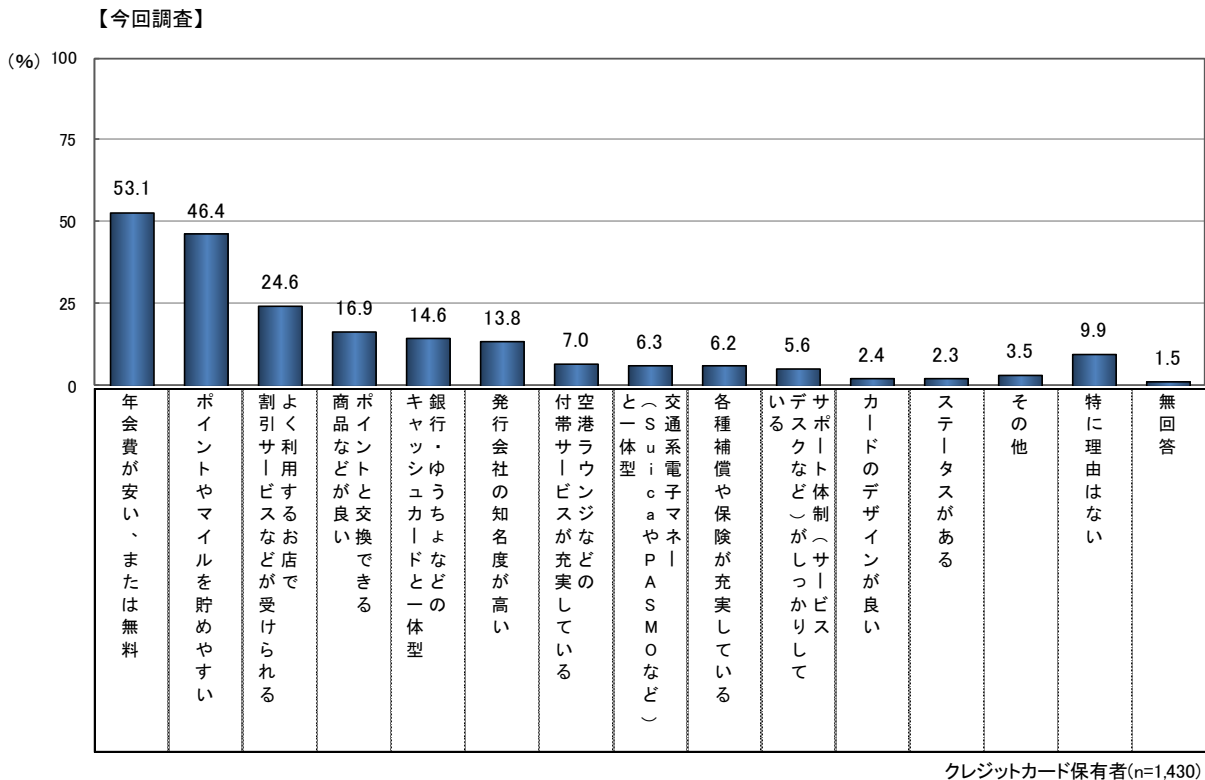
(図表4-5) 年間利用額の多い自分名義クレジットカードの年会費（税抜き）（問13-3）



(6) 自分名義クレジットカードの選択理由

- 自分名義のクレジットカード保有者 (n=1,430) のクレジットカード選択理由 (複数回答) としては、「年会費が安い、または無料」(53.1%) が約半数で、最も多かった。以下、「ポイントやマイルを貯めやすい」(46.4%)、「よく利用するお店で割引サービスなどが受けられる」(24.6%)、「ポイントと交換できる商品などが良い」(16.9%)、「銀行・ゆうちょなどのキャッシュカードと一体型」(14.6%)、「発行会社の知名度が高い」(13.8%)などの順で続いた。(図表 4-6)

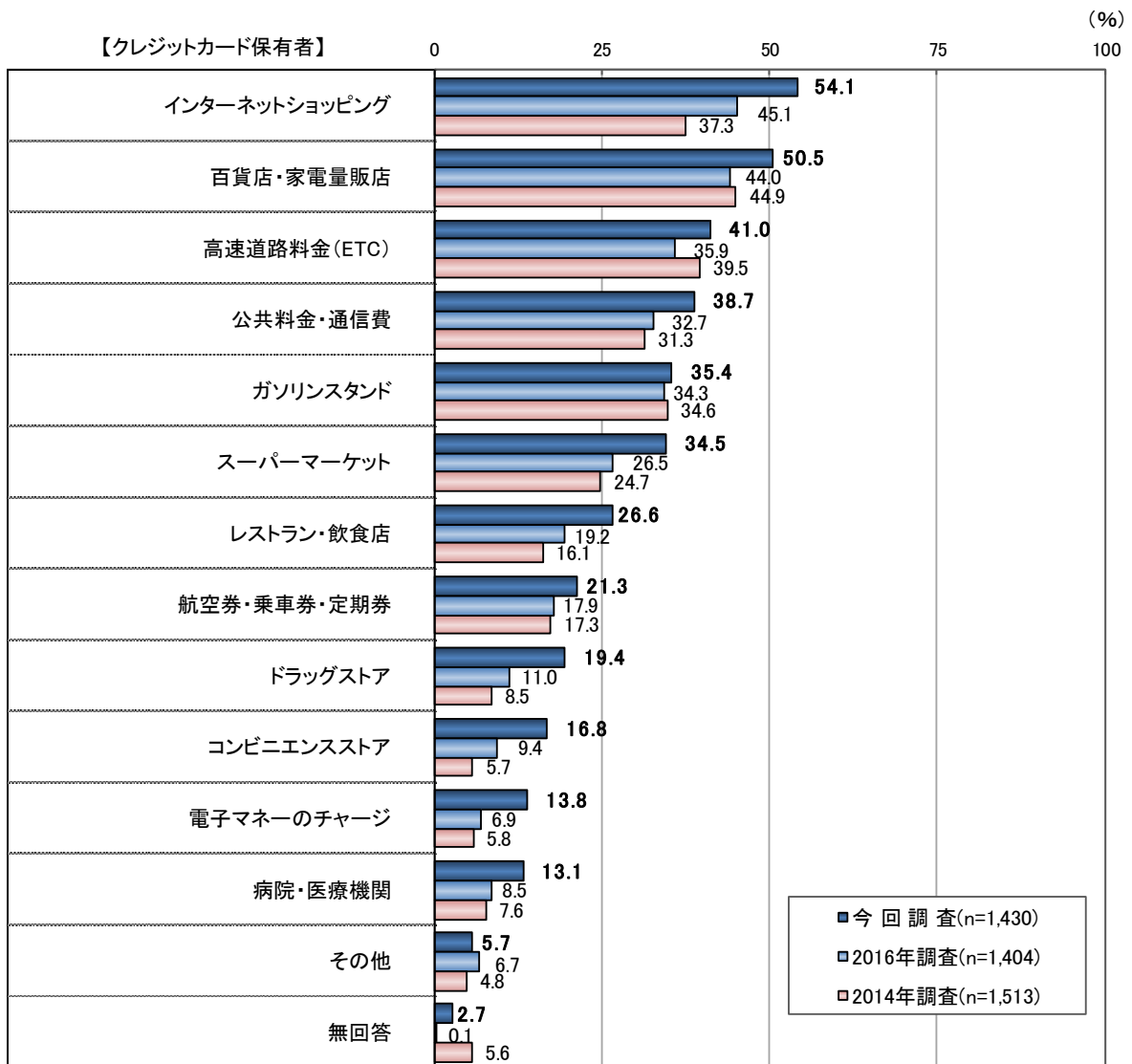
(図表 4-6) 自分名義クレジットカードの選択理由 (問 13-4、複数回答)



(7) 自分名義クレジットカードの利用先

- 自分名義のクレジットカード保有者 (n=1,430) のクレジットカードの利用先 (複数回答) としては、「インターネットショッピング」(54.1%)、「百貨店・家電量販店」(50.5%) が、ともに5割を超えて上位に挙げられた。次いで、「高速道路料金 (ETC)」(41.0%)、「公共料金・通信費」(38.7%) が4割前後、「ガソリンスタンド」(35.4%)、「スーパーマーケット」(34.5%) も3割を超えている。(図表 4-7)

(図表 4-7) 自分名義クレジットカードの利用先 (問 13-5、複数回答)

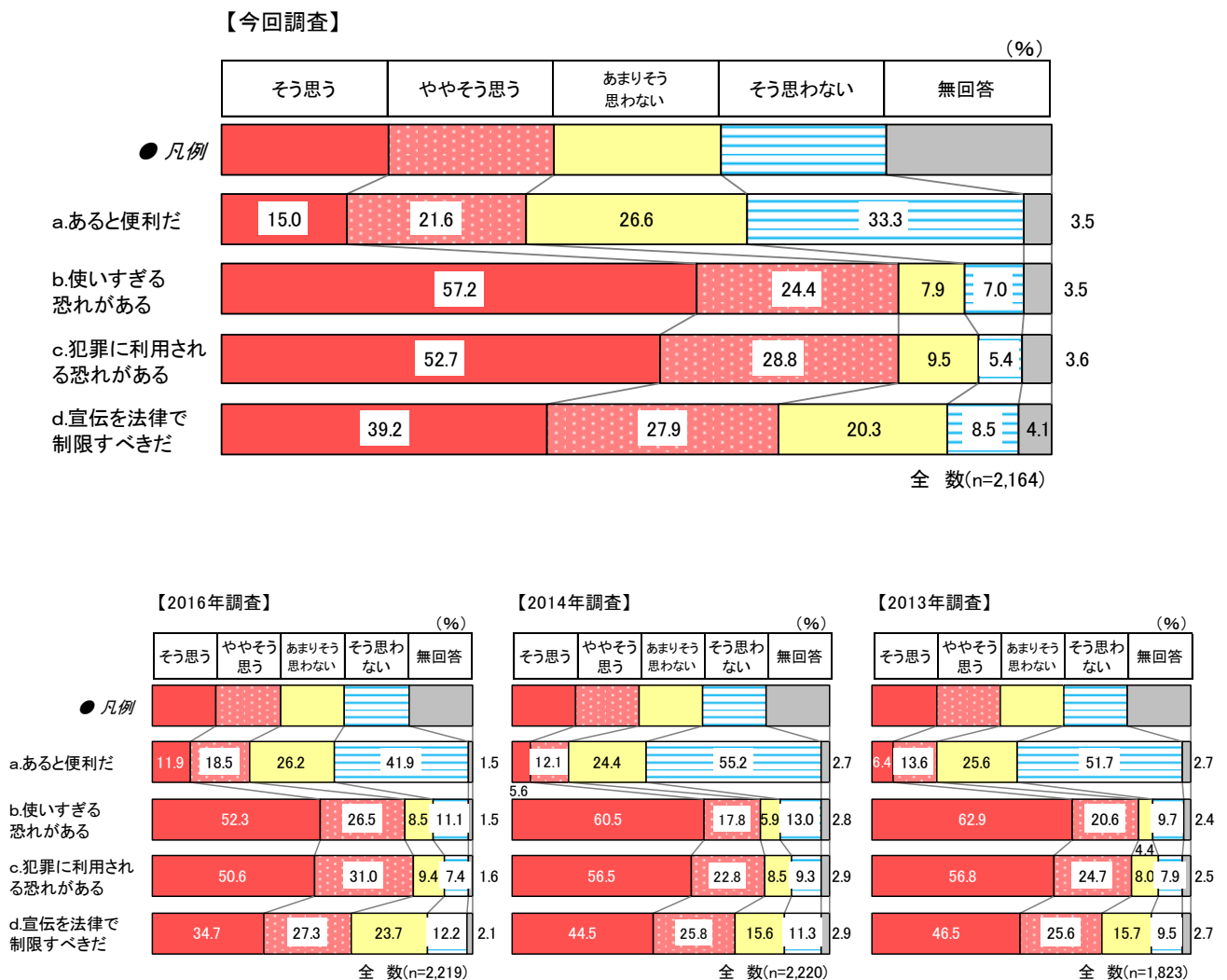


5. カードローンや消費者金融について

(1) カードローンや消費者金融に対する意見

- カードローンや消費者金融に対する考え方を4つあげて、それぞれに対する意見を聞いた。
- カードローンや消費者金融に対して、“あると便利だ”という考え方に『そう思う』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）人は36.6%であった。
- また、“使いすぎる恐れがある”（『そう思う』81.6%）と“犯罪に利用される恐れがある”（同81.5%）という否定的な考え方について『そう思う』人は、約8割である。
- “宣伝を法律で制限すべきだ”という考え方についても、『そう思う』人が7割弱（67.1%）と多数を占めた。（図表5-1）

(図表5-1) カードローンや消費者金融に対する意見 (問14)

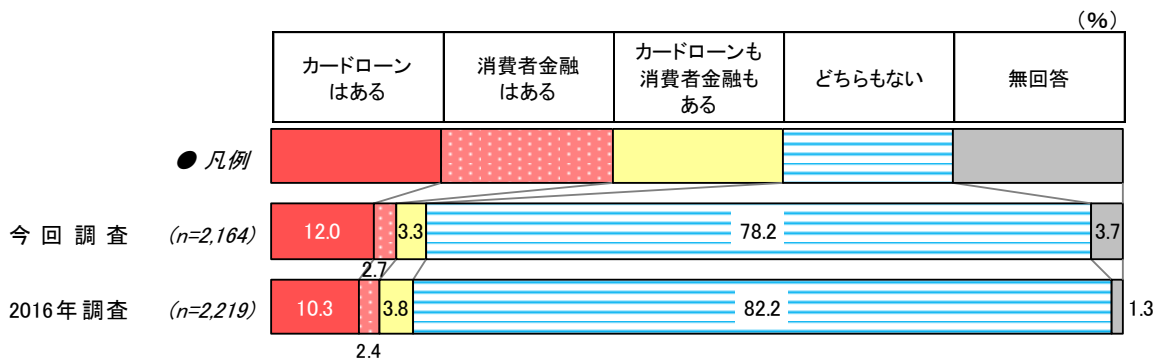


※2014年調査と2013年調査は、消費者金融についてのみ問いている

(2) カードローンや消費者金融からの借入経験

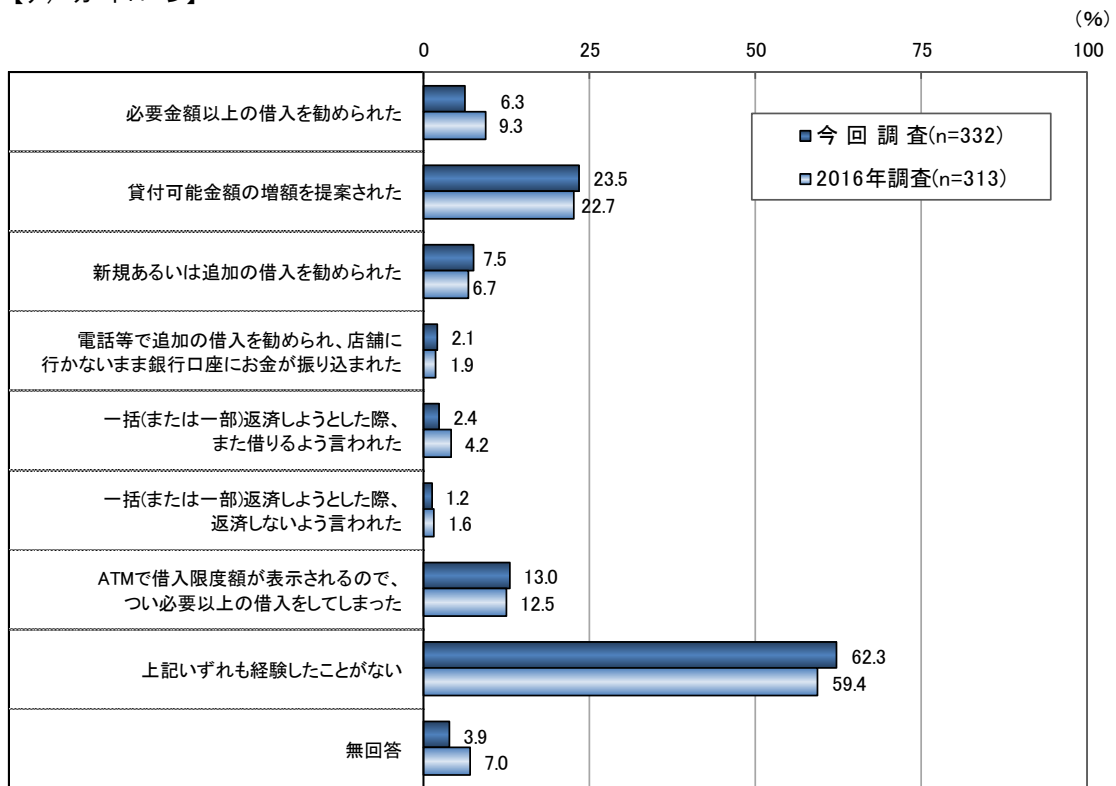
- これまでのカードローンや消費者金融からの借入経験として、「カードローンはある」人は12.0%で、「消費者金融はある」人が2.7%、「カードローンも消費者金融もある」人が3.3%となった。78.2%は、「どちらもない」と回答している。(図表5-2-1)
- カードローン借入経験者(n=332)が借入した際に経験したこと(複数回答)としては、「貸付可能金額の増額を提案された」が23.5%で最も多く、次いで、「ATMで借入限度額が表示されるので、つい必要以上の借入をしてしまった」が13.0%であった。約6割は、「上記いずれも経験したことがない」(62.3%)と回答している。(図表5-2-2ア)
- 消費者金融借入経験者(n=131)が借入した際に経験したこと(複数回答)としては、「貸付可能金額の増額を提案された」が37.4%で最も多く、以下、「必要金額以上の借入を勧められた」(23.7%)、「新規あるいは追加の借入を勧められた」(19.8%)、「ATMで借入限度額が表示されるので、つい必要以上の借入をしてしまった」(19.1%)、などの順で続いた。「上記いずれも経験したことがない」人は、36.6%であった。(図表5-2-2-イ)

(図表5-2-1) カードローンや消費者金融からの借入経験(問15)



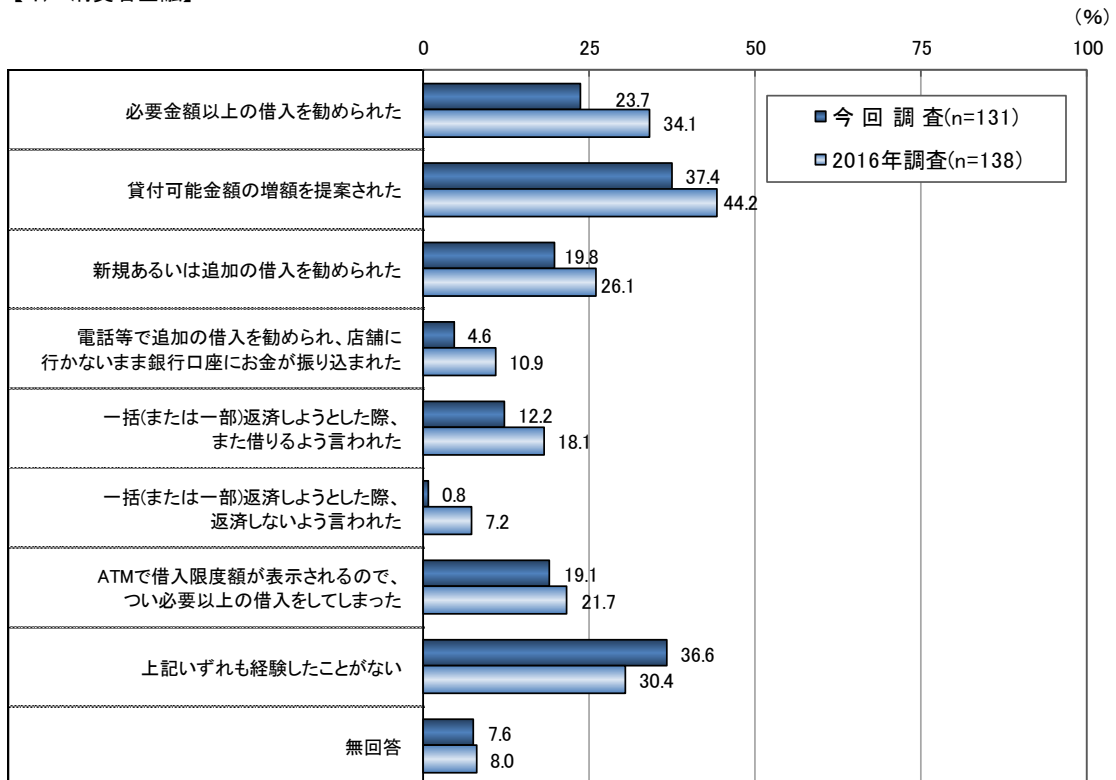
(図表5-2-2) カードローンや消費者金融から借入した際の経験 (問15-1、複数回答)

【ア) カードローン】



【カードローン借入れ経験者】

【イ) 消費者金融】

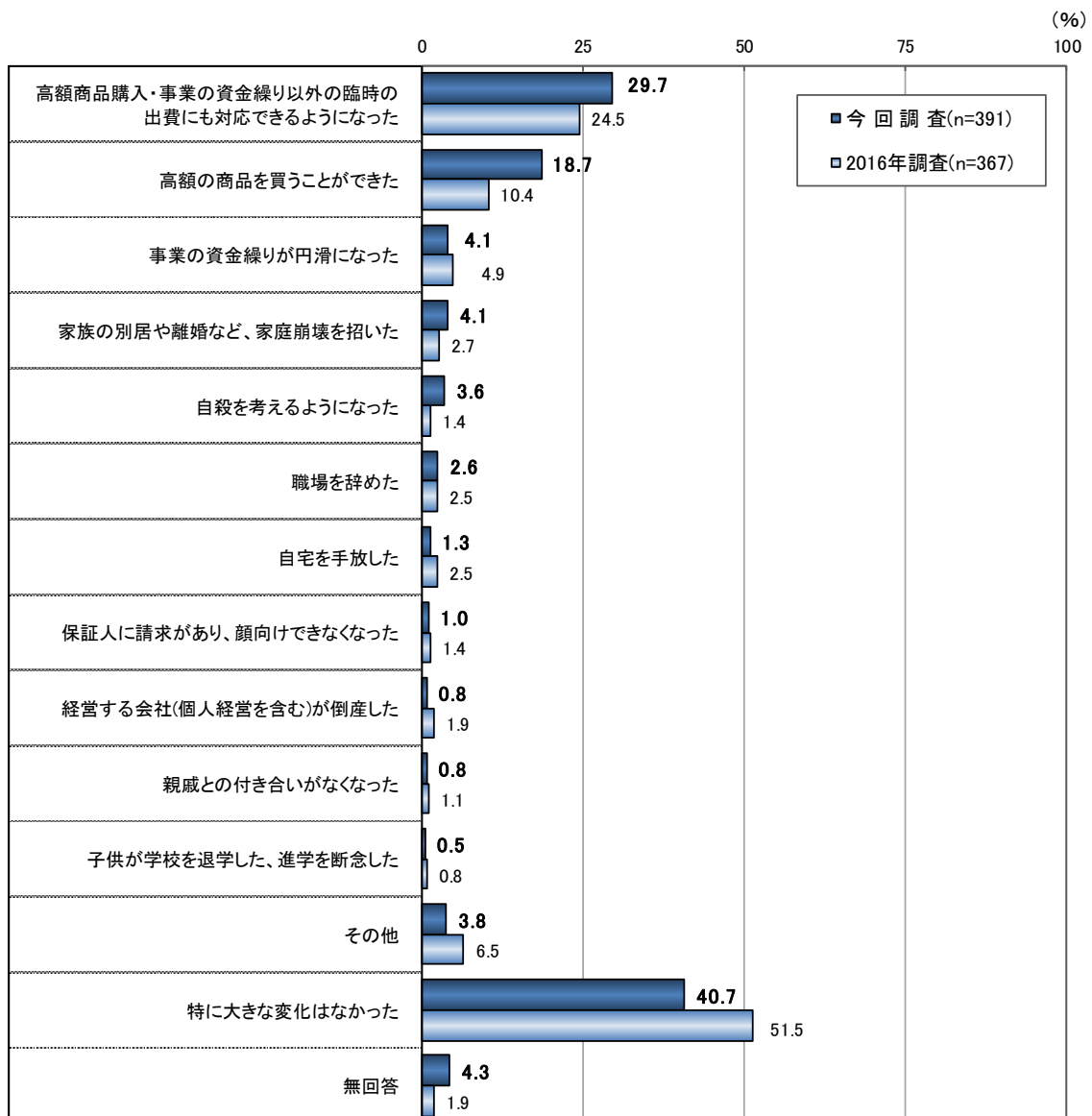


【消費者金融借入れ経験者】

(3) カードローンや消費者金融から借入したことによる生活の変化

- カードローンもしくは消費者金融借入経験者（n=391）が消費者金融で借入したことによる日常生活の変化（複数回答）としては、「高額商品購入・事業の資金繰り以外の臨時の出費にも対応できるようになった」が29.7%で最も多く挙げられた。次いで、「高額の商品を買うことができた」（18.7%）が2割弱であった。
- 「特に大きな変化はなかった」（40.7%）は約4割だった。（図表5-3）

(図表5-3) カードローンや消費者金融から借入したことによる生活の変化
(問15-2、複数回答)



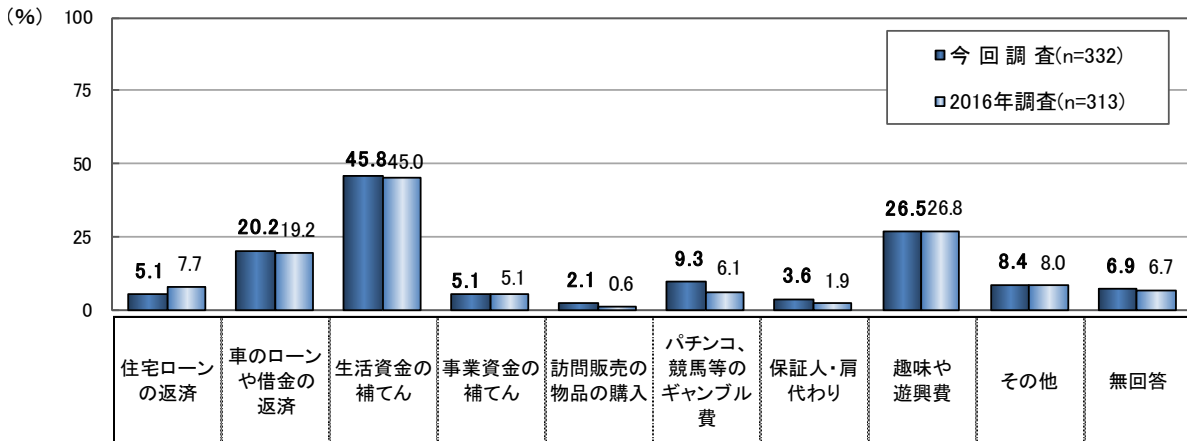
【カードローンまたは消費者金融借入れ経験者】

(4) カードローンや消費者金融から借入した理由

- カードローン借入経験者 (n=332) が借入した理由 (複数回答) としては、「生活資金の補てん」が 45.8% で最も多く挙げられ、次いで、「趣味や遊興費」が 26.5%、「車のローンや借金の返済」が 20.2% で続いた。(図表 5-4-ア)
- 消費者金融借入経験者 (n=131) が借入した理由 (複数回答) としても、「生活資金の補てん」が 48.9% で最も多く、次いで、「趣味や遊興費」が 22.1% であった。(図表 5-4-イ)

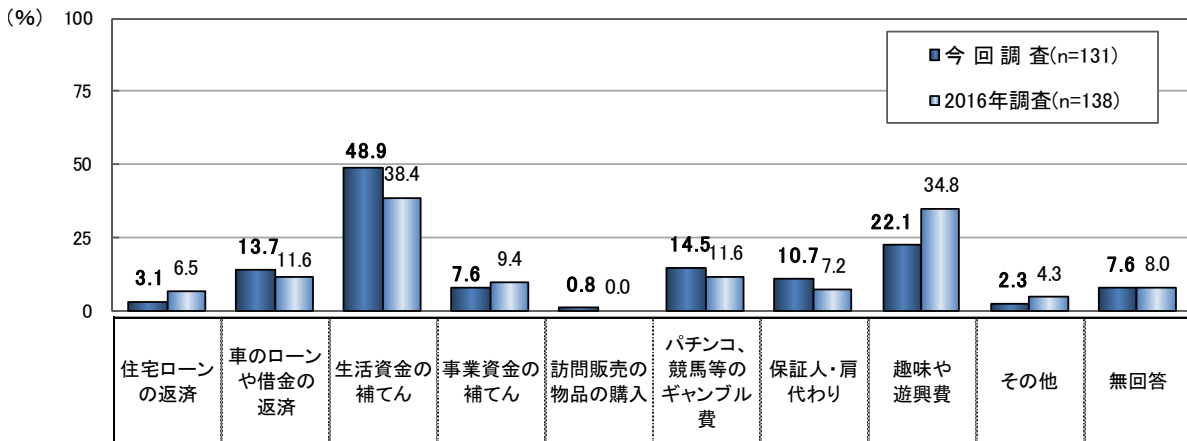
(図表 5-4) カードローンや消費者金融から借入した理由 (問 16、複数回答)

【ア】カードローン



【カードローン借り入れ経験者】

【イ】消費者金融

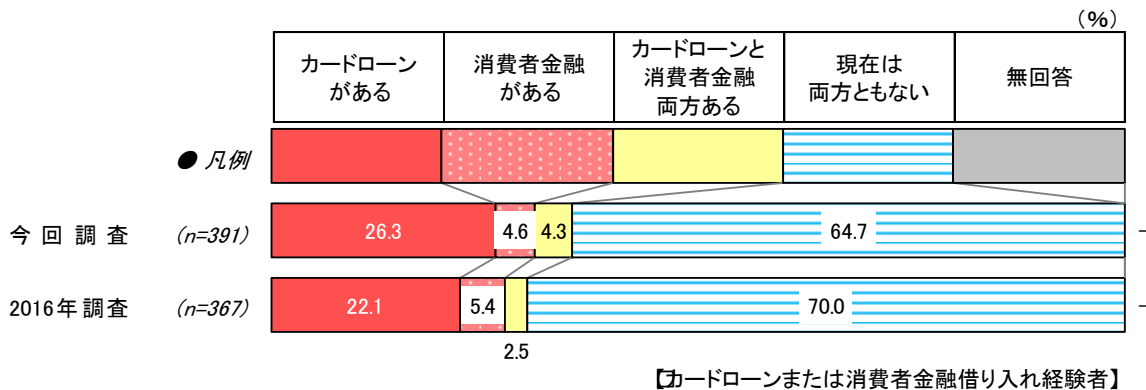


【消費者金融借り入れ経験者】

(5) 現在のカードローンや消費者金融からの借入状況

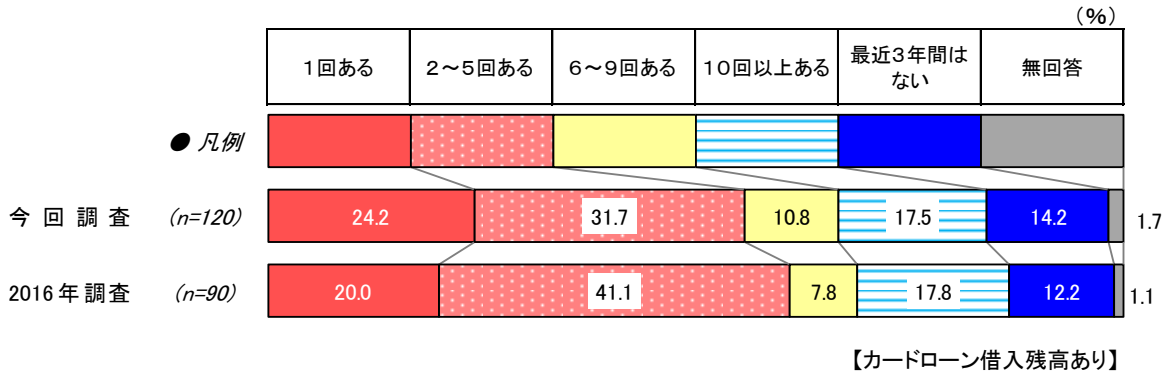
- カードローンや消費者金融借入経験者 (n=391) の現在の借入状況をみると、「カードローンがある」は26.3%、「消費者金融がある」は4.6%、「カードローンと消費者金融両方ある」は4.3%であった。「現在は両方ともない」は64.7%だった。(図表 5-5-1)
- カードローン借入者 (n=120) の、最近3年間の借入回数は、「2~5回ある」が31.7%で最も多く、次いで「1回ある」が24.2%、「10回以上ある」が17.5%であった(図表 5-5-2ア)。
- 消費者金融借入者 35人では、過去3年間の借入が「2~5回ある」人は12人、「1回ある」が11人、5人は「最近3年間はなし」と回答している(図表 5-5-2イ)。

(図表 5-5-1) カードローンや消費者金融からの現在の借入 (問 17)

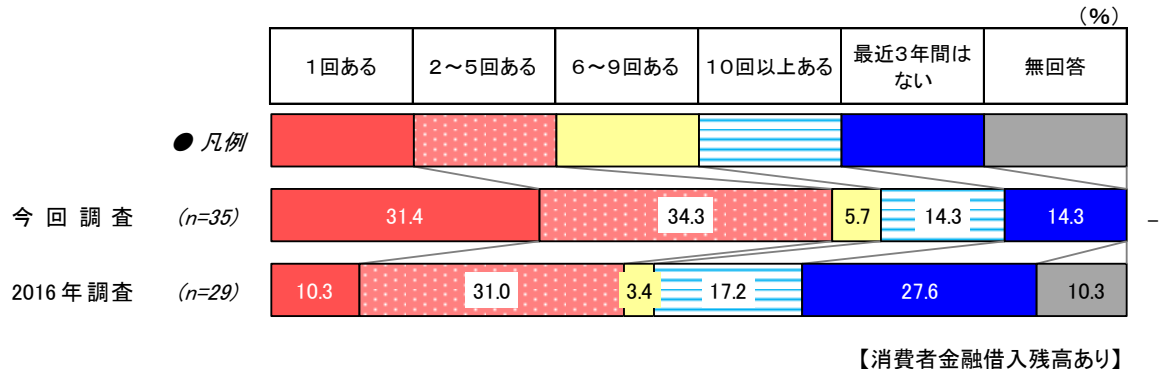


(図表 5-5-2) 最近3年間のカードローンや消費者金融から借入回数 (問 17-1)

【ア）カードローン】



【イ）消費者金融】

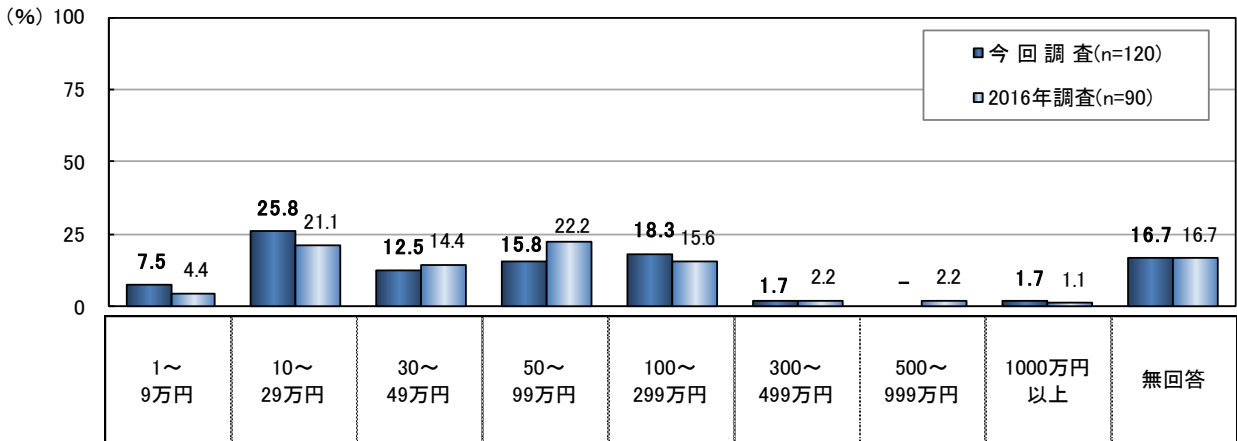


(6) 現在のカードローンや消費者金融からの借入総額

- カードローン借入者 (n=120) の現在の借入総額は、「10～29万円」が25.8%、「100～299万円」が18.3%で、現在の平均カードローン借入総額は85万8千円であった。(図表 5-6-ア)
- 一方、消費者金融借入者 35 人では、「10～29万円」が13人、「100～299万円」が8人で、現在の平均消費者金融借入総額は136万4千円であった。(図表 5-6-イ)

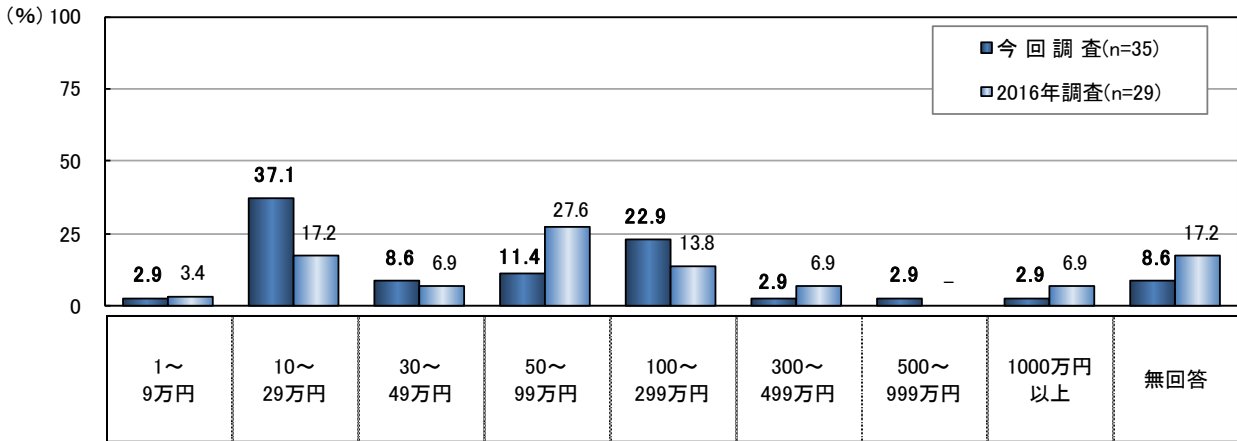
(図表 5-6) カードローンや消費者金融からの現在の借入総額 (問 17-2)

【ア】カードローン



【カードローン借入残高あり】

【イ】消費者金融

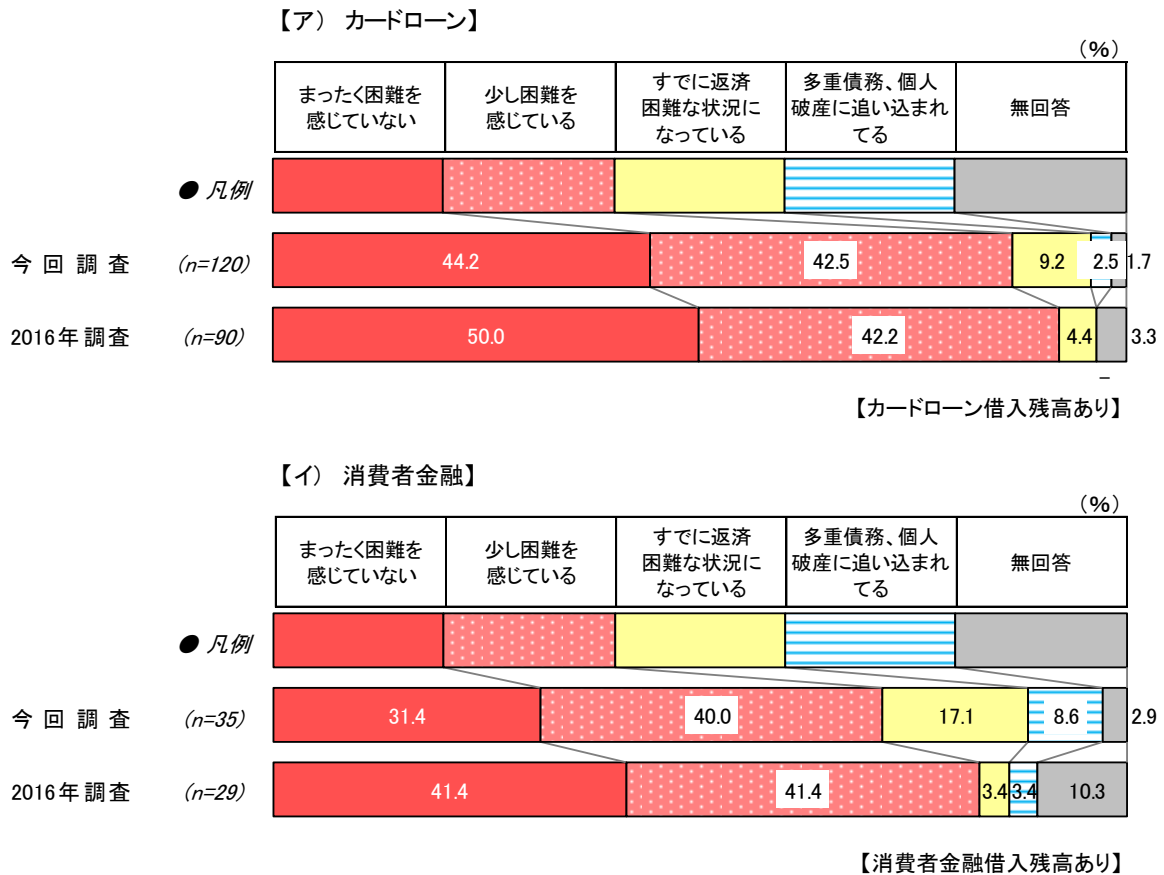


【消費者金融借入残高あり】

(7) カードローンや消費者金融からの現在の借入への返済

- カードローン借入者 (n=120) で、返済に「まったく困難を感じていない」と回答した人は 44.2% だった。「少し困難を感じている」(42.5%) と「すでに返済困難な状況になっている」(9.2%) と合わせた『困難を感じている』は 51.7% と約半数だった(図表 5-7-ア)。
- 一方、消費者金融借入者 35 人では、「まったく困難を感じていない」人が 11 人、「少し困難を感じている」人が 14 人、「すでに返済困難な状況になっている」人が 6 人、「多重債務、個人破産に追い込まれている」人が 3 人である。(図表 5-7-イ)。

(図表 5-7) カードローンや消費者金融からの借入返済の困難 (問 17-3)

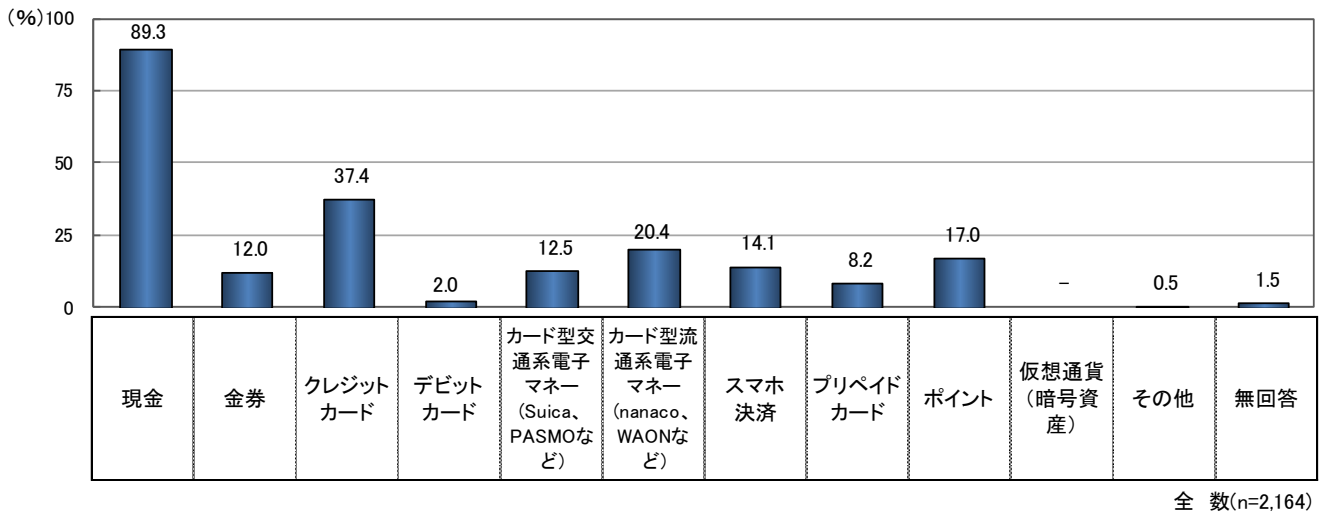


6. 決済方法について

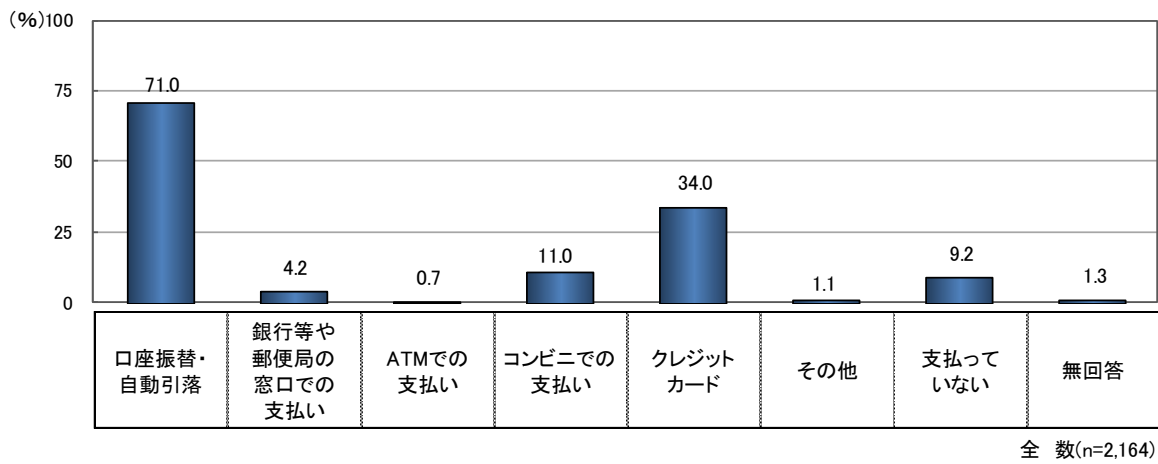
(1) 各種支払いに利用する決済方法

- 「スーパーやコンビニでの買い物の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「現金」が89.3%と最も多く、次いで「クレジットカード」(37.4%)、「カード型流通系電子マネー（nanaco、WAONなど）」(20.4%)、「ポイント」(17.0%)、「スマホ決済」(14.1%)、「カード型交通系電子マネー（Suica、PASMOなど）」(12.5%)、「金券」(12.0%)の順だった。（図表 6-1-1）
- 「電気・ガス・水道代などの公共料金の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が71.0%と最も多く、次いで「クレジットカード」(34.0%)、「コンビニでの支払い」(11.0%)の順だった。「支払っていない」は9.2%だった。（図表 6-1-2）
- 「家賃・給食費・新聞購読代などの定期的な支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が61.1%と最も多く、次いで「クレジットカード」(16.6%)、「コンビニでの支払い」(7.4%)の順だった。「支払っていない」は14.0%だった。（図表 6-1-3）
- 「固定資産税などの税金や社会保険料の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が55.2%と最も多く、次いで「銀行等や郵便局の窓口での支払い」(22.9%)、「コンビニでの支払い」(18.0%)の順だった。「支払っていない」は10.1%だった。（図表 6-1-4）
- 「ネット通販で購入した代金の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「クレジットカード」が47.1%と最も多く、次いで「コンビニでの支払い」(27.5%)、「代金引換」(15.0%)、「ポイント」(10.9%)の順だった。「ネット通販は利用していない」は23.8%だった。（図表 6-1-5）

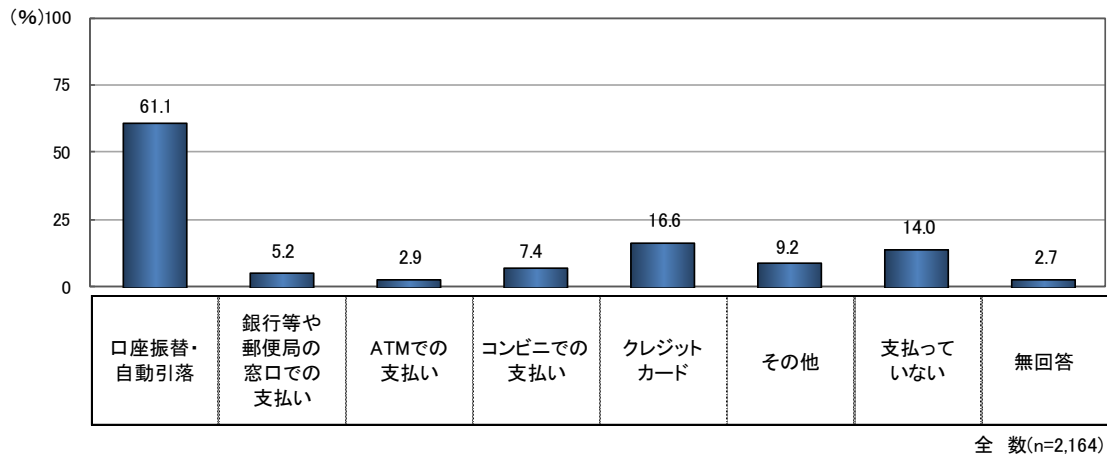
(図表 6-1-1) スーパーやコンビニでの支払い方法 (問 18)



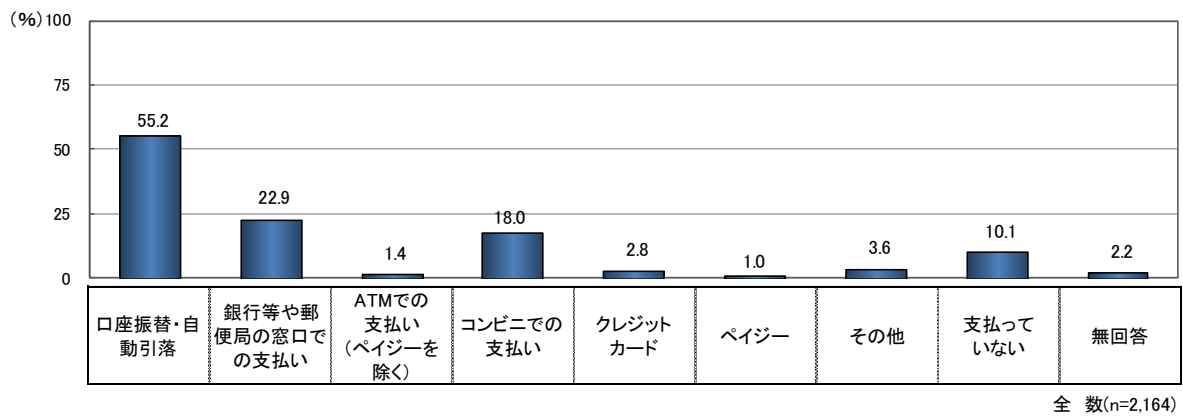
(図表 6-1-2) 電気・ガス・水道代などの公共料金の支払い方法 (問 19)



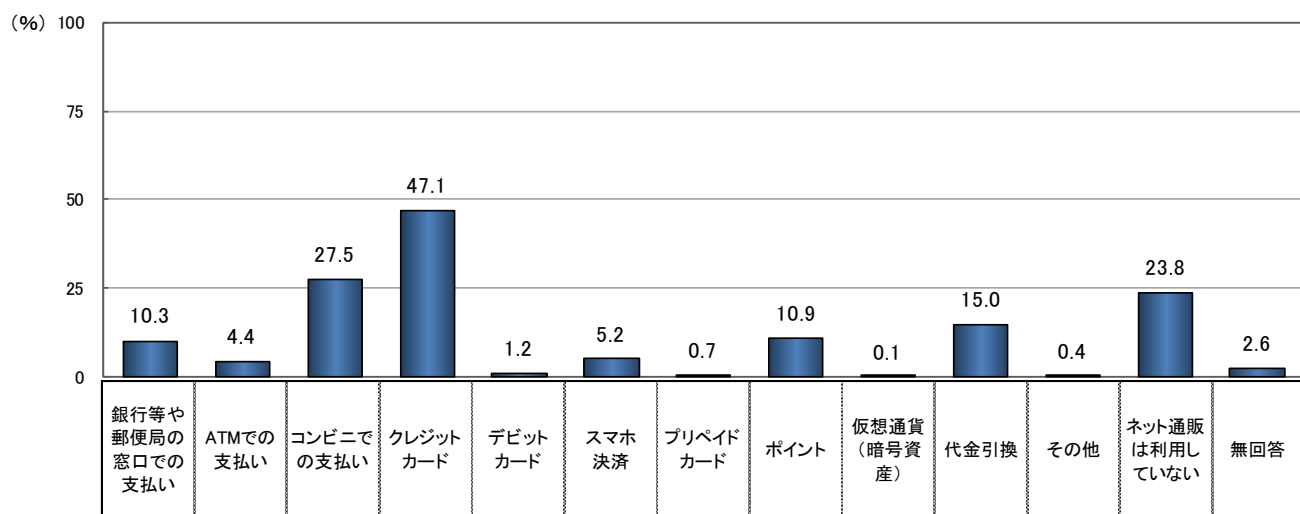
(図表 6-1-3) 家賃・給食費・新聞購読代などの定期的な支払い方法 (問 20)



(図表 6-1-4) 固定資産税などの税金や社会保険料の支払い方法 (問 21)



(図表6-1-5) ネット通販で購入した代金の支払い方法 (問22)

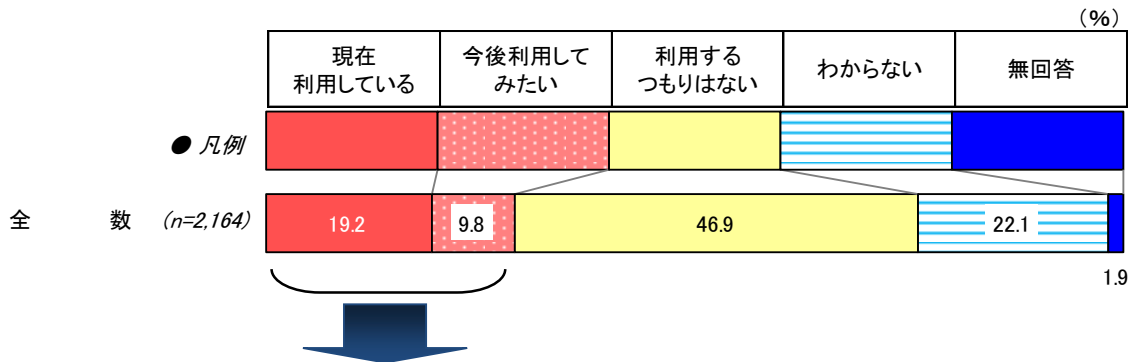


全数(n=2,164)

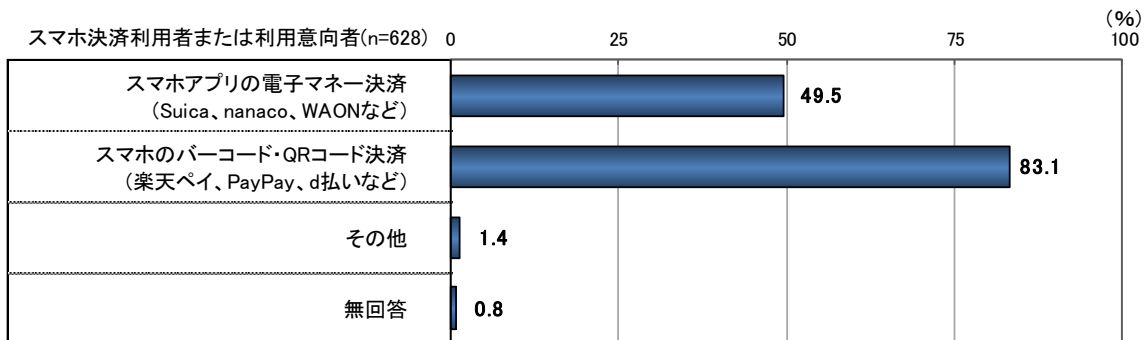
(2) スマホ決済の利用状況・利用意向

- スマホ決済の利用有無または今後利用意向を聞いたところ、「現在利用している」は19.2%で、「今後利用してみたい」の9.8%と合わせて29.0%が利用意向がある。他方「利用するつもりはない」が46.9%、「わからない」が22.1%を占めた。(図表6-2-1)
- 利用意向がある人(n=628)に、現在利用または今後利用したいスマホ決済の種類(複数回答)を聞いたところ、「スマホのバーコード・QRコード決済」が83.1%と8割を超え、「スマホアプリの電子マネー決済」が49.5%だった。(図表6-2-2)

(図表6-2-1) スマホ決済の利用状況・利用意向 (問23)



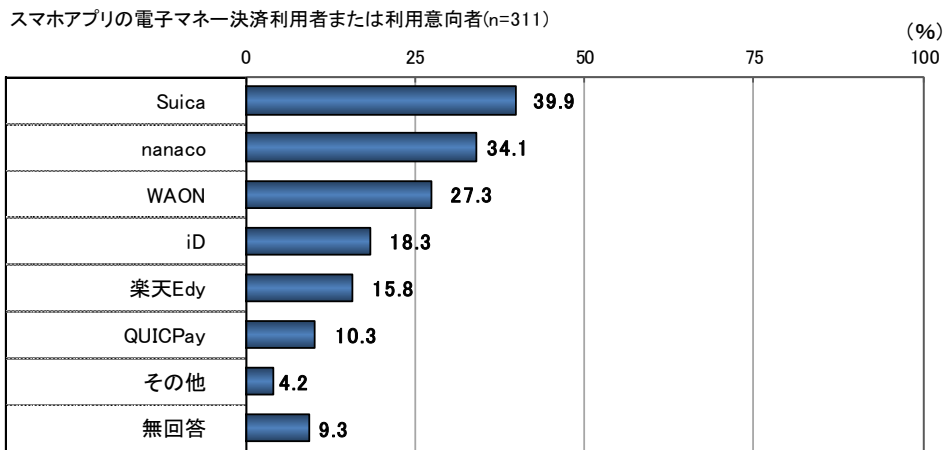
(図表6-2-2) 現在利用または今後利用したいスマホ決済 (問23-1、複数回答)



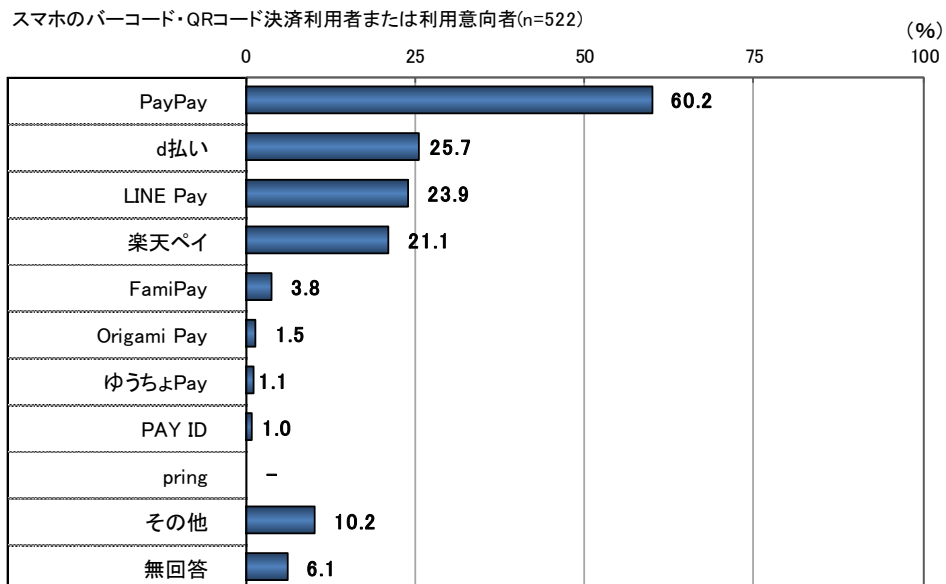
(3) 利用しているスマホ決済（利用意向含む）

- スマホアプリの電子マネー決済を利用している／利用意向がある人（n=311）に、具体的なサービス（複数回答）を聞いたところ、「Suica」（39.9%）、「nanaco」（34.1%）、「WAON」（27.3%）、「iD」（18.3%）、「楽天Edy」（15.8%）の順に多かった。（図表 6-3-1）
- バーコード・QRコード決済を利用している／利用意向がある人（n=522）に、具体的なサービス（複数回答）を聞いたところ、「PayPay」（60.2%）、「d払い」（25.7%）、「LINE Pay」（23.9%）、「楽天ペイ」（21.1%）の順に多かった。（図表 6-3-2）

(図表 6-3-1) 現在利用しているスマホアプリの電子マネー決済（問 23-1-1、複数回答）



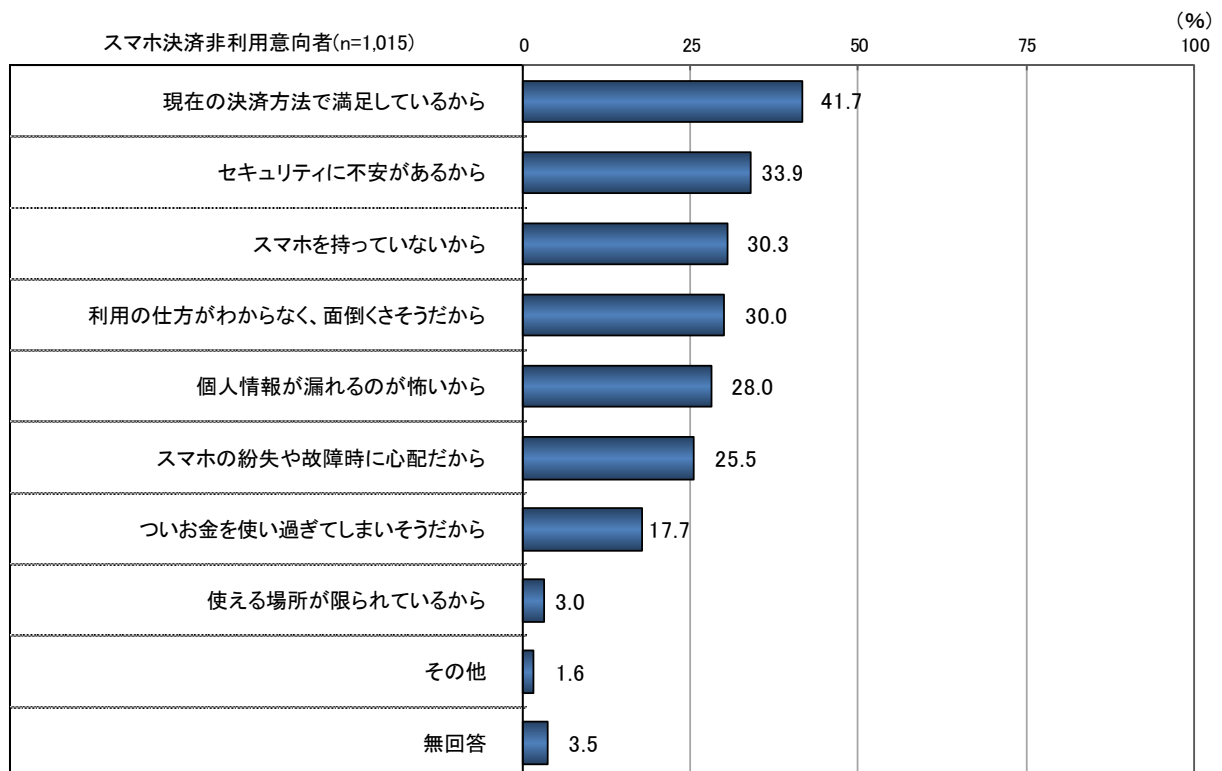
(図表 6-3-2) 現在利用しているバーコード・QRコード決済（問 23-1-2、複数回答）



(4) スマホ決済を利用しない理由

- スマホ決済を「利用するつもりはない」と回答した人 (n=1,015) に、利用しない理由 (複数回答) を聞いたところ、「現在の決済方法で満足しているから」が 41.7% で最も多く、次いで「セキュリティに不安があるから」(33.9%)、「スマホを持っていないから」(30.3%)、「利用の仕方がわからなく、面倒臭そうだから」(30.0%)、「個人情報が洩れるのが怖いから」(28.0%) が 3 割前後で続き、「スマホの紛失や故障時に心配だから」(25.5%)、「ついお金を使い過ぎてしまいそうだから」(17.7%) の順だった。(図表 6-4)

(図表 6-4) スマホ決済を利用しない理由 (問 23-2)

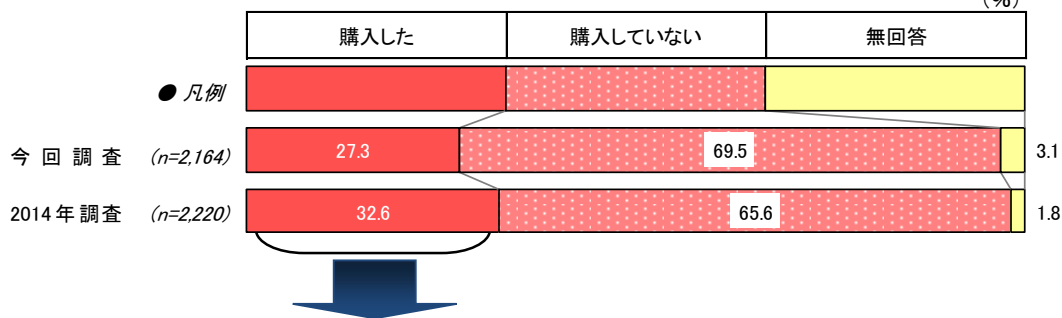


7. 消費税率の引上げについて

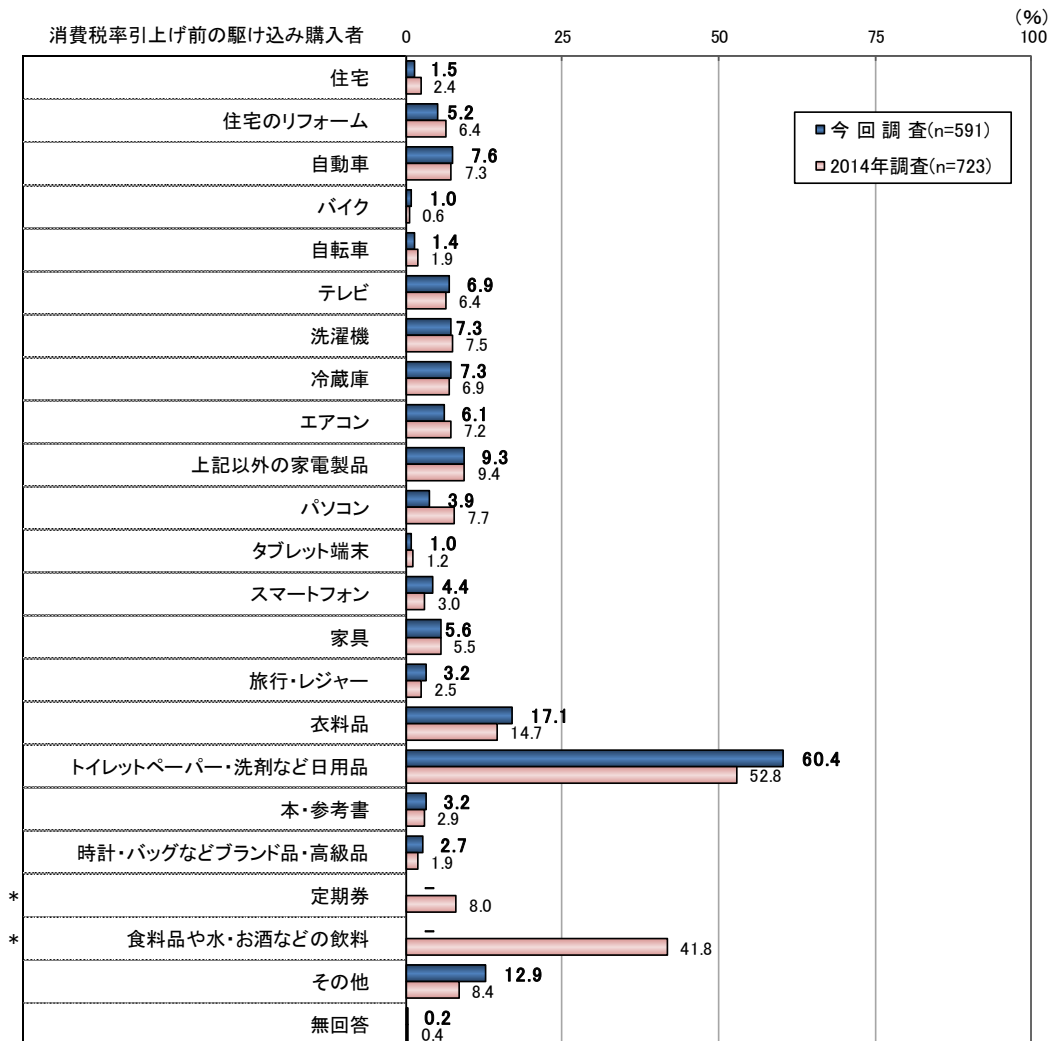
(1) 消費税率引上げ前の駆け込み購入

- 2019年10月からの消費税率引き上げに際し、9月までに駆け込み商品などを購入したかを聞くと、「購入した」は27.3%だった。(図表7-1-1)
- 駆け込み購入した人(n=591)に、具体的に購入した商品(複数回答)を聞くと、「トイレトペーパー・洗剤など日用品」が60.4%で最も多く、次いで「衣料品」(17.1%)、「テレビ・洗濯機・冷蔵庫・エアコン以外の家電製品」(9.3%)、「自動車」(7.6%)で、この後に「洗濯機」「冷蔵庫」(ともに7.3%)、「テレビ」(6.9%)、「エアコン」(6.1%)と電化製品が6~7%で続いた。(図表7-1-2)

(図表7-1-1) 消費税率引き上げ前、9月までの駆け込み購入の有無(問24)
(%)



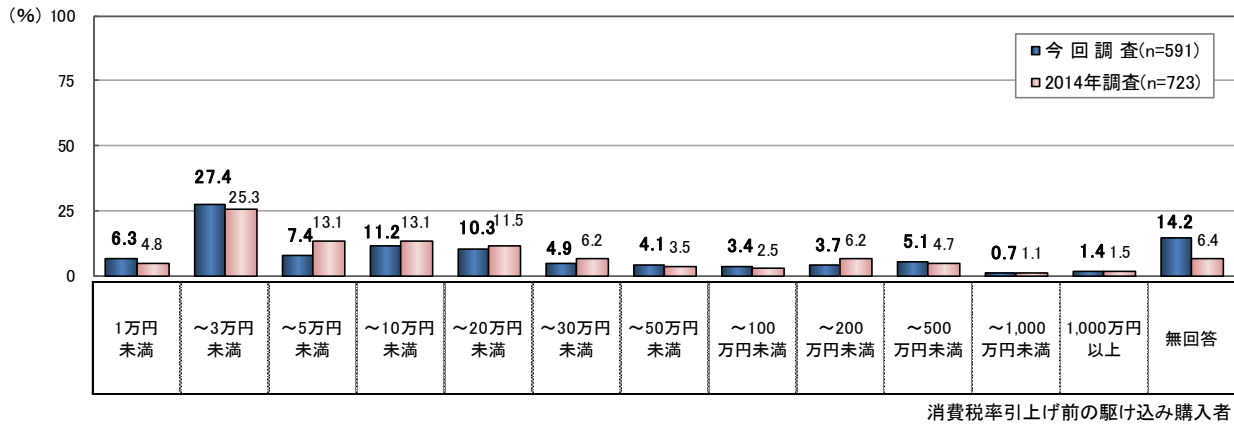
(図表7-1-2) 駆け込みで購入した商品(問24-1)



(2) 消費税率引上げ前の駆け込み購入の金額

- 駆け込みで購入した合計金額を具体的に聞くと、「1万円～3万円未満」が27.4%を占め、「5万円～10万円未満」(11.2%)と「10万円～20万円未満」(10.3%)がそれぞれ1割程度だった。平均金額は68万7千円だった。(図表7-2)

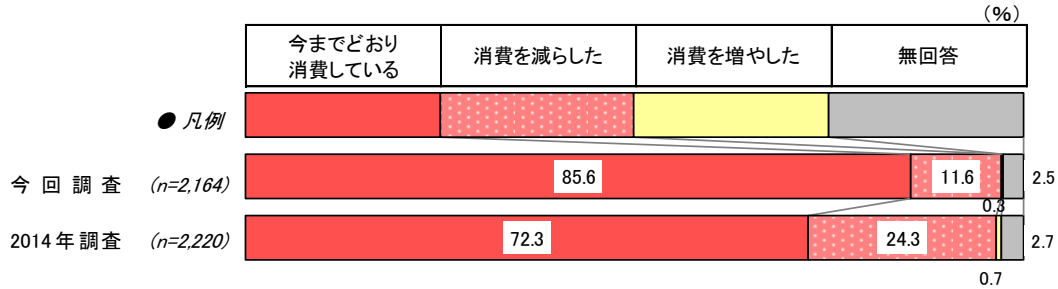
(図表7-2) 駆け込みで購入した金額の合計 (問24-2)



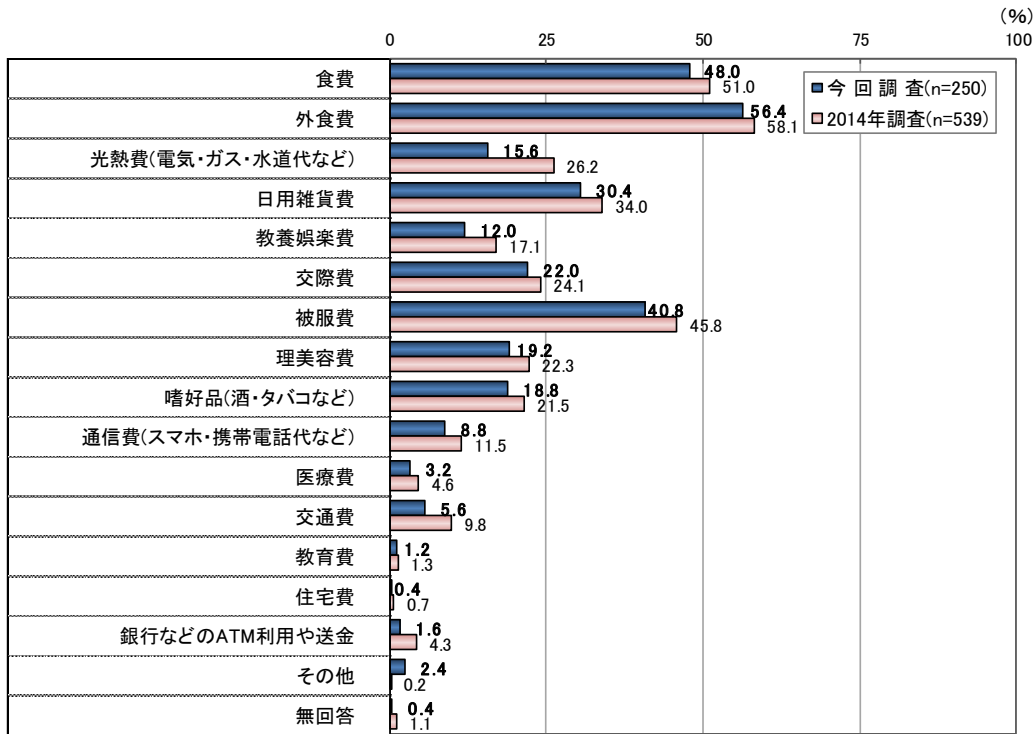
(3) 消費税率引上げ後の消費増減

- 消費税引き上げ後の消費の変化（増減）を聞くと、「今までどおり消費している」が85.6%を占めた。「消費を減らした」が11.6%、「消費を増やした」は0.3%。（図表7-3-1）
- 「消費を減らした」と回答した人（n=250）に、消費を減らした項目（複数回答）を聞くと、「外食費」（56.4%）が最も多く、次いで「食費」（48.0%）、「被服費」（40.8%）が4割台、「日用雑貨費」（30.4%）。「交際費」（22.0%）の順で続いた。（図表7-3-2）

(図表7-3-1) 消費税率引き上げ後の消費の変化（問25）



(図表7-3-2) 消費税率引き上げ後に消費を減らした項目（問25-1、複数回答）



【消費税率引上げ後に消費を減らした人】

(図表7-3-3) 参考：消費税率引き上げ後に消費を増やした項目（問25-2、複数回答）

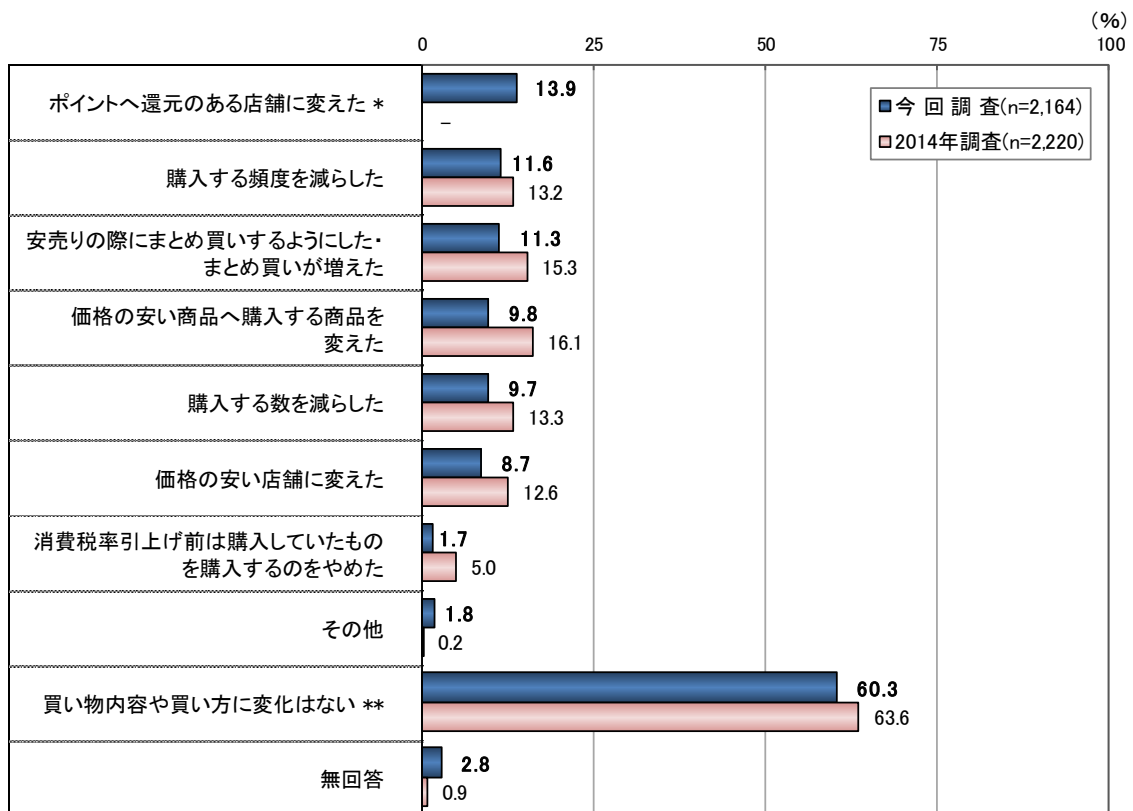
	食費	外食費	光熱費(電気・ガス・水道代など)	日用雑貨費	教養娯楽費	交際費	被服費	理美容費	嗜好品(酒・タバコなど)	通信費(スマホ・携帯電話代など)	医療費	交通費	教育費	住宅費	銀行などのATM利用や送金	その他	無回答
今回調査 (n=7)	2	1	2	0	1	2	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0
2014年調査 (n=15)	5	2	5	2	0	1	3	0	5	3	5	1	2	0	1	2	0

【消費税率引上げ後に消費を増やした人】

(4) 消費税率引き上げ後の買い物内容や買い方の変化

- 消費税率引き上げ後の買い物の内容や買い方の変化を聞くと、「買い物内容や買い方に変化はない」(60.3%)が6割を占めた。変化として挙げられた中では、「ポイントへ還元のある店舗に変えた」が13.9%で最も多く、次いで「購入する頻度を減らした」(11.6%)、「安売りの際にまとめ買いするようにした、まとめ買いが増えた」(11.3%)、「価格の安い商品へ購入する商品を変えた」(9.8%)、「購入する数を減らした」(9.7%)、「価格の安い店舗に変えた」(8.7%)の順に、いずれも1割前後で続く。(図表7-4-1)
- 消費税率引き上げ後の生活への影響程度を聞くと、「それほど影響はない」が55.9%と半数を超えるが、「かなり苦しくなった」(4.3%)と「やや苦しくなった」(21.4%)を合わせた25.7%が苦しくなったと回答している。(図表7-4-2)

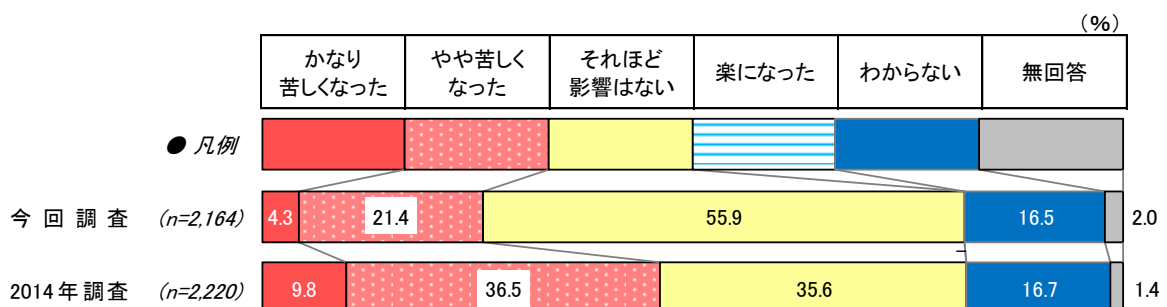
(図表7-4-1) 消費税率引き上げ後の買い物内容や買い方の変化 (問26)



* 2019年調査の新規項目

**2014年調査は買い物内容や買い方の変化を別質問で「変化がある」「変化はない」の2択で聞いた

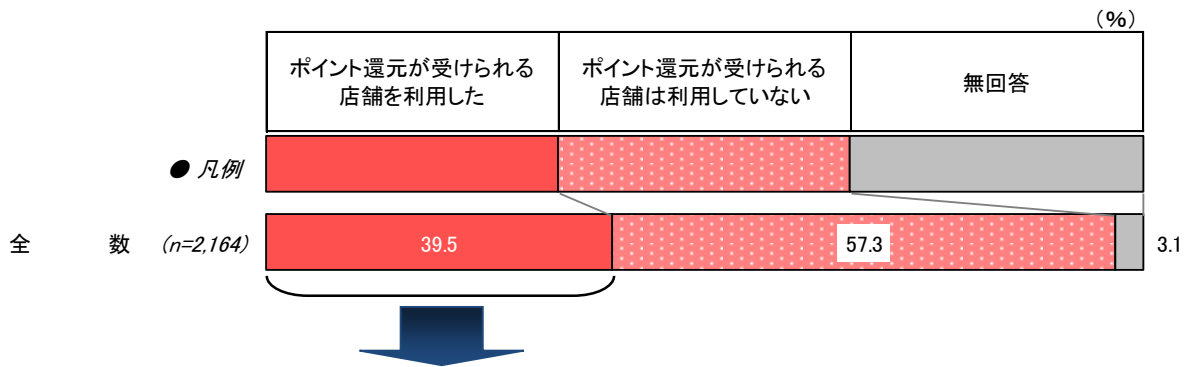
(図表7-4-2) 消費税率引き上げ後の生活の変化 (問27)



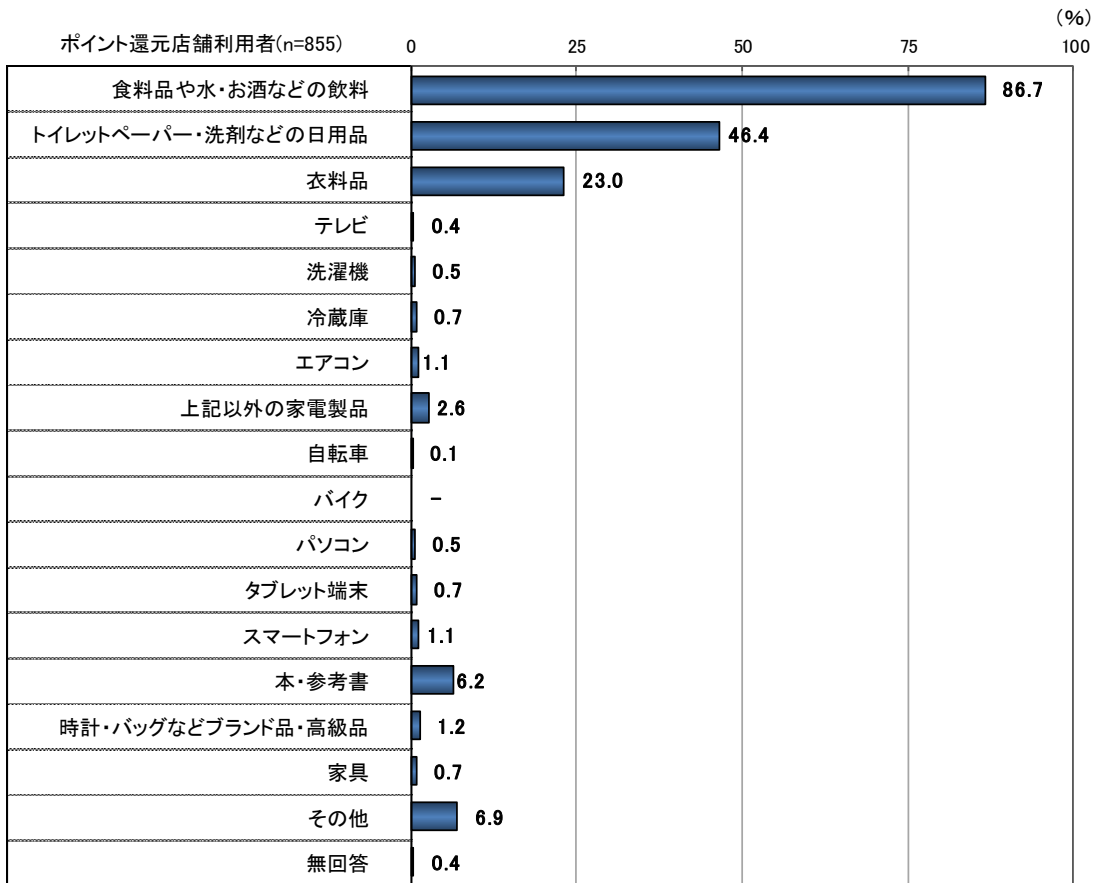
(5) ポイント還元制度の利用

- 消費税率引上げ後のポイント還元制度の利用は、「ポイント還元が受けられる店舗を利用した」と回答した人は約4割(39.5%)で、「ポイント還元が受けられる店舗は利用していない」と回答した人(57.3%)を下回る。(図表7-5-1)
- ポイント還元が受けられる店舗を利用した人(n=855)に、購入した商品(複数回答)を聞くと、「食料品や水・お酒などの飲料」が86.7%で最も多く、次いで「トイレットペーパー・洗剤などの日用品(46.4%)、「衣料品」(23.0%)、「本・参考書」(6.2%)と続く。(図表7-5-2)

(図表7-5-1) 消費税率引き上げ後の生活の変化(問28)



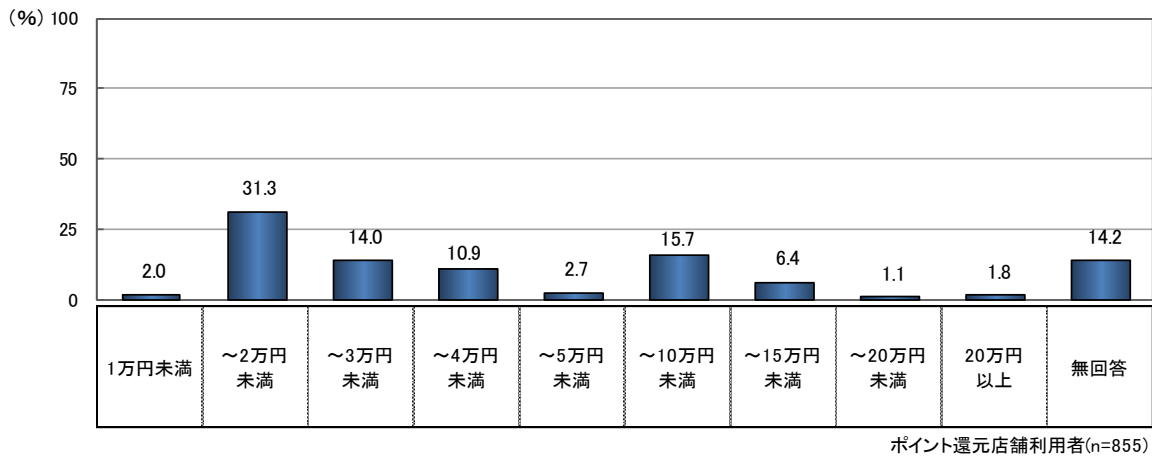
(図表7-5-2) ポイント還元店舗で購入した商品(問28-1、複数回答)



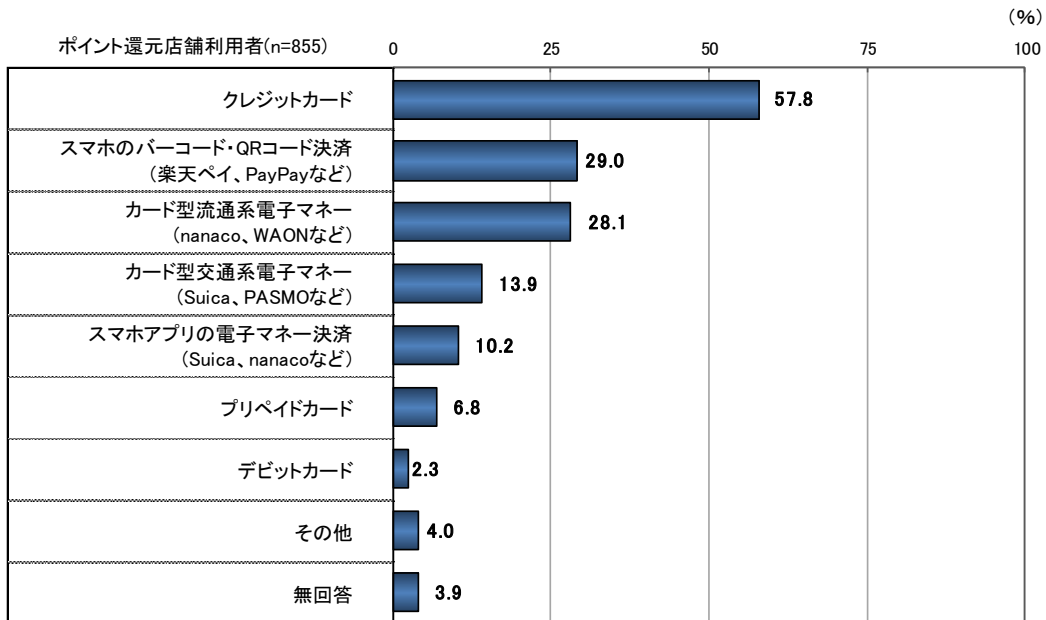
(6) ポイント還元が受けられる店舗で利用した金額と決済方法

- 2019年10月の1か月間に、ポイント還元が受けられる店舗で購入した合計金額は、「1万円～2万円未満」が31.3%と最も多く、次いで「5万円～10万円未満」(15.7%)、「2万円～3万円未満」(14.0%)だった。(図表7-6-1)
- ポイント還元が受けられる店舗で利用したキャッシュレス決済の方法(複数回答)は、「クレジットカード」が57.8%で最も多く、次いで「スマホのバーコード・QRコード決済」(29.0%)と「カード型流通系電子マネー」(28.1%)が3割弱で続く。(図表7-6-2)

(図表7-6-1) ポイント還元店舗で購入した合計金額(問28-2)



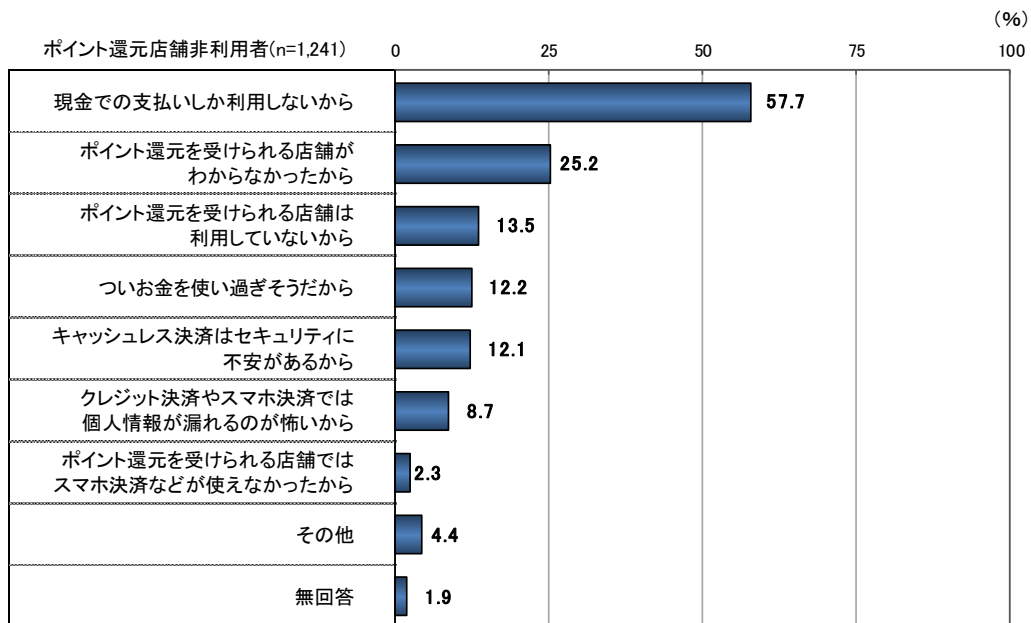
(図表7-6-2) ポイント還元店舗で利用したキャッシュレス決済方法(問28-3、複数回答)



(7) ポイント還元制度を利用しなかった理由

- ポイント還元が受けられる店舗を利用しなかった人 (n=1,241) に、利用しなかった理由 (複数回答) を聞くと、「現金での支払いしか利用しないから」が 57.7%で最も多く、次いで「ポイント還元を受けられる店舗がわからなかったから」(25.2%)、「ポイント還元を受けられる店舗は利用していないから」(13.5%)、「ついお金を使い過ぎそうだから」(12.2%)、「キャッシュレス決済はセキュリティに不安があるから」(12.1%) の順で続く。(図表 7-7)

(図表 7-7) ポイント還元店舗を利用しなかった理由 (問 28-4、複数回答)

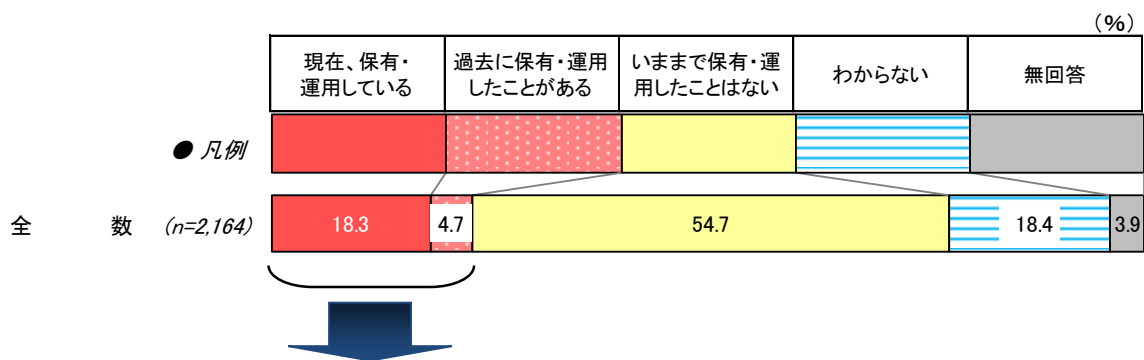


8. リスク性金融商品について

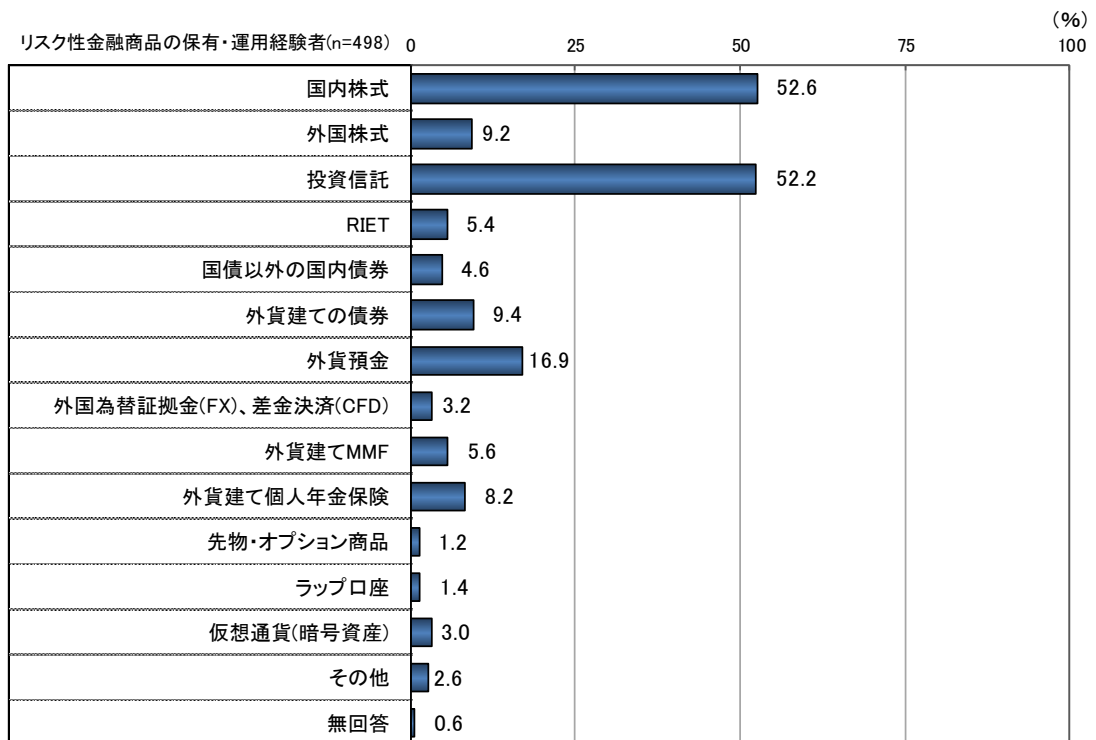
(1) リスク性金融商品の保有・運用経験

- リスク性金融商品を「現在保有・運用している」人は18.3%、「過去に保有・運用したことがある」が4.7%で、合計23.0%が保有・運用経験がある。(図表8-1-1)
- 保有・運用経験がある人(n=498)に、保有・運用したことのあるリスク性金融商品の種類(複数回答)を聞くと、「国内株式」(52.6%)と「投資信託」(52.2%)が5割台と多く、次いで「外貨預金」(16.9%)、その他の商品は1割未満だった。(図表8-1-2)

(図表8-1-1) リスク性金融商品の保有・運用経験(問29)



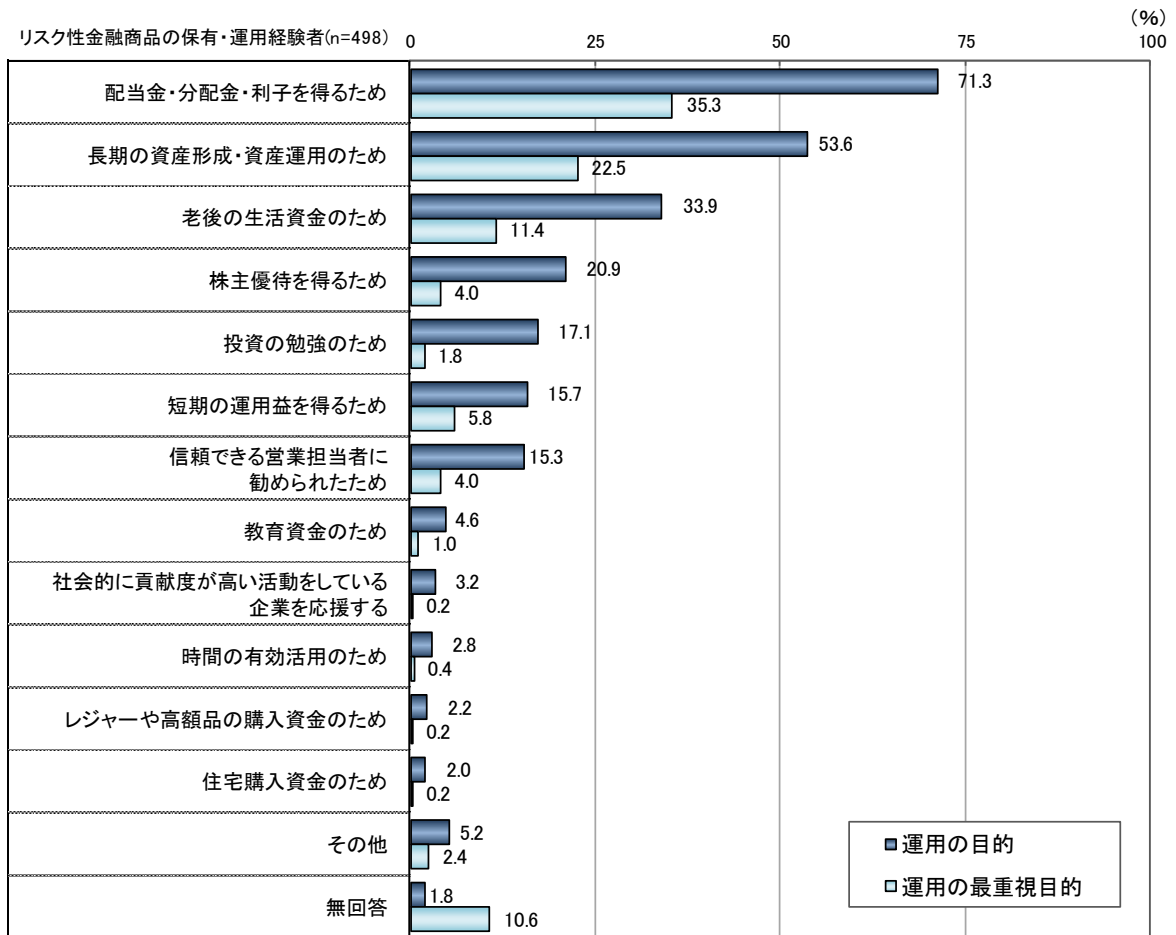
(図表8-1-2) 保有・運用したことのあるリスク性金融商品(問29-1、複数回答)



(2) リスク性金融商品の保有・運用の目的

- 保有・運用経験がある人 (n=498) に、保有・運用の目的 (複数回答) を聞くと、「配当金・分配金・利子を得るため」(71.3%)、「長期の資産形成・資産運用のため」(53.6%)、「老後の生活資金のため」(33.9%)、「株主優待を得るため」(20.9%)、「投資の勉強のため」(17.1%)、「短期の運用益を得るため」(15.7%)、「信頼できる営業担当者に勧められたため」(15.3%) の順で、これら以外は5%未満だった。
- そのうち最も重視したものを1つ聞くと、「配当金・分配金・利子を得るため」が35.3%、「長期の資産形成・資産運用のため」が22.5%で、この二つで6割弱を占める。(図表 8-2)

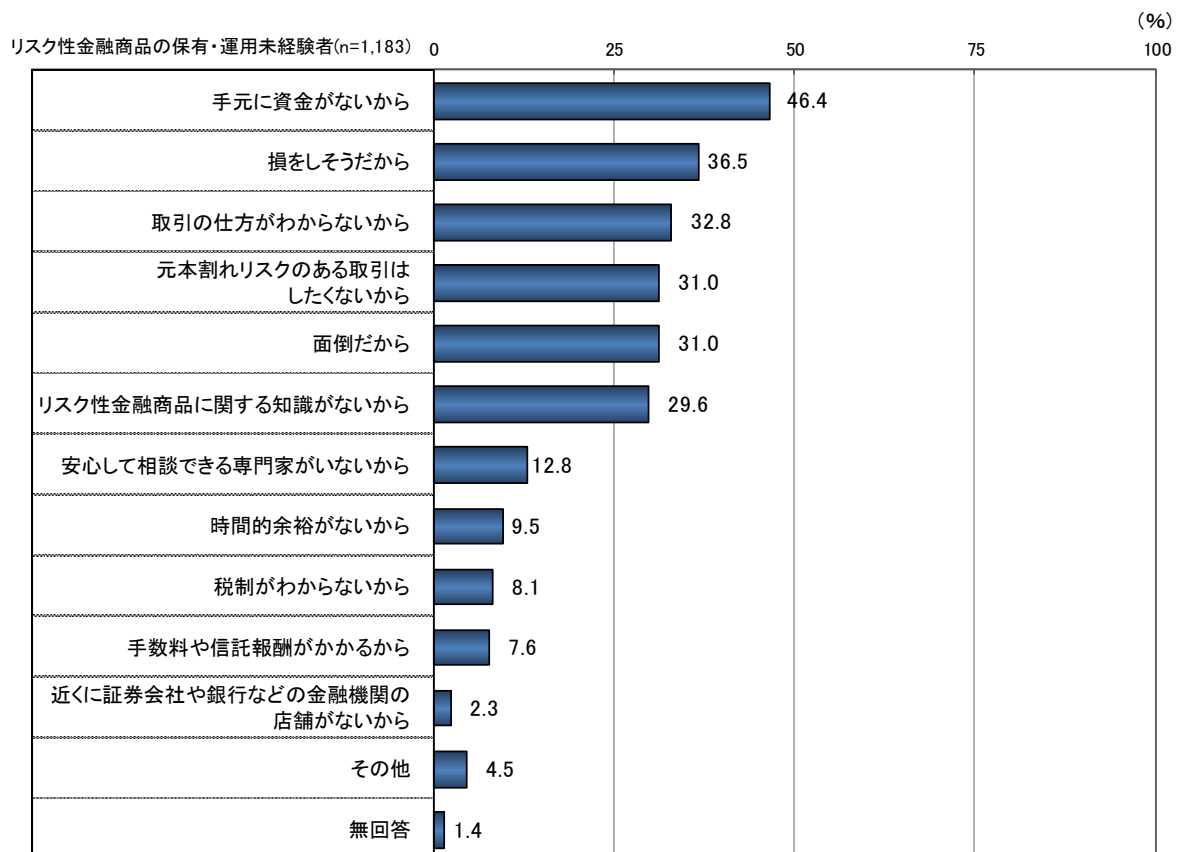
(図表 8-2) リスク性金融商品を保有・運用した目的と、最も重要視した目的 (問 29-2)



(3) リスク性金融商品を保有・運用しない理由

- 保有・運用経験がない人 (n=1,183) に、保有・運用していない理由 (複数回答) を聞くと、「手元に資金がないから」が 46.4% で最も多く、次いで「損をしそうだから」(36.5%)、「取引の仕方がわからないから」(32.8%)、「元本割れリスクのある取引はしたくないから」「面倒だから」(ともに 31.0%)、「リスク性金融商品に関する知識がないから」(29.6%) が 3 割前後で続く。(図表 8-3)

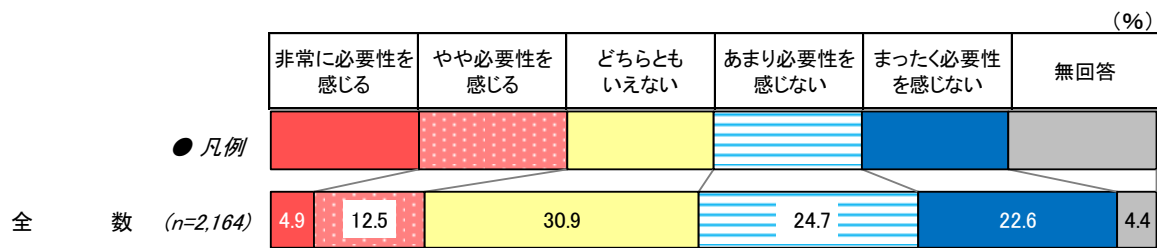
(図表 8-3) リスク性金融商品を保有・運用していない理由 (問 29-3、複数回答)



(4) リスク性金融商品を保有する必要性

- リスク性金融商品を保有することの必要性の意識の程度を聞くと、「どちらともいえない」が3割(30.9%)で最も多い。『必要性を感じない』(「あまり必要性を感じない」「まったく必要性を感じない」の合計)は47.3%で、『必要性を感じる』(「非常に必要性を感じる」「やや必要性を感じる」の合計)の17.4%を大きく上回る。(図表 8-4)

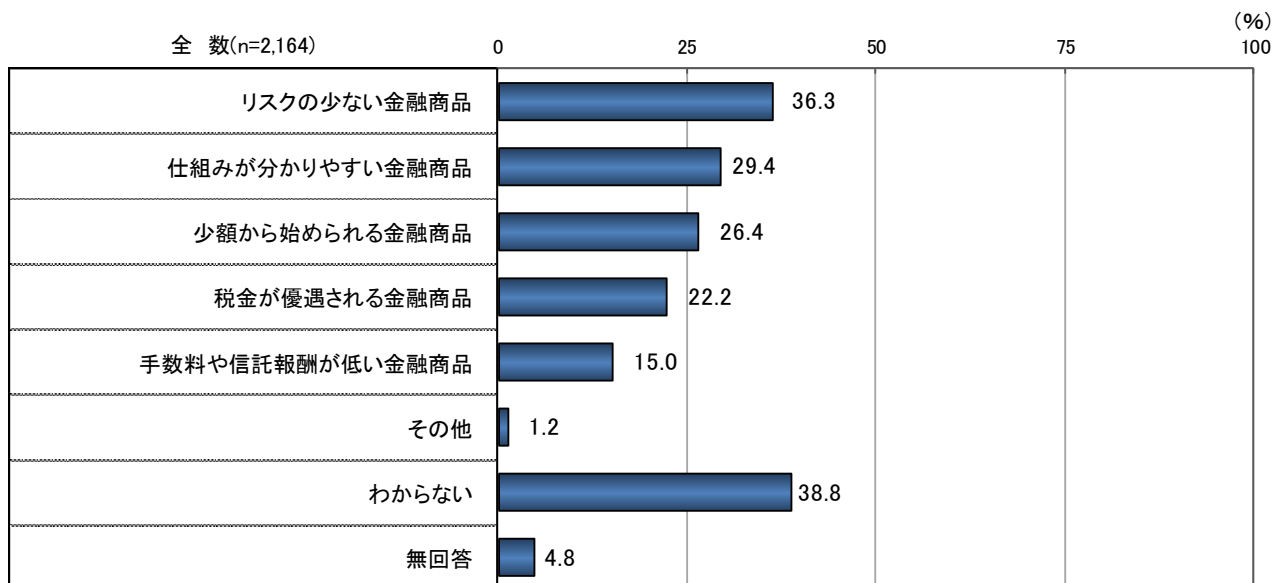
(図表 8-4) リスク性金融商品(投資信託など)を保有する必要性(問30)



(5) 魅力を感じるリスク性金融商品

- 魅力を感じるリスク性金融商品(複数回答)は、「リスクの少ない金融商品」が36.3%で最も多い。次いで「仕組みがわかりやすい金融商品」(29.4%)、「少額から始められる金融商品」(26.4%)、「税制が優遇される金融商品」(22.2%)、「手数料や信託報酬が低い金融商品」(15.0%)の順で続く。(図表 8-5)

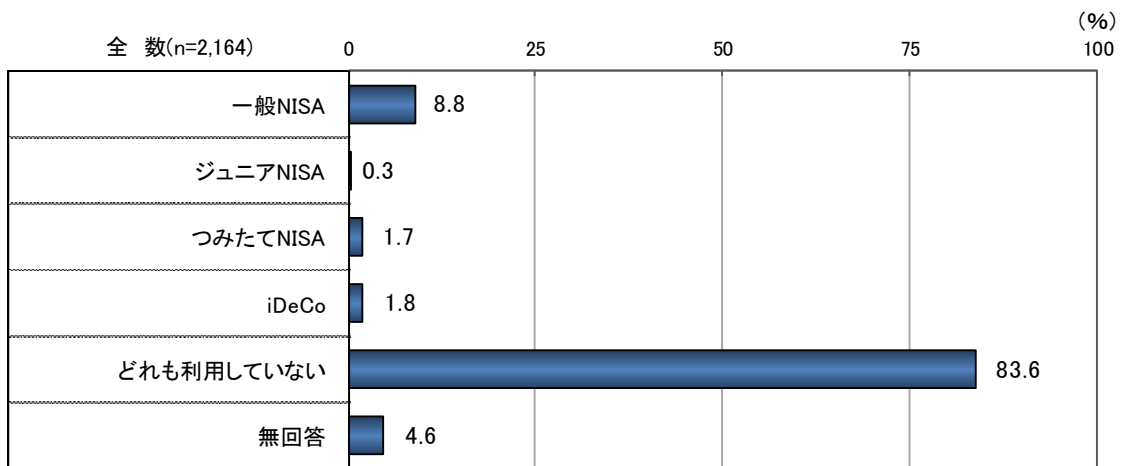
(図表 8-5) 魅力を感じるリスク性金融商品(問31、複数回答)



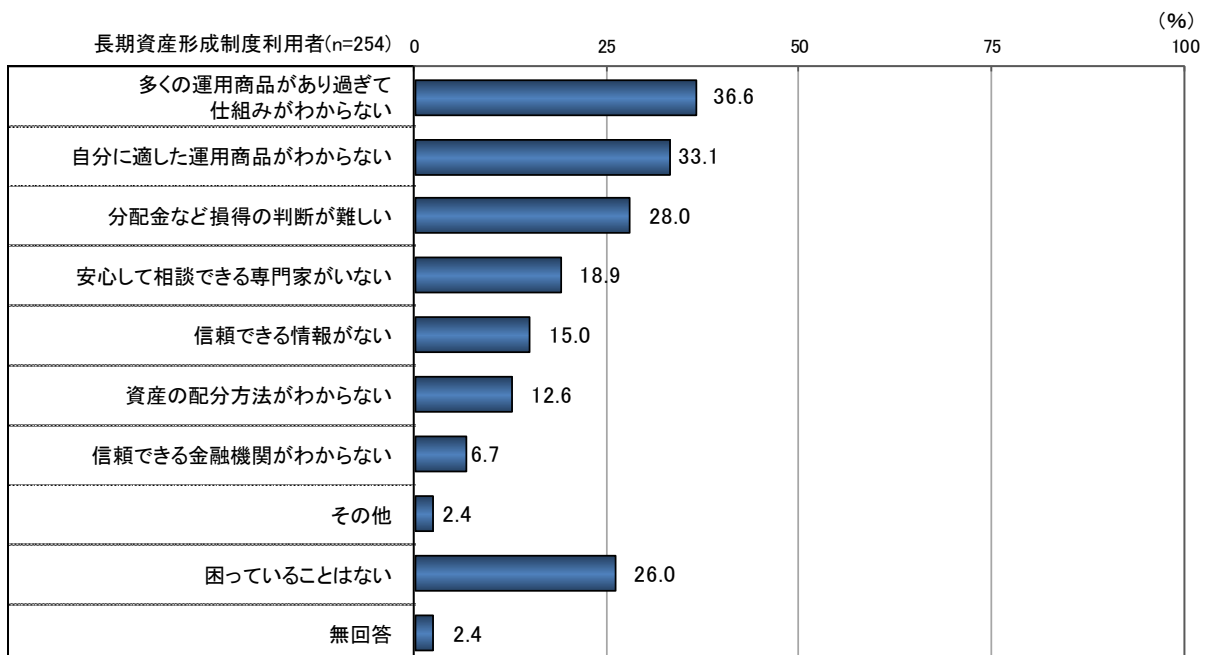
(6) 税制が優遇される長期資産形成制度の利用

- 税制が優遇される長期資産形成制度のうち利用しているもの（複数回答）を聞くと、「一般 NISA」が 8.8%で最も多く、ほかは 2%未満、「どれも利用していない」が 8割以上（83.6%）を占めた。（図表 8-6-1）
- NISA や iDeCo を利用している人（n=254）に、運用商品を選択する際に困っていること（複数回答）を聞くと、「多くの運用商品があり過ぎて仕組みがわからない」（36.6%）、「自分に適した運用商品がわからない」（33.1%）、「分配金など損得の判断が難しい」（28.0%）の順に多い。「困っていることはない」は 26.0%。（図表 8-6-2）

(図表 8 - 6 - 1) 長期資産形成制度の利用 (問 32、複数回答)



(図表 8 - 6 - 2) NISA や iDeCo の運用消費を選ぶ際に困っていること (問 32-1、複数回答)



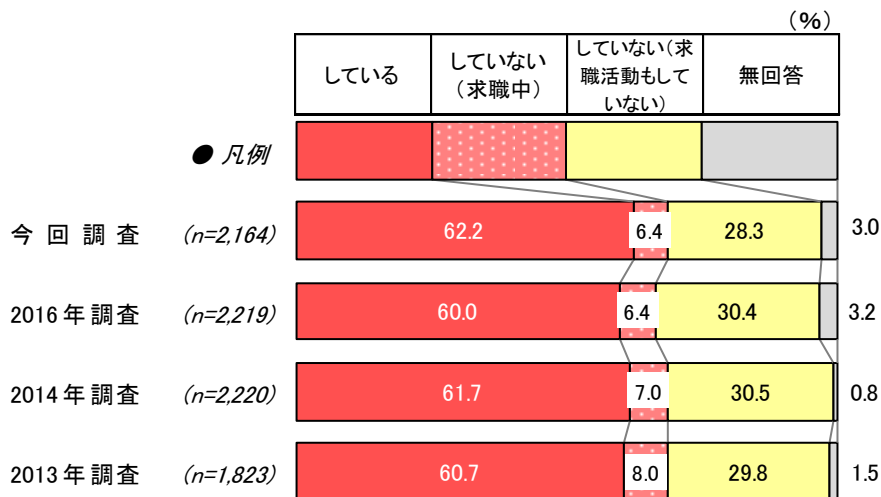
9. 就業状況について

(1) 現在就業状況（本人・配偶者）

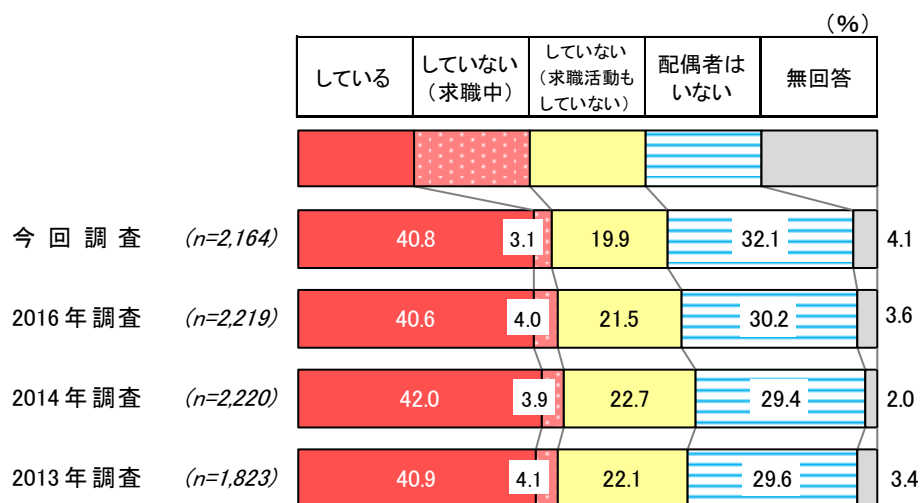
- 回答者本人で現在収入をとまなう仕事を「している」人は62.2%で、現在収入をとまなう仕事を「していない（求職中）」人は6.4%、「していない（求職活動もしていない）」人は28.3%となった。
- 一方、配偶者が、現在収入をとまなう仕事を「している」と回答した人は40.8%、「していない（求職中）」は3.1%、「していない（求職活動もしていない）」は19.9%となった。3割は、「配偶者はいない」（32.1%）という回答であった。（図表9-1）

（図表9－1）現在就業状況（本人・配偶者）（問33・問34）

〔本人〕



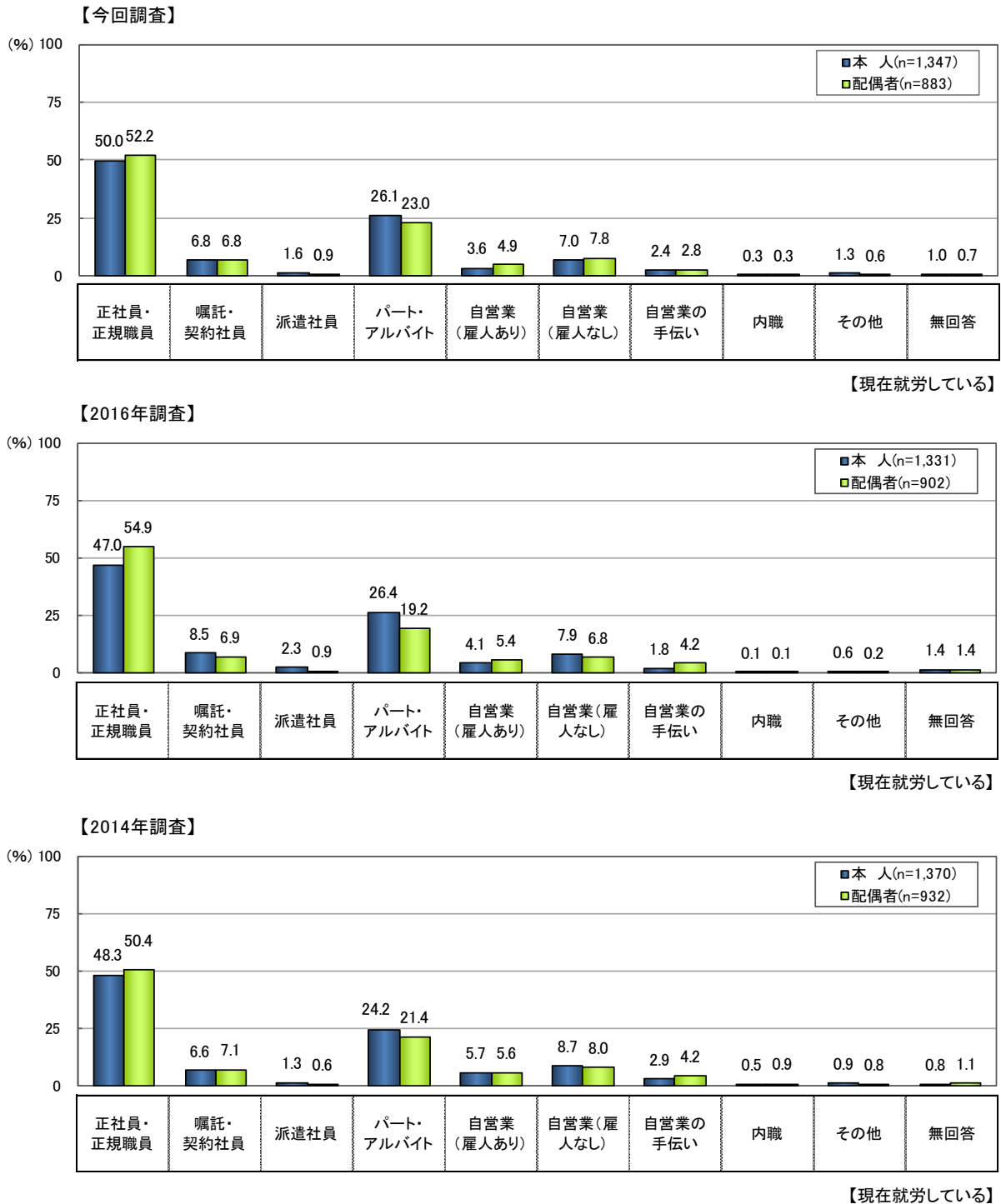
〔配偶者〕



(2) 就業者の雇用形態 (本人・配偶者)

- 有職回答者 (n=1,347) の雇用形態は、「正社員・正規職員」が 50.0%、「パート・アルバイト」が 26.1%、「自営業 (雇人なし)」が 7.0%、「嘱託・契約社員」が 6.8%となった。
 - 一方、配偶者が有職の回答者 (n=883) の配偶者の雇用形態は、「正社員・正規職員」が 52.2%、「パート・アルバイト」が 23.0%、「自営業 (雇人なし)」が 7.8%、「嘱託・契約社員」が 6.8%となった。
- (図表 9-2)

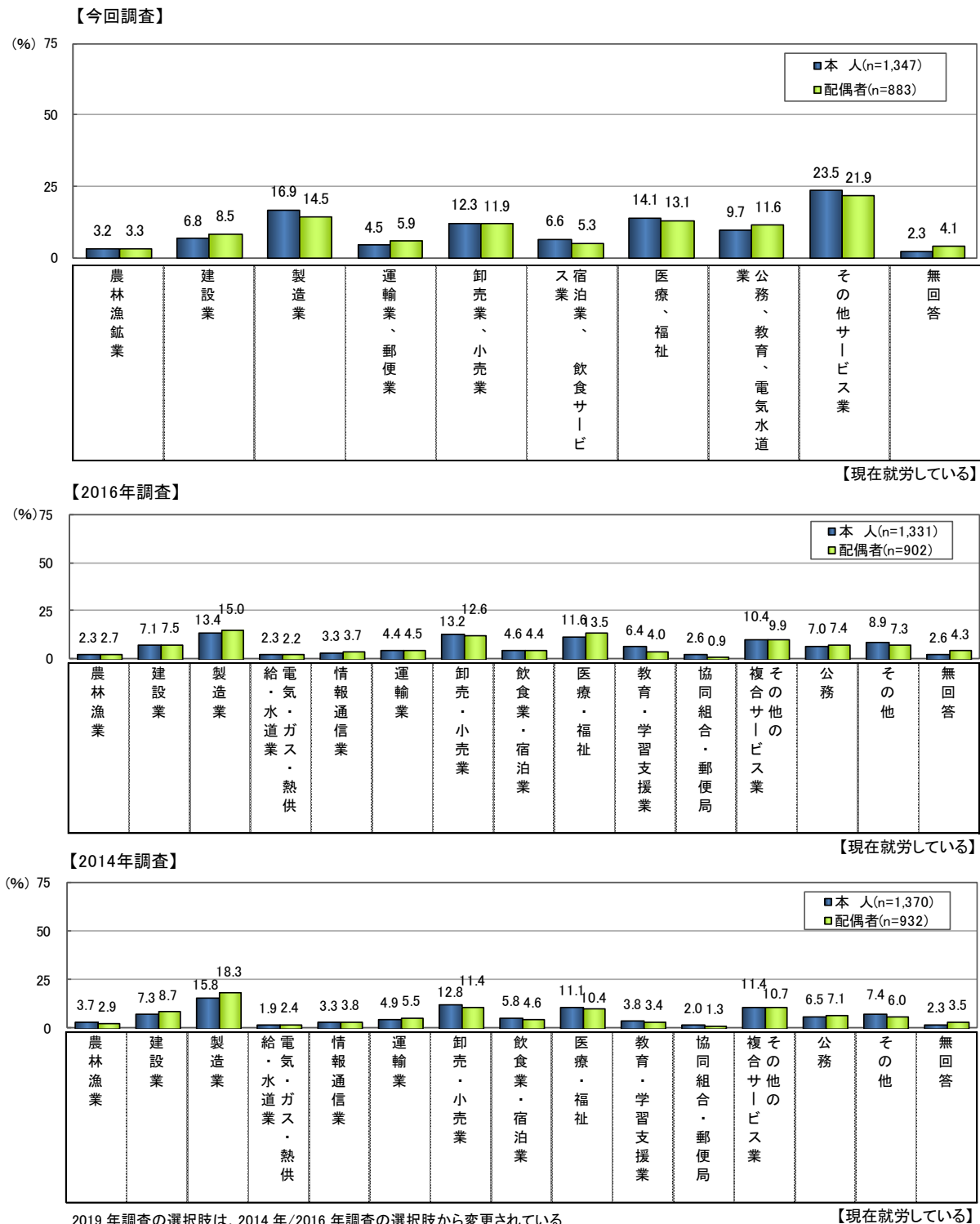
(図表 9-2) 就業者の雇用形態 (本人・配偶者) (問 33-1①・問 34-1①)



(3) 就業者の業種 (本人・配偶者)

- 有職回答者 (n=1,347) の業種は、「その他サービス業」が 23.5% で最も多く、次いで「製造業」(16.9%)、「医療・福祉」(14.1%)、「卸売業・小売業」(12.3%) と続いた。
- 配偶者 (n=883) も、「その他サービス業」が 21.9% で最も多く、次いで「製造業」(14.5%)、「医療・福祉」(13.1%)、「卸売業・小売業」(11.9%)、「公務、教育、電気水道業」(11.6%) と続いた。(図表 9-3)

(図表 9-3) 就業者の業種 (本人・配偶者) (問 33-1②・問 34-1②)

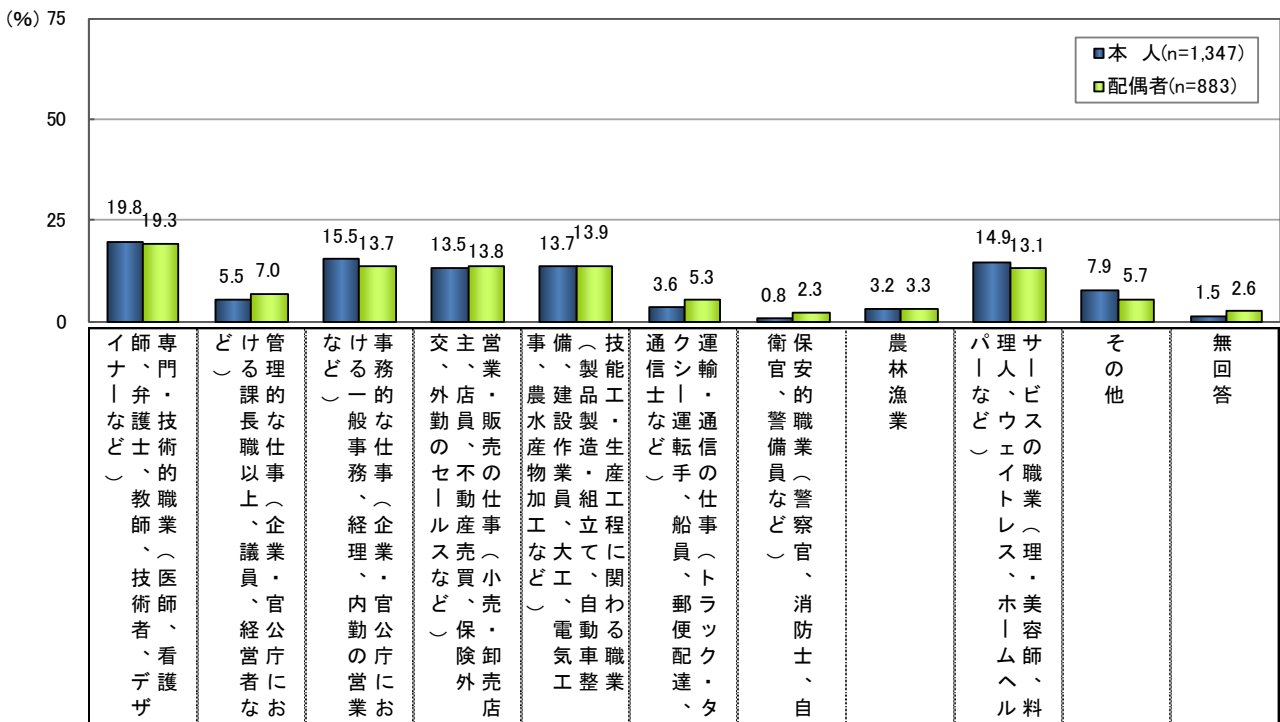


(4) 就業者の職種 (本人・配偶者)

- 有職回答者 (n=1,347) の職種は、「専門・技術的職業」(19.8%)、「事務的な仕事」(15.5%)、「サービスの職業」(14.9%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(13.7%)、「営業・販売の仕事」(13.5%)の順となった。
- 配偶者 (n=883) の職種は、「専門・技術的職業」(19.3%)に次いで、「技能工・生産工程に関わる職業」(13.9%)、「営業・販売の仕事」(13.8%)、「事務的な仕事」(13.7%)、「サービスの職業」(13.1%)が僅差で続いた。(図表 9-4)

(図表 9-4) 就業者の職種 (本人・配偶者) (問 33-1③・問 34-1③)

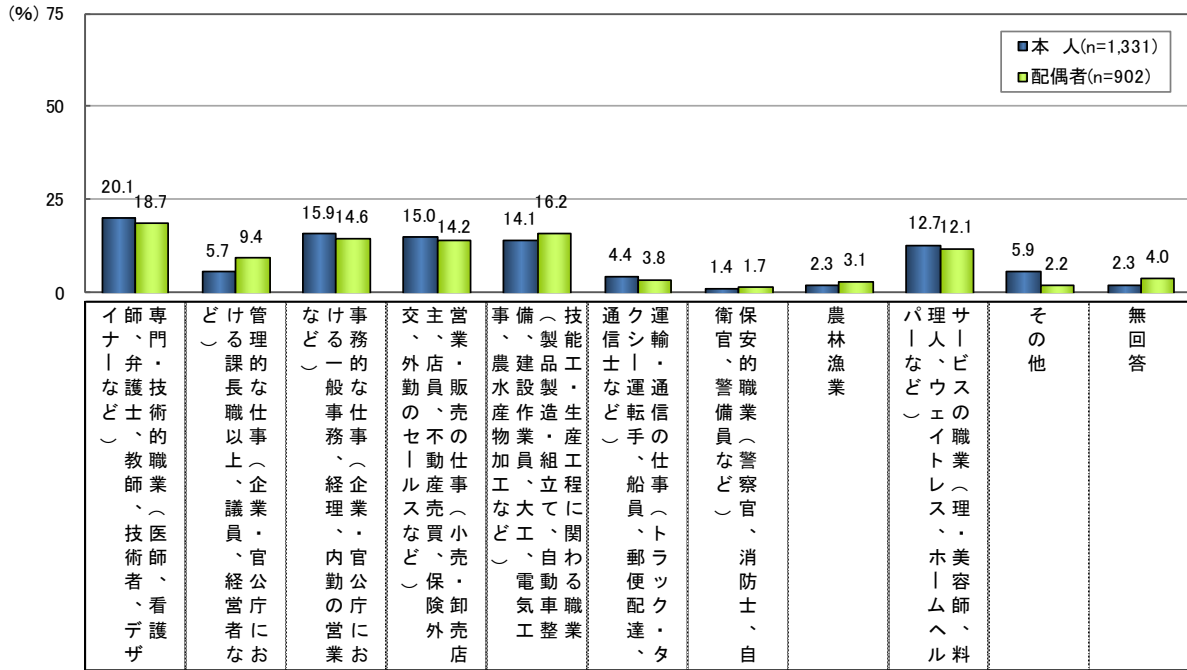
【今回調査】



【現在就労している】

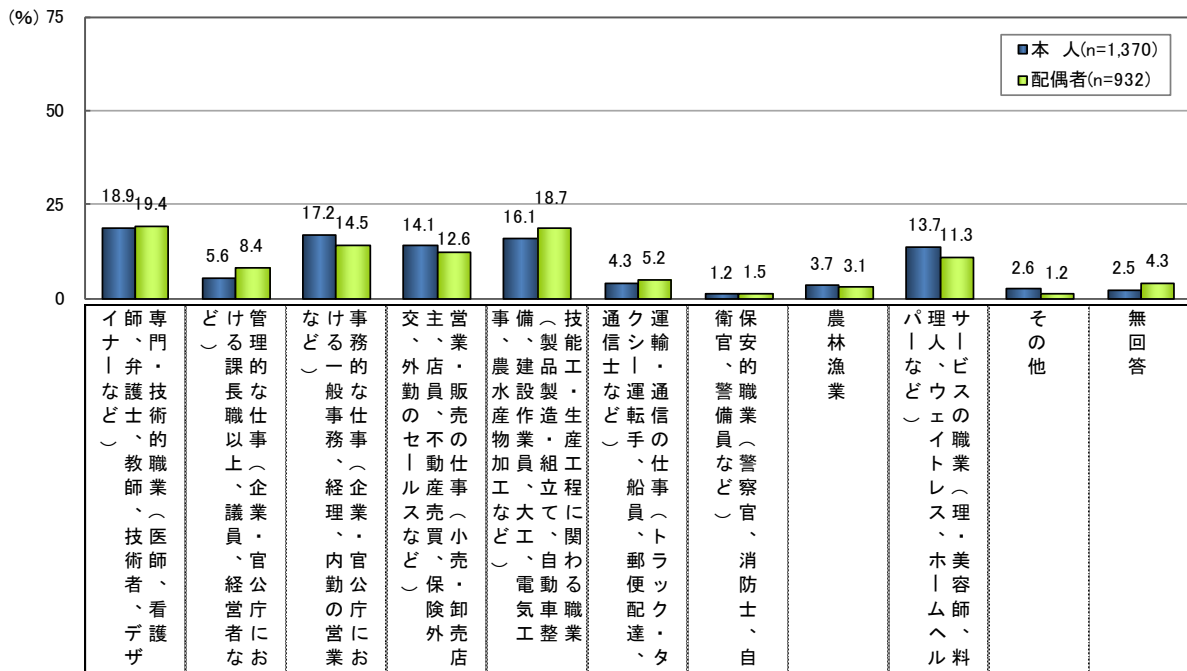
(図表9-4 続き) 就業者の職種 (本人・配偶者)

【2016年調査】



【現在就労している】

【2014年調査】



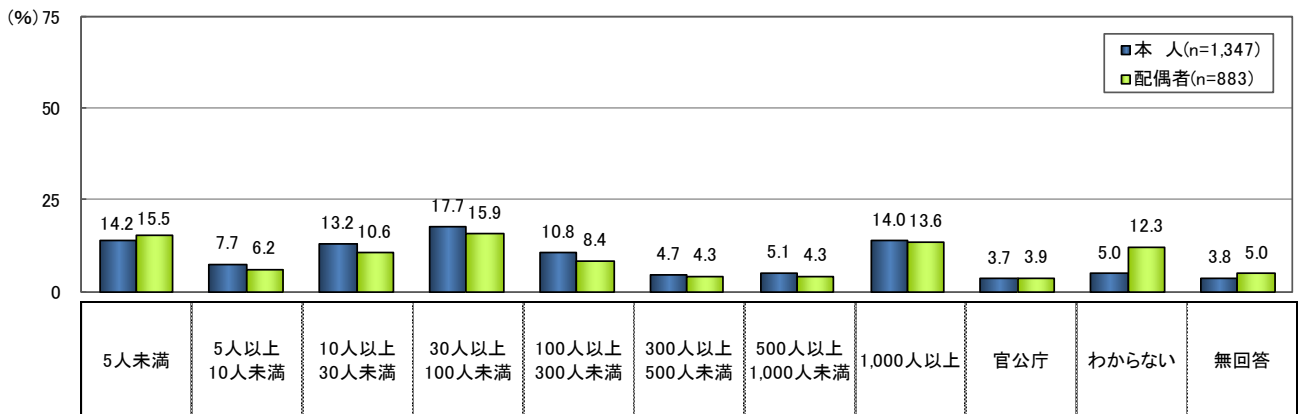
【現在就労している】

(5) 就業者の就業先従業員数（本人・配偶者）

- 有職回答者（n=1,347）の就業先の従業員数は、「30人以上100人未満」が17.7%、「5人未満」が14.2%、「1,000人以上」が14.0%、「10人以上30人未満」が13.2%、「100人以上300人未満」が10.8%となった。
- 配偶者が有職の回答者（n=883）の配偶者では、「30人以上100人未満」が15.9%、「5人未満」が15.5%、「1,000人以上」が13.6%、「10人以上30人未満」が10.6%の順となった。（図表9-5）

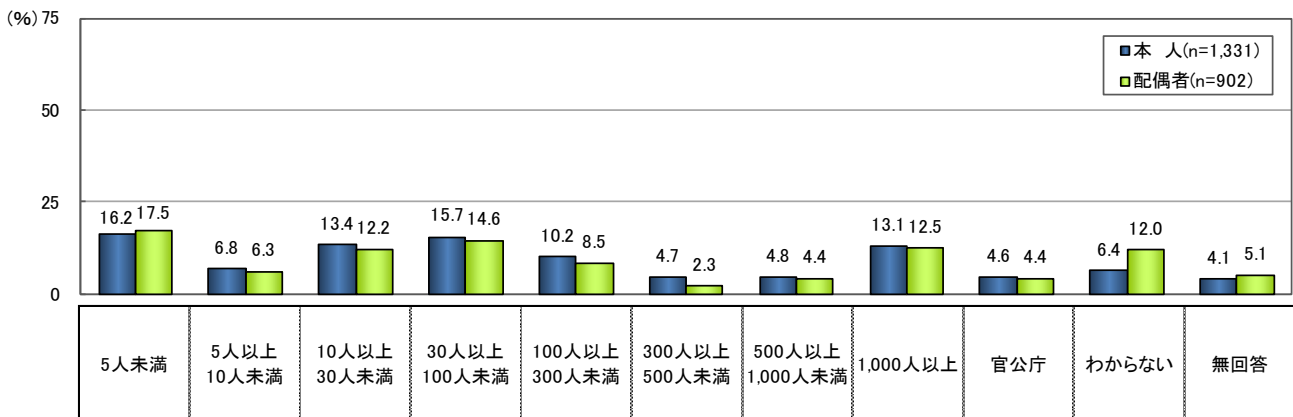
(図表9-5) 就業先の従業員数（本人・配偶者）（問33-1④・問34-1④）

【今回調査】



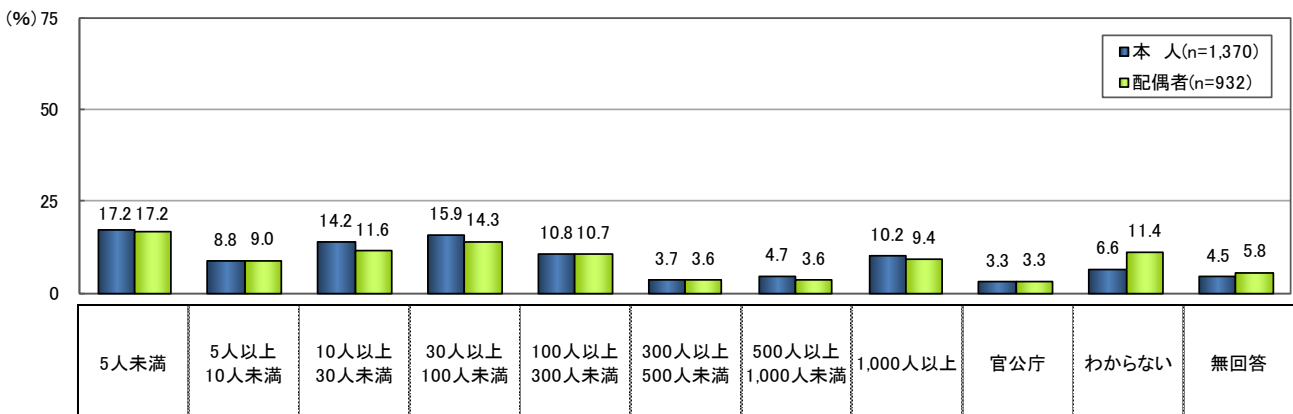
【現在就労している】

【2016年調査】



【現在就労している】

【2014年調査】

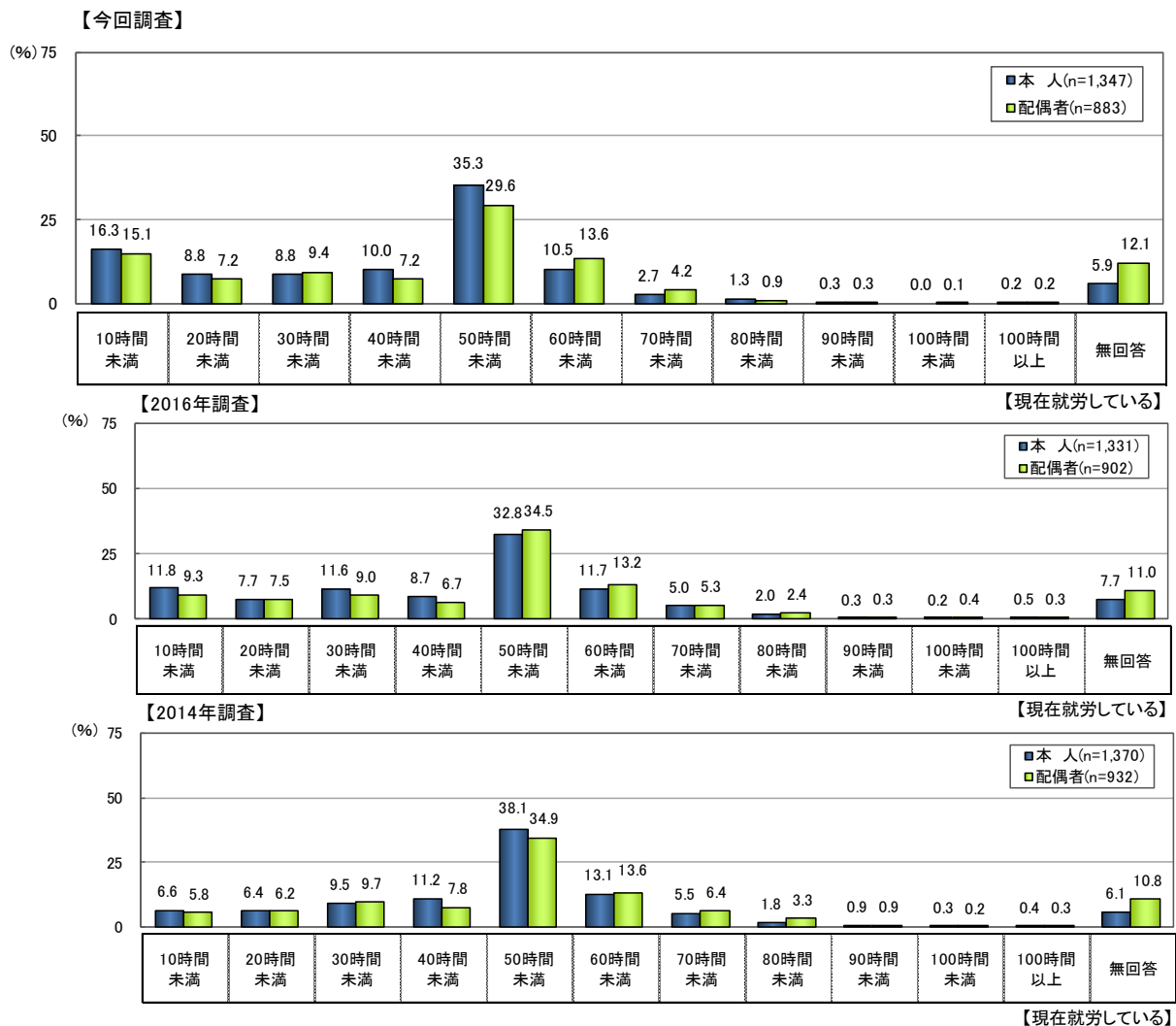


【現在就労している】

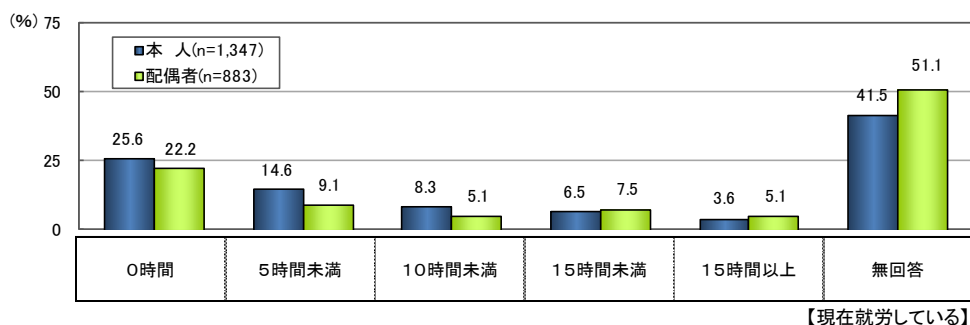
(6) 就業者の就労時間 (本人・配偶者)

- 残業時間を含んだ1週間の就労時間は、回答者本人、配偶者ともに「40時間以上 50時間未満」(本人 35.3%、配偶者 29.6%) が最も多かった。平均就労時間は、回答者本人では 32.8 時間、配偶者では 33.8 時間となった。(図表 9-6-1)
- 残業時間は、回答者本人、配偶者ともに「0時間」(本人 25.6%、配偶者 22.2%) が最も多く、「5時間未満」(同 14.6%、9.1%)、「10時間未満」(同 8.3%、5.1%) の順。平均残業時間は、回答者本人では 3.7 時間、配偶者では 4.7 時間となった。(※「0」を除いた回答者ベースで算出すると、本人 6.6 時間、配偶者 8.6 時間) (図表 9-6-2)

(図表 9-6-1) 就業者の就労時間 (本人・配偶者) (問 33-1⑤-1・問 34-1⑤-1)



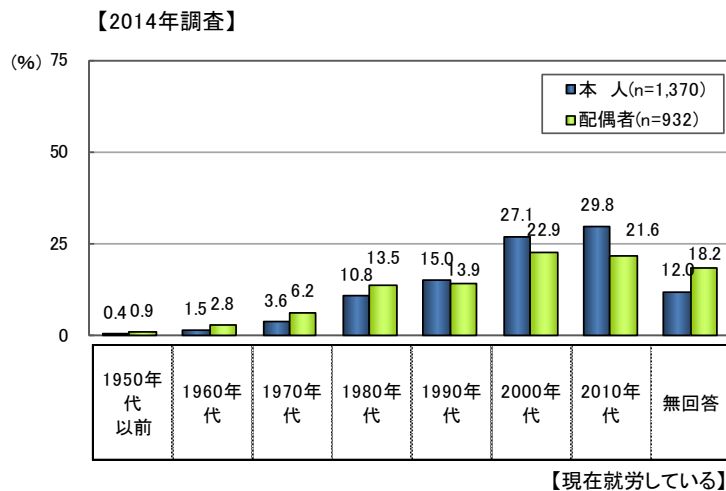
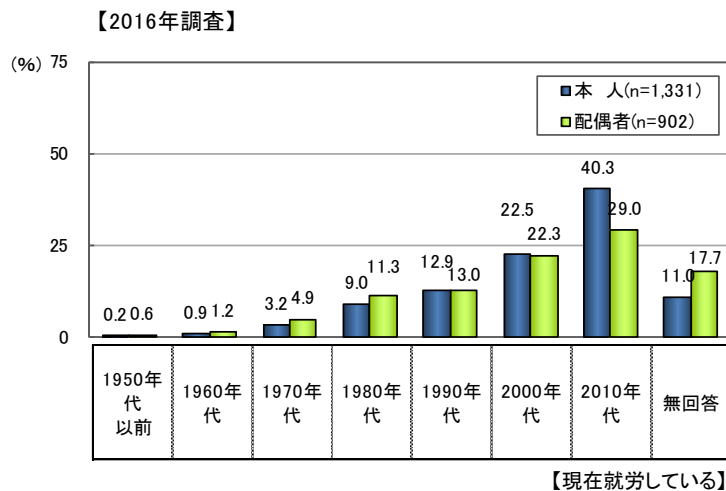
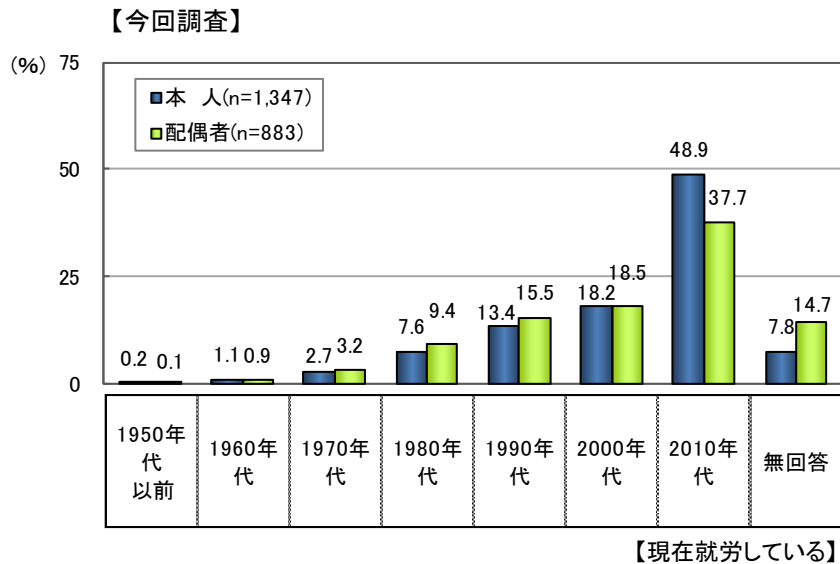
(図表 9-6-2) 就業者の残業時間 (本人・配偶者) (問 33-1⑤-2・問 34-1⑤-2)



(7) 就業者の就労時期 (本人・配偶者)

- 現在の就業先の就業時期は、回答者本人 (n=1,347)、配偶者 (n=883) とともに、「2010年代」が最も多く (本人 48.9%、配偶者 37.7%)、次いで「2000年代」(本人 18.2%、配偶者 18.5%) で、年代が古いほど少なかった。(図表 9-7)

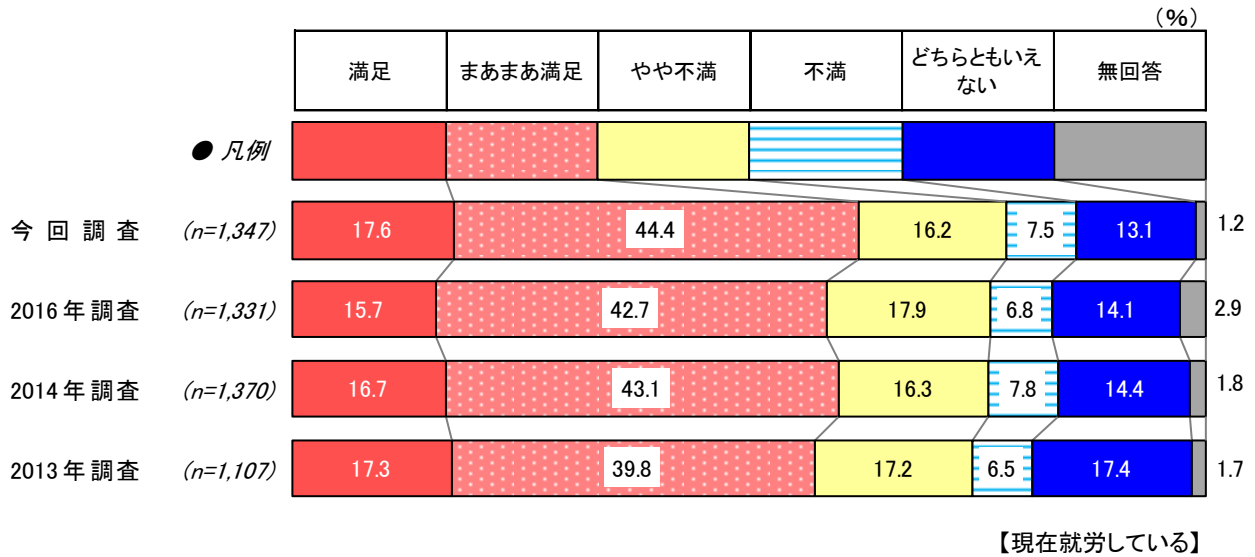
(図表 9-7) 就業者の就労時期 (本人・配偶者) (問 33-1⑥・問 34-1⑥)



(8) 就業者の仕事に対する満足度 (本人)

- 有職回答者 (n=1,347) の仕事に対する満足度は、「満足」が 17.6%で、「まあまあ満足」(44.4%) を合わせると『満足』(62.0%) が6割を超えた。一方、『不満』と回答した人(「不満」と「やや不満」の合計) は、23.7%となった。(図表 9-8)

(図表 9-8) 就業者の仕事に対する満足度 (本人) (問 33-1⑦)

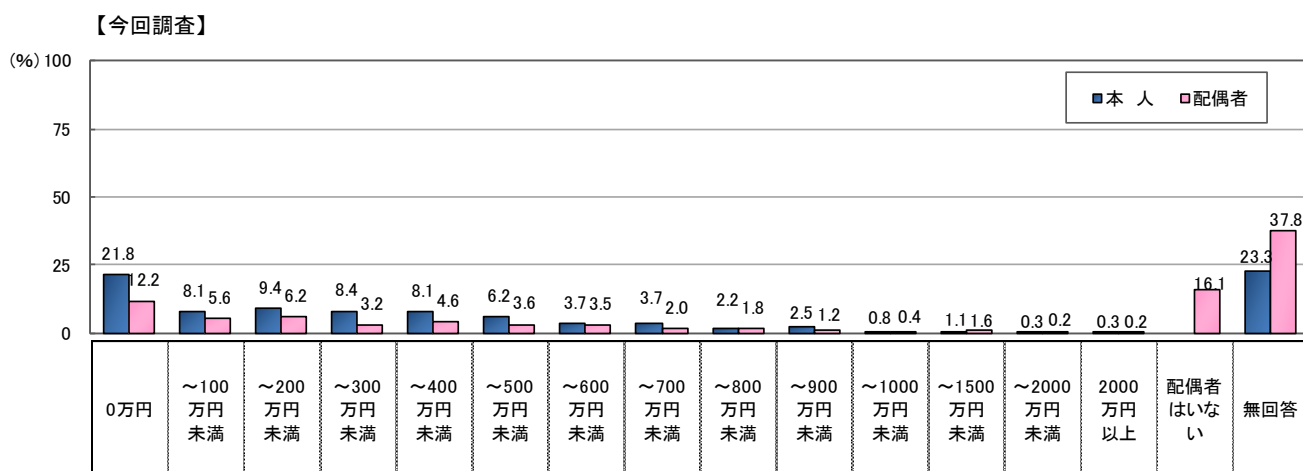


10. 収入と支出、社会保険について

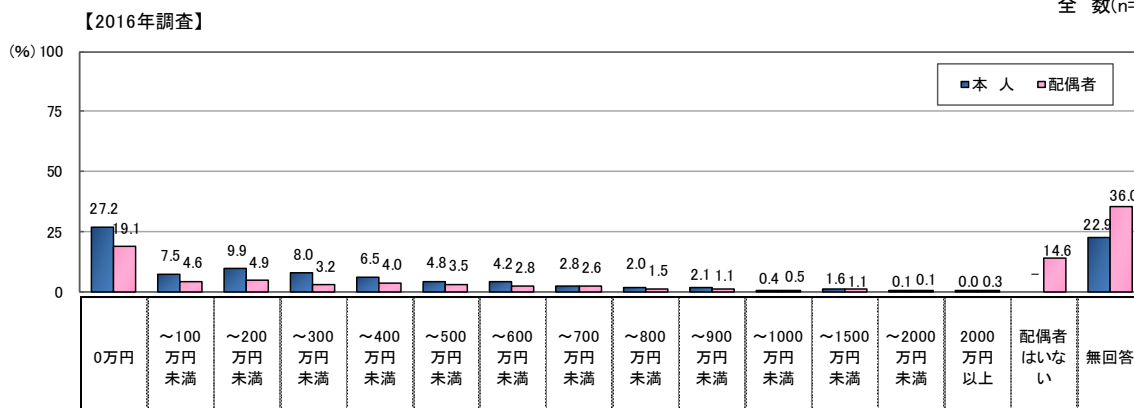
(1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）

- 昨年1年間の就労収入（税込）は、回答者本人は、「100万円以上 200万円未満」（9.4%）が最も多く、次いで「100万円未満」「200万円～300万円未満」「300万円～400万円未満」が8.1%～8.4%の僅差で並び、『0万円超～400万円未満』を合計すると34.0%。「400万～500万円未満」が6.2%。
- 一方、配偶者は、「0万円超 100万円未満」（5.6%）、「100万円以上 200万円未満」（6.2%）、で、『0万円超 400万円未満』の合計は19.6%。
- 「0万円（収入はなかった）」は、回答者本人の2割（21.8%）、配偶者の約1割（12.2%）であった。
- 平均収入は、回答者本人では261万6千円、配偶者では276万4千円となった。（図表10-1）

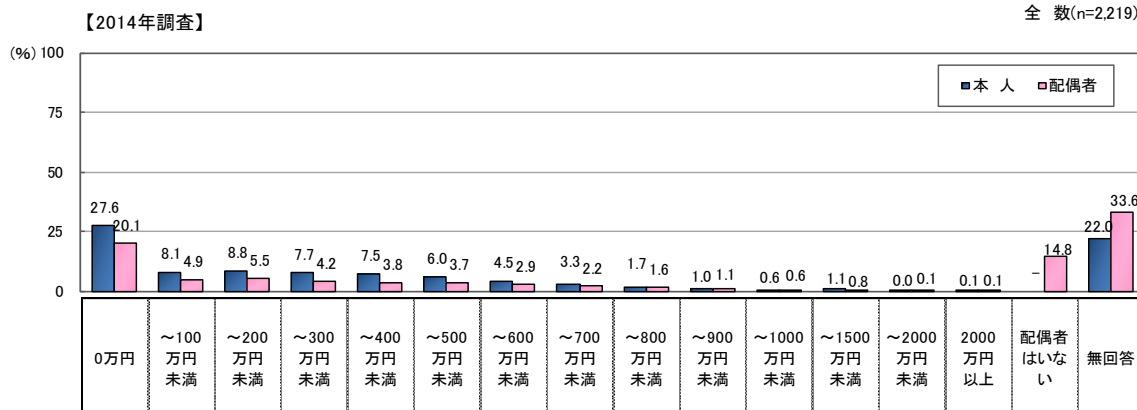
（図表10-1）昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）（問35）



全数(n=2,164)



全数(n=2,219)

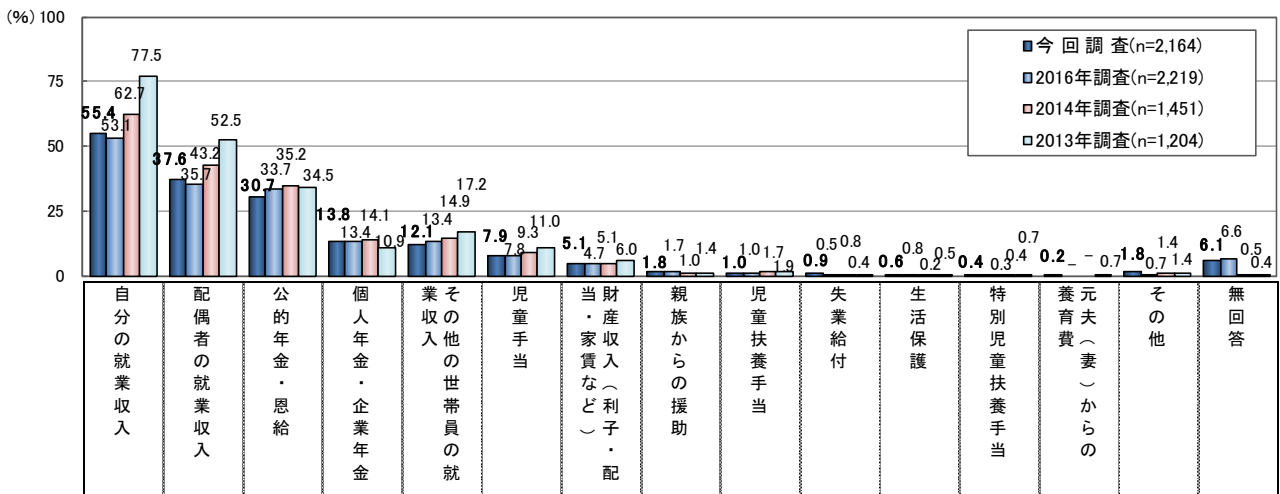


全数(n=2,220)

(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）

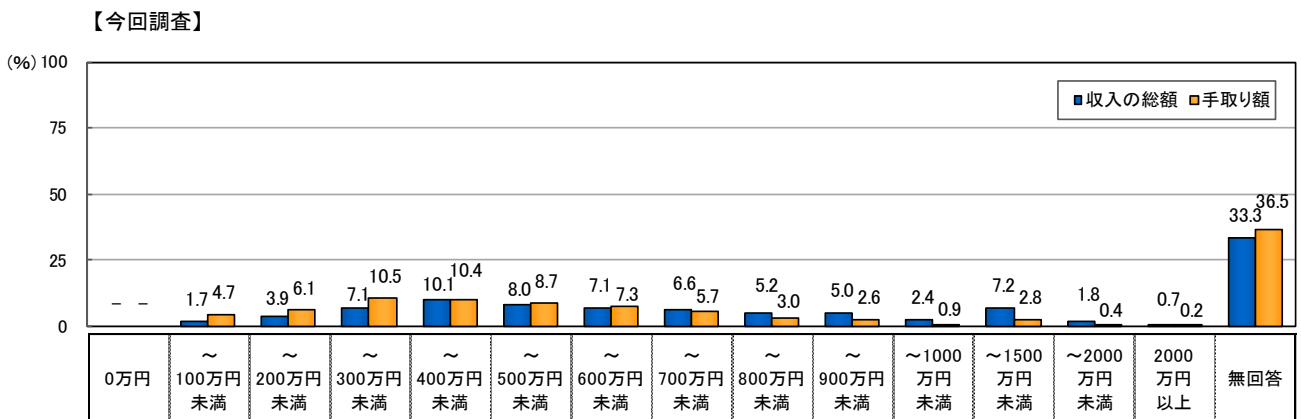
- 昨年の世帯収入源（複数回答）としては、「自分の就業収入」が55.4%で最も多く挙げられ、次いで、「配偶者の就業収入」（37.6%）と「公的年金・恩給」（30.7%）が3割台で並んだ。（図表10-2-1）
- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年1年間の収入は、税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入（遺産を除く）では、「300万円以上400万円未満」10.1%、「400万円以上500万円未満」8.0%、「500万円以上600万円未満」と「200万円以上300万円未満」がそれぞれ7.1%。1000万円以上の合計が9.7%。平均世帯総収入は602万1千円となった。
- 一方、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額は、「200万円以上300万円未満」（10.5%）、「300万円以上400万円未満」（10.4%）などが各約1割で、平均手取り額は482万1千円となった。（図表10-2-2）

(図表10-2-1) 昨年の世帯収入源（問36、複数回答）



※2013年・2014年・2016年：「児童手当・子ども手当」、2020年：「児童手当」と表記
 【2013年調査・2014年調査は、昨年世帯収入総額回答者】

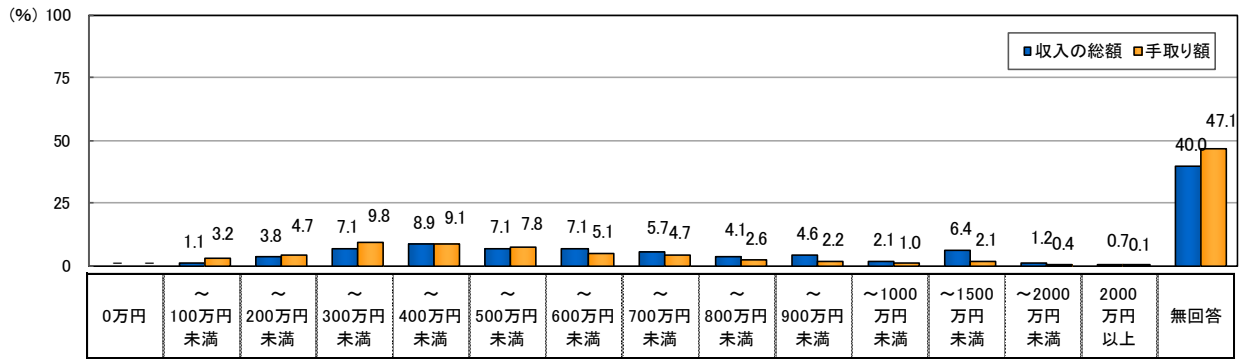
(図表10-2-2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）（問36-1）



全数(n=2,164)

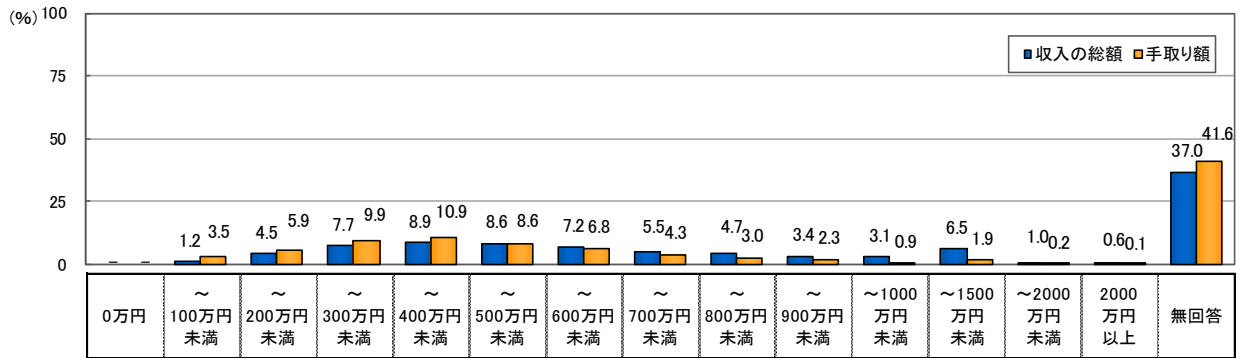
(図表10-2-2 続き) 昨年の世帯年収(総収入・手取り)

【2016年調査】



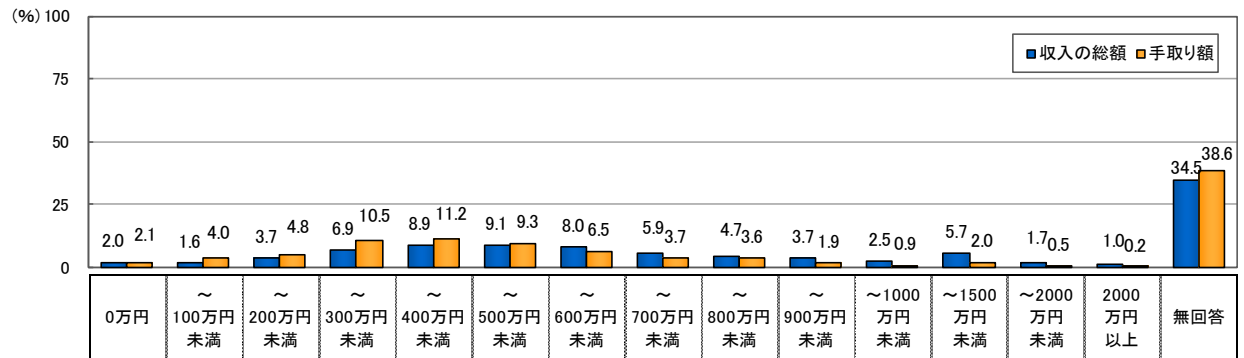
全数(n=2,219)

【2014年調査】



全数(n=2,220)

【2013年調査】

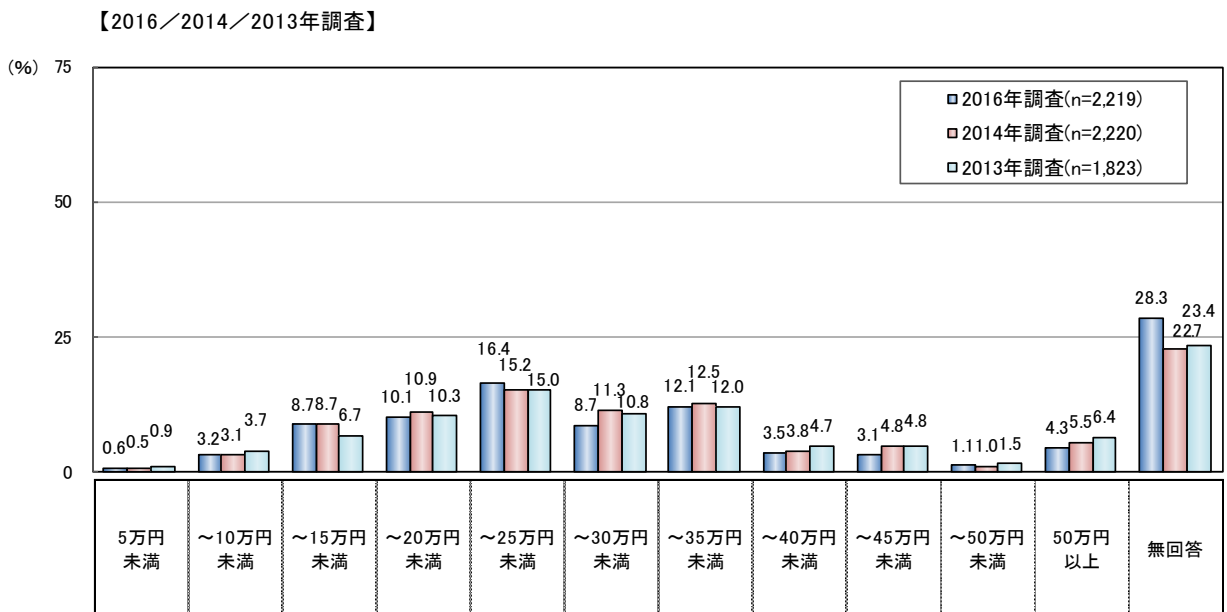
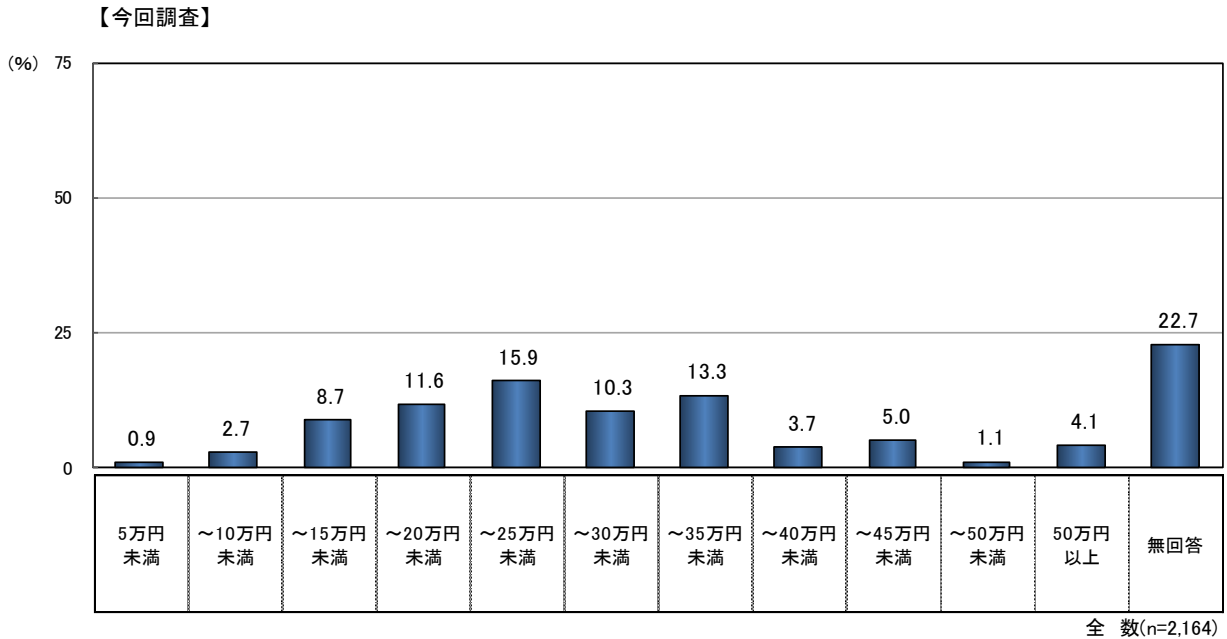


全数(n=1,823)

(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出

- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年のひと月あたりの支出は、「20万円以上 25万円未満」が15.9%で最も多く、次いで「30万円以上 35万円未満」(13.3%)、「15万円以上 20万円未満」(11.6%)、「25万円以上 30万円未満」(10.3%)がいずれも約1割であった。(図表10-3)
- 昨年ひと月あたりの平均世帯支出額は24万8千円となった。

(図表10-3) 昨年ひと月あたりの世帯支出 (問37)

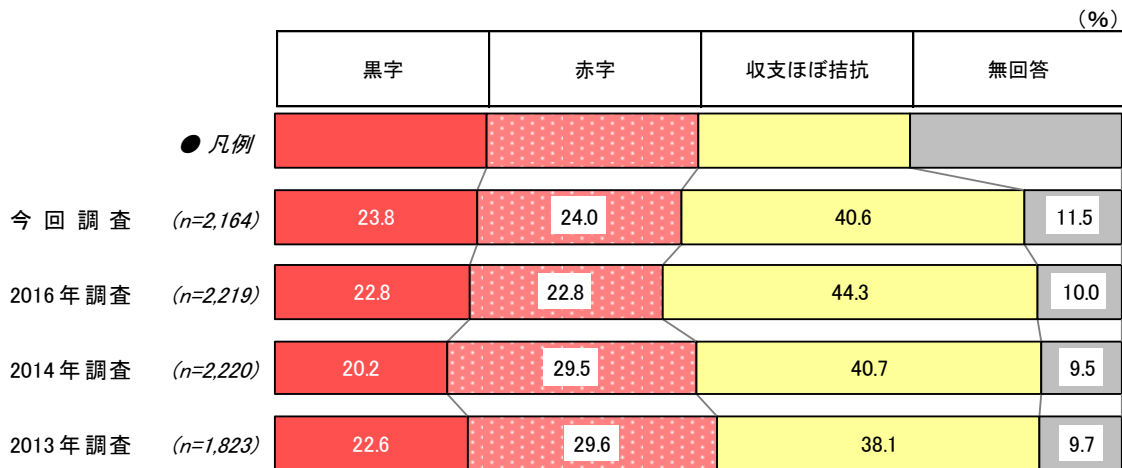


※2016年調査までは住宅ローン返済額とひと月当たりの支出を分けて聴取、2019年調査は住宅ローン返済額もひと月の支出額に含まれる。

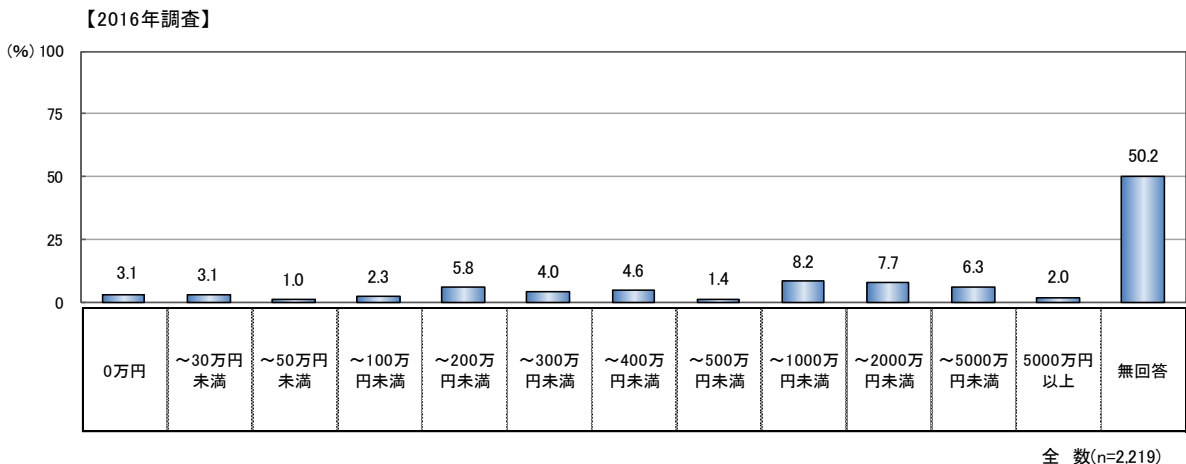
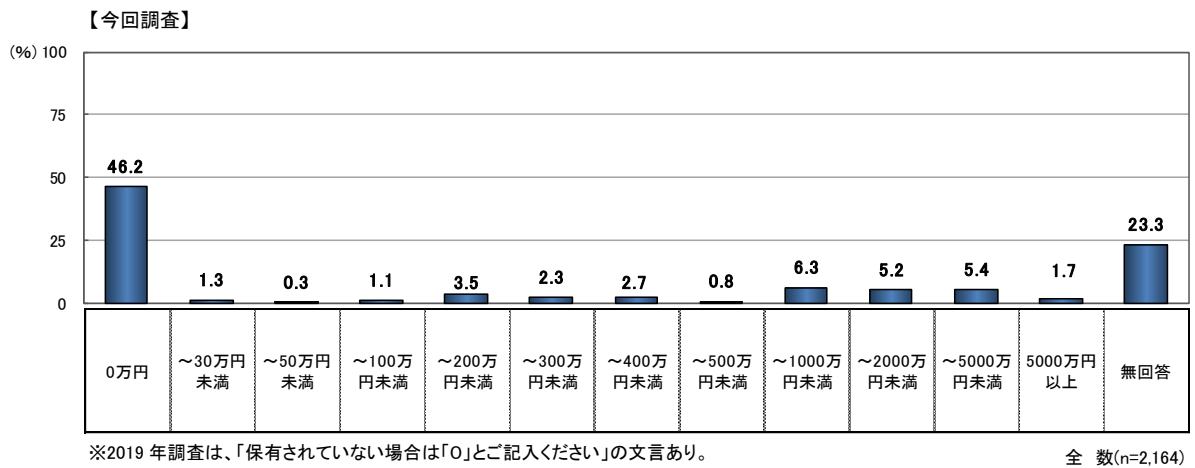
(4) 家計の収支状況と保有金融資産残高

- 回答者の世帯の家計の収支状況は、「収支ほぼ拮抗」が40.6%で、次いで「赤字」(24.0%)と「黒字」(23.8%)がほぼ同程度で並んだ。(図表10-4-1)
- 家計で保有している金融資産残高は、「500万円以上1,000万円未満」(6.3%)、「2,000万円以上5,000万円未満」(5.4%)、「1,000万円以上2,000万円未満」(5.2%)が上位で、平均金融資産残高は1,276万3千円だった(0万円を超えた金融資産残高を回答した方をベースに算出)。(図表10-4-2)

(図表10-4-1) 家計の収支状況 (問38)



(図表10-4-2) 保有金融資産残高 (問39)

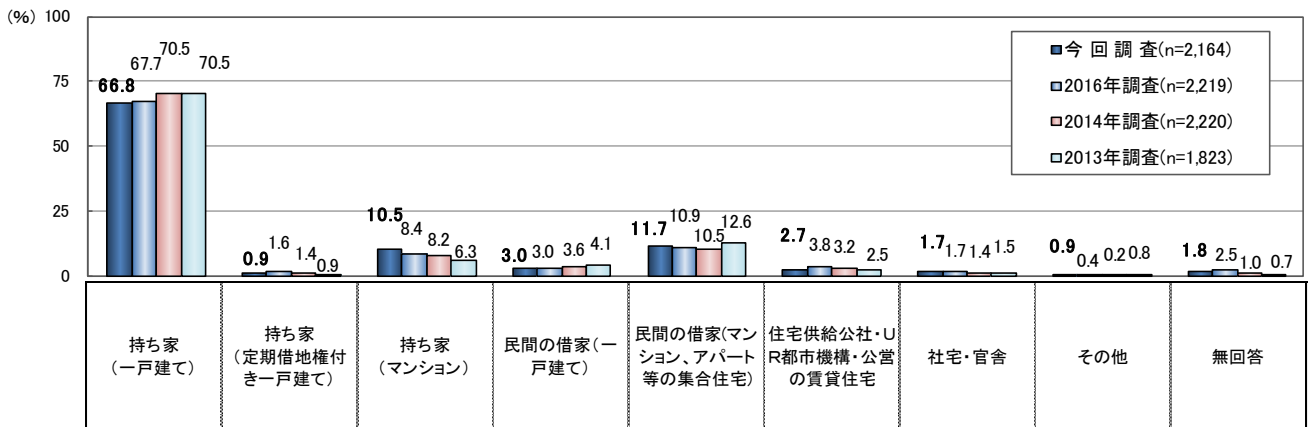


11. 住居について

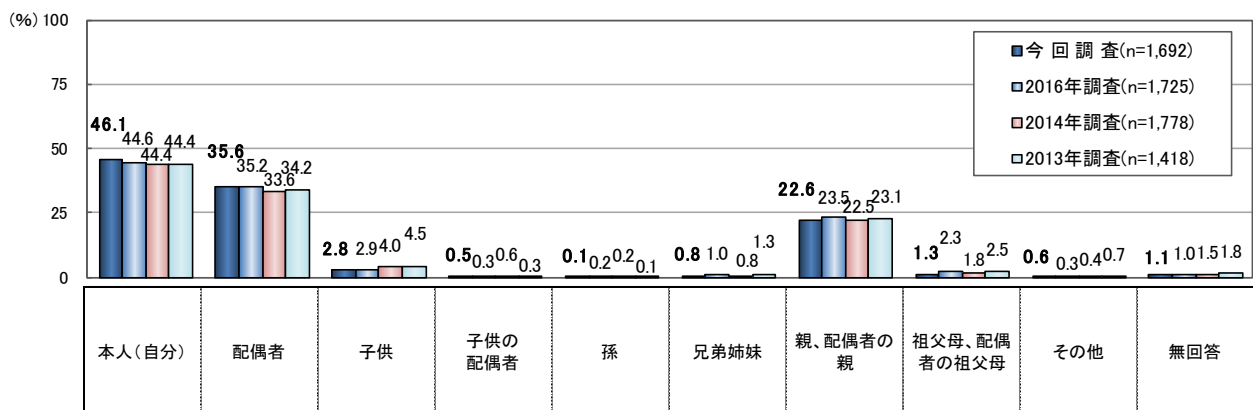
(1) 住居形態

- 現在の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が 66.8%で、「持ち家（定期借地権付き一戸建て住宅）」（0.9%）、「持ち家（マンション）」（10.5%）を合わせると、『持ち家』居住（78.2%）が8割近くとなった。一方、「民間の借家（マンション、アパート等の集合住宅）」（11.7%）、「民間の借家（一戸建て）」（3.0%）、「住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅」（2.7%）、を合わせると、『賃貸住宅』居住は17.4%となった。（図表 11-1-1）
- 居住する『持ち家』（n=1,692）の所有者（複数回答）は、「本人」が 46.1%で最も多く、以下、「配偶者」（35.6%）、「親、配偶者の親」（22.6%）の順となった。（図表 11-1-2）

(図表 11-1-1) 住居形態 (問 40)



(図表 11-1-2) 『持ち家』の所有者 (問 40-1、複数回答)

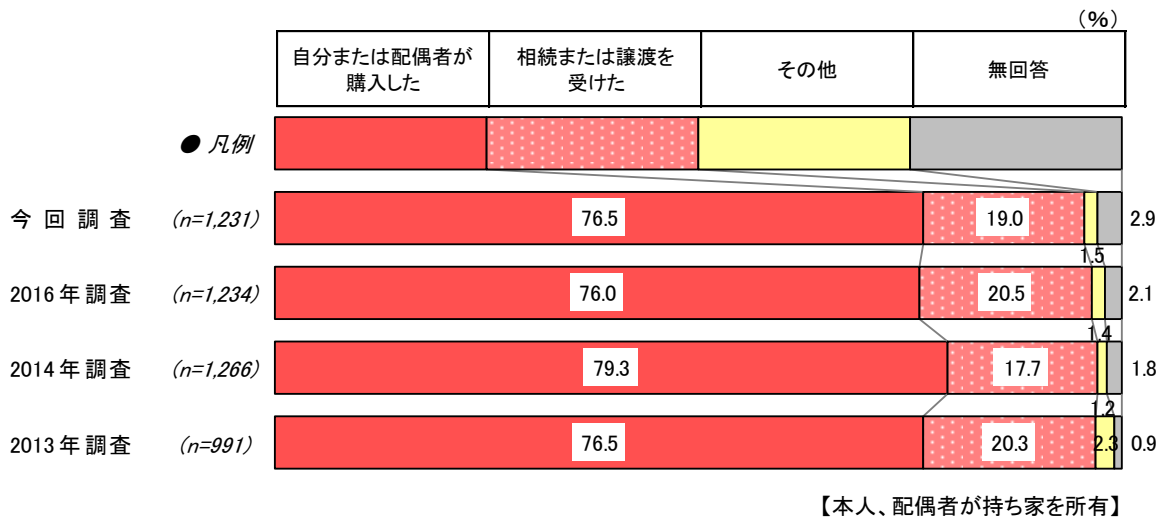


【持ち家あり】

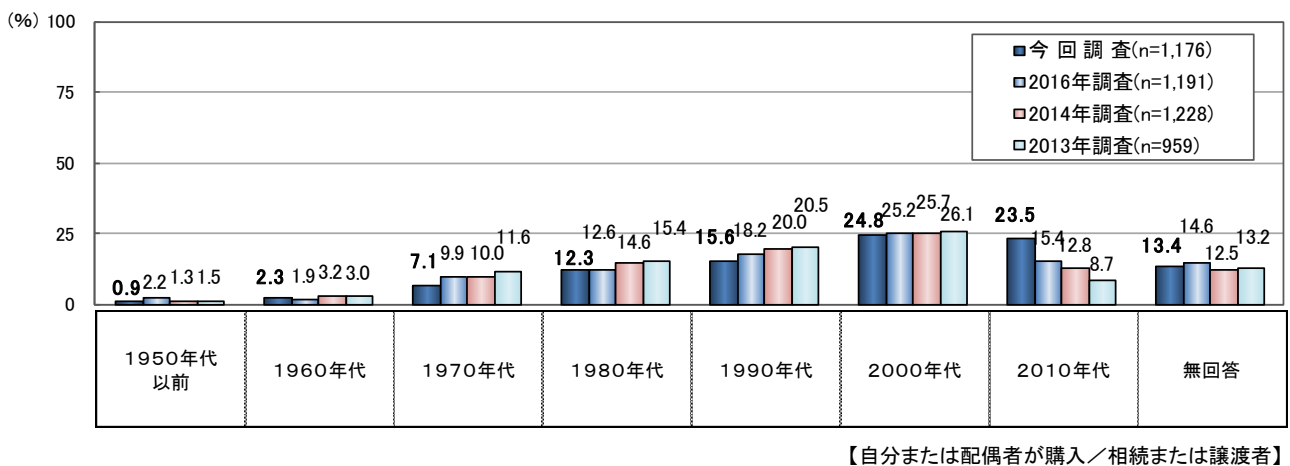
(2) 取得経路・取得時期

- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』所有者 (n=1,231) における、持ち家の取得経路は、「自分または配偶者が購入した」が 76.5%で、「相続または譲渡を受けた」は 19.0%となった。(図表 11-2-1)
- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』を購入もしくは相続した 1,176 人が『持ち家』を取得した時期は、「2000 年代」(24.8%)と「2010 年代」(23.5%)が上位で、年代が古いほど少なくなる。(図表 11-2-2)

(図表 1 1 - 2 - 1) 『持ち家』の取得経路 (問 40-2)



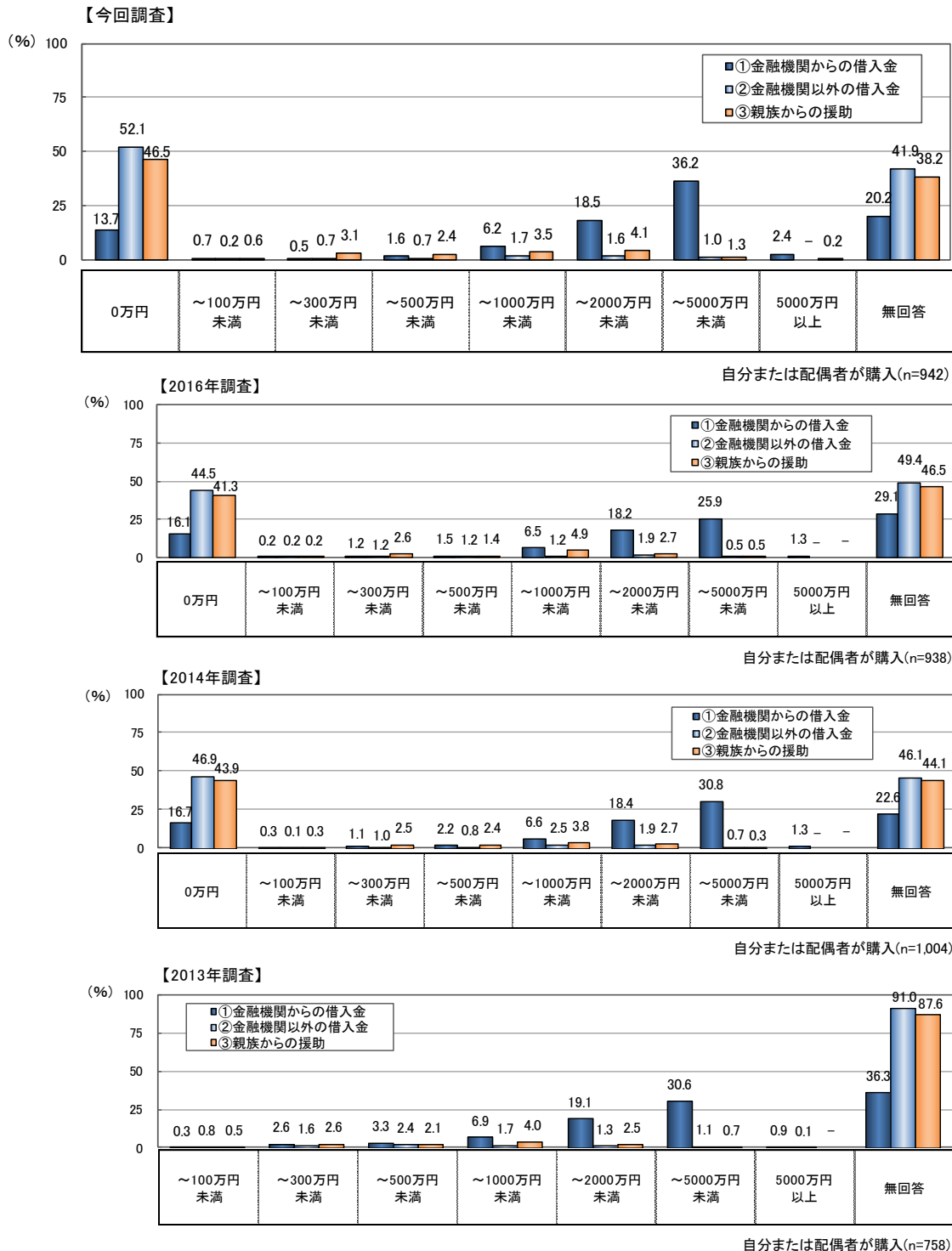
(図表 1 1 - 2 - 2) 『持ち家』の取得時期 (問 40-3)



(3) 自己資金以外の購入資金

- 回答者本人もしくは配偶者が購入した 942 人の『持ち家』購入資金としては、“金融機関からの借入金”は「2,000 万円以上 5,000 万円未満」が 36.2%で最も多く、次いで、「1,000 万円以上 2,000 万円未満」が 18.5%となった。平均借入金額は 2,228 万 5 千円であった。
- “金融機関以外の借入金”は、「0 万円」(52.1%)と無回答 (41.9%)の合計が 9 割、平均借入額は 972 万 9 千円 (n=56)、“親族からの援助”は「0 万円」(46.5%)と無回答 (38.2%)の合計が 84.7%で、平均借入額は 853 万 6 千円 (n=144)であった。(図表 11-3)

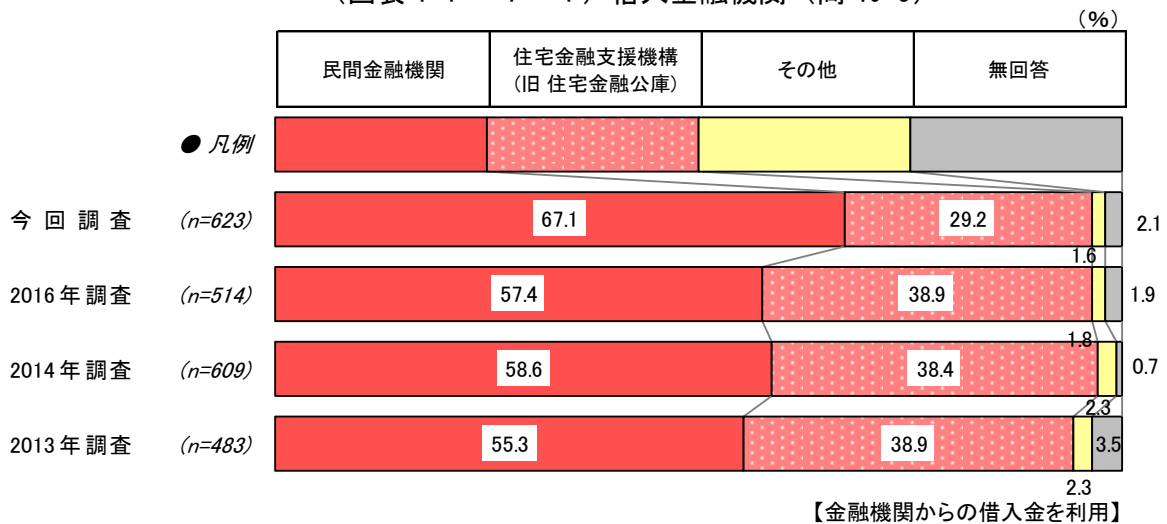
(図表 11-3) 自己資金以外の購入資金 (問 40-4)



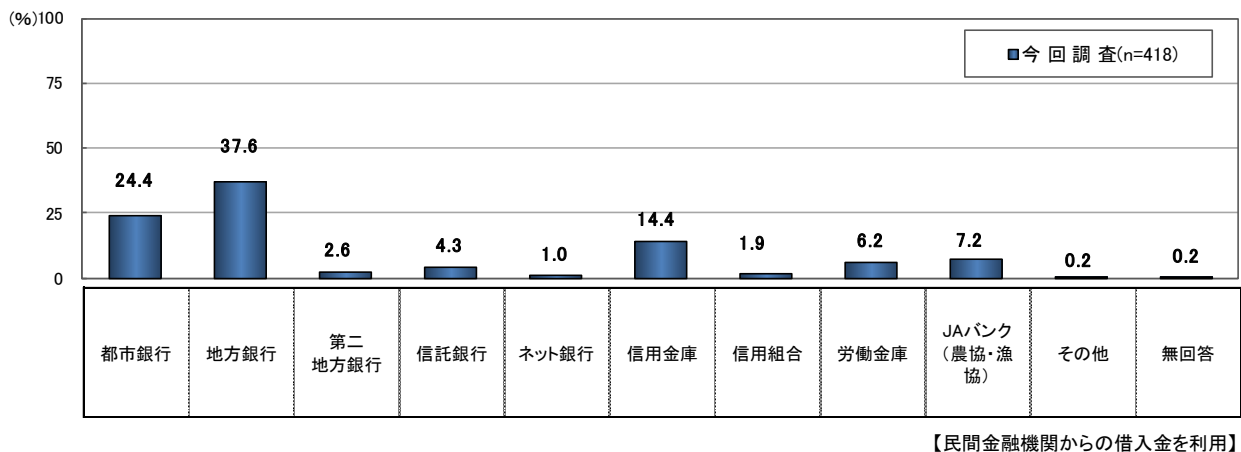
(4) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利

- “金融機関からの借入金”がある回答者 (n=623) が『持ち家』購入にあたっての資金を調達した金融機関としては、「民間金融機関」(67.1%) が7割近くを占め、「住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)」(29.2%) は約3割となった。(図表 11-4-1)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人 (n=418) の借入先民間金融機関は、「地方銀行」が 37.6% で最も多く、次いで「都市銀行」(24.4%)、「信用金庫」(14.4%) の順だった。(図表 11-4-2)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人 (n=418) の借入金利タイプは、「変動金利型」が 38.5% で最も多く、次いで、「固定金利期間選択型(10年以下)」が 24.4%、「固定金利期間選択型(10年超)」が 12.9%、「全期間固定金利型(10年超)」が 12.4%となった。(図表 11-4-3)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人 (n=418) の借入当時の金利は、「0.5%以上 1.0%未満」(12.9%)、「1.0%以上 1.5%未満」(10.0%)、「2.0%以上 2.5%未満」(9.1%)、「5.0%以上」(8.4%) となった。(図表 11-4-4)

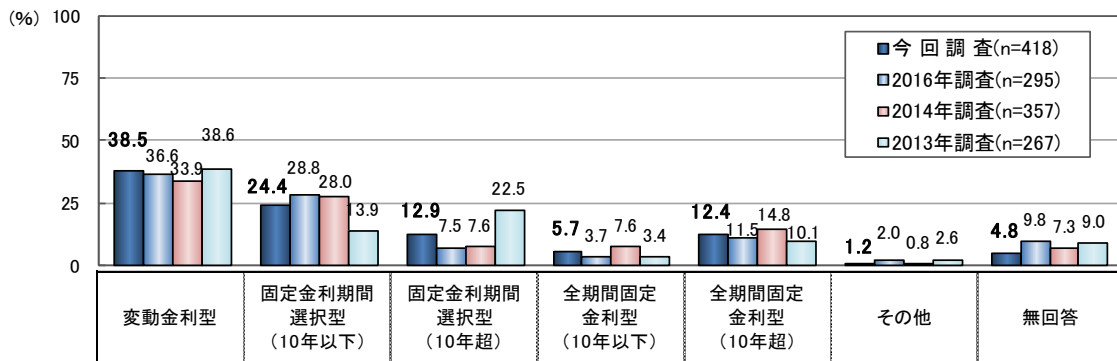
(図表 11-4-1) 借入金融機関 (問 40-5)



(図表 11-4-2) 主な借入民間金融機関 (問 40-5-1)

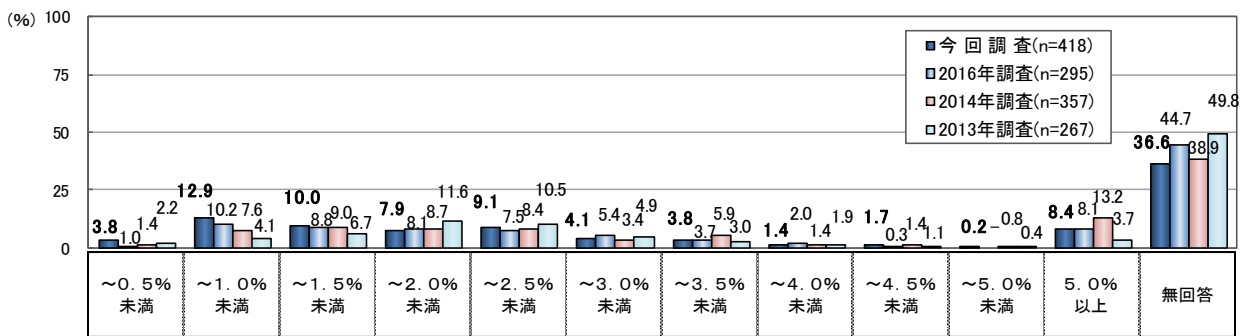


(図表 11-4-3) 金利タイプ (問 40-5-2)



【民間金融機関からの借入金を利用】

(図表 11-4-4) 借入金利 (問 40-5-3)

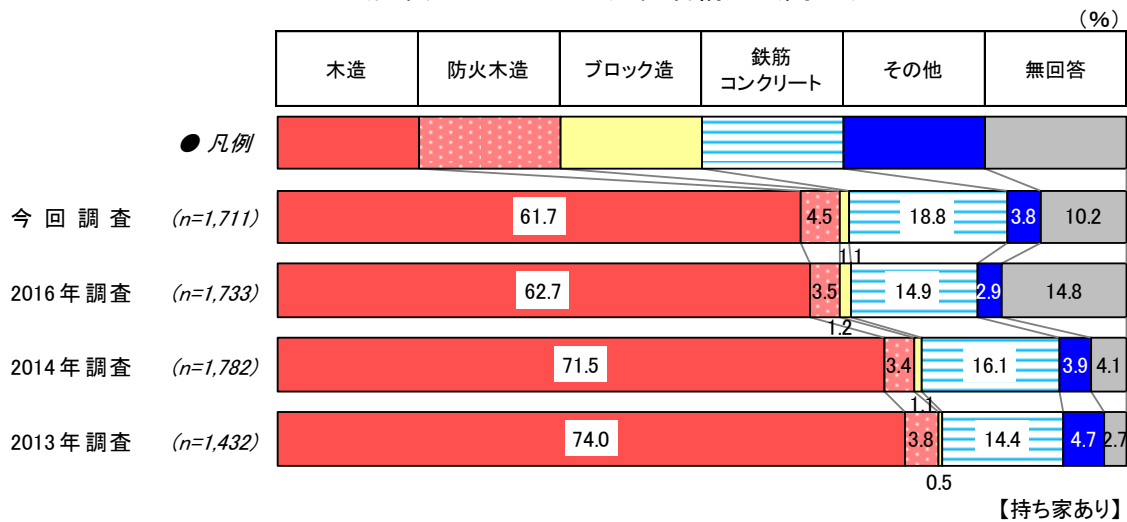


【民間金融機関からの借入金を利用】

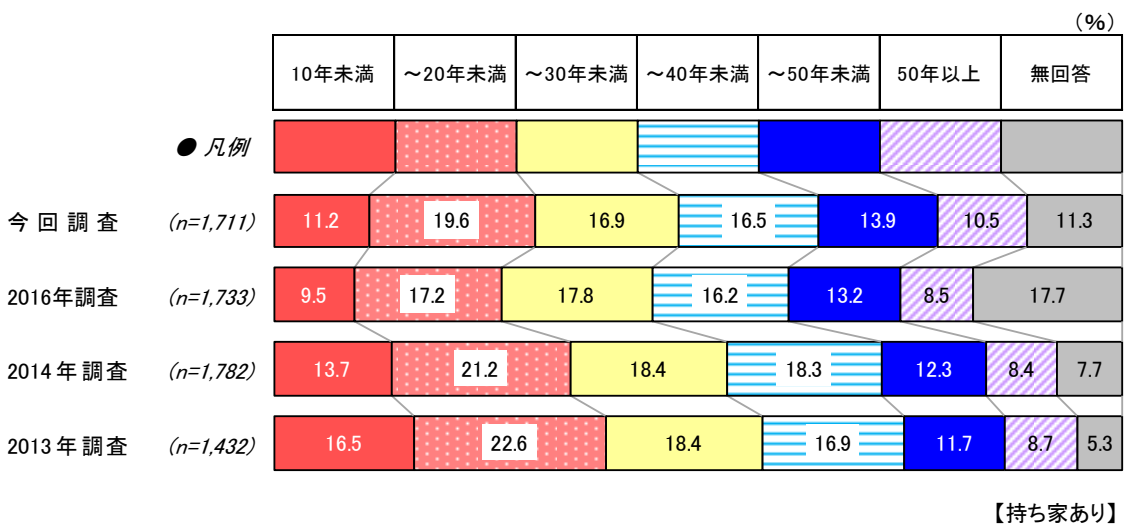
(5) 住居構造・築年数・敷地面積・床面積

- 持ち家またはその他住居の居住者 (n=1,711) の現在の住居構造は、「木造」が 61.7%、「鉄筋コンクリート」が 18.8%であった。(図表 11-5-1)
- 築年数は、「10年以上 20年未満」(19.6%)、「20年以上 30年未満」(16.9%)、「30年以上 40年未満」(16.5%)と回答した人がいずれも 2割近くとなった。平均築年数は 28.5年であった。(図表 11-5-2)
- 一戸建て持ち家またはその他住居に居住する回答者 (n=1,484) の一戸建て住宅の敷地面積は、「200㎡以上 300㎡未満」(11.9%)、「150㎡以上 200㎡未満」(11.6%)、「300㎡以上 500㎡未満」(10.0%)が、いずれも 1割台となった。平均敷地面積は、297.0㎡であった。(図表 11-5-3)
- 持ち家またはその他住居に居住する回答者 (n=1,711) の住宅の床面積は、「100㎡以上 150㎡未満」(20.0%)、「50㎡以上 100㎡未満」(19.1%)が 2割前後となった。平均床面積は、122.1㎡であった。(図表 11-5-3)

(図表 11-5-1) 住居構造 (問 41)

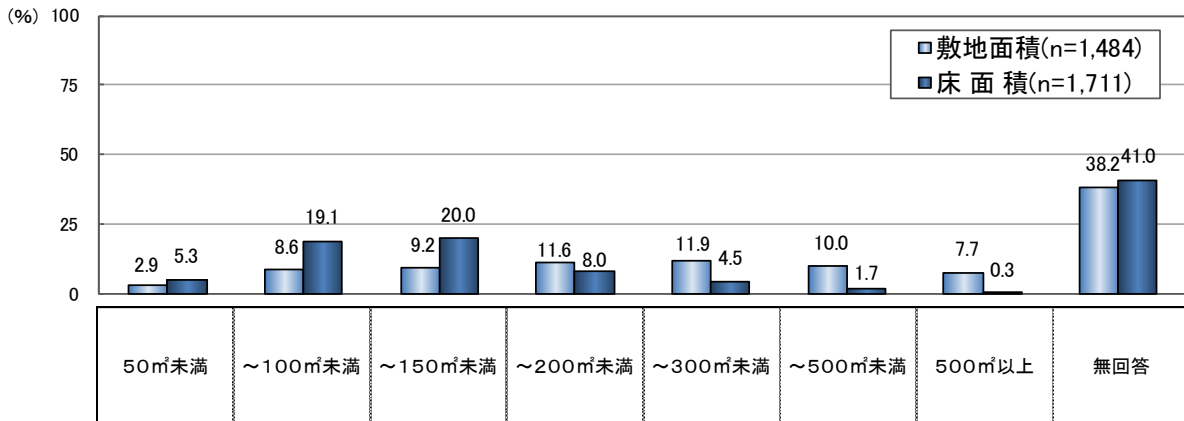


(図表 11-5-2) 築年数 (問 41-1)



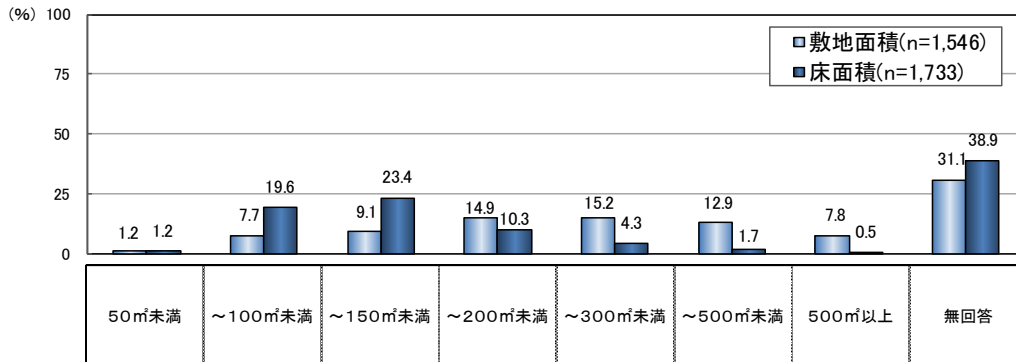
(図表 11-5-3) 敷地面積・床面積 (問 41-2)

【今回調査】



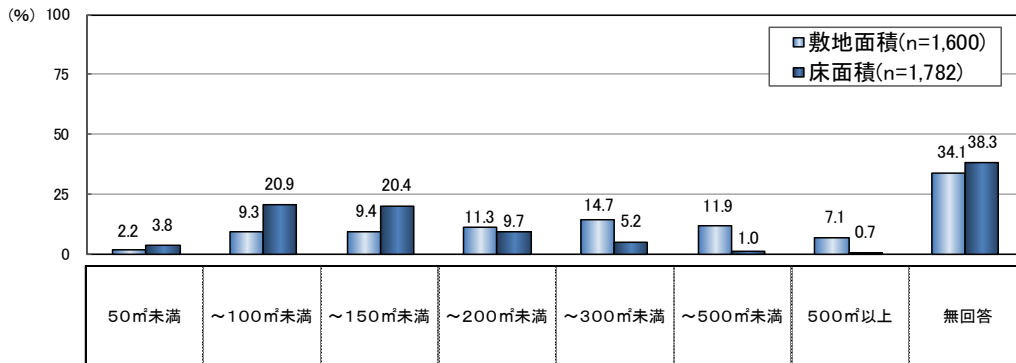
【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

【2016年調査】



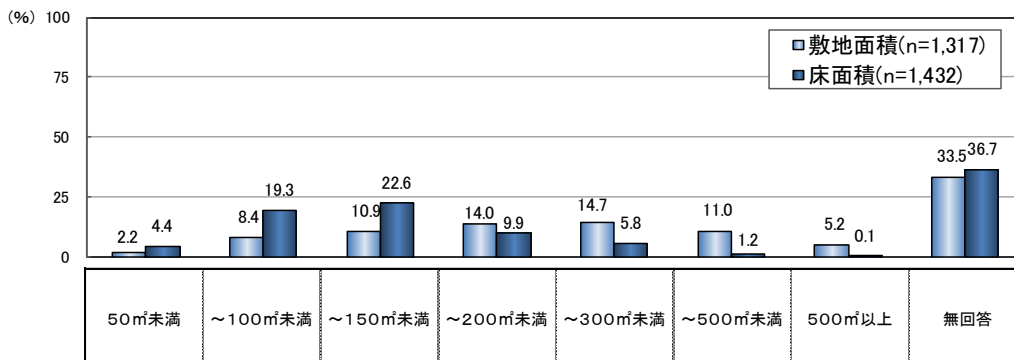
【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

【2014年調査】



【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

【2013年調査】

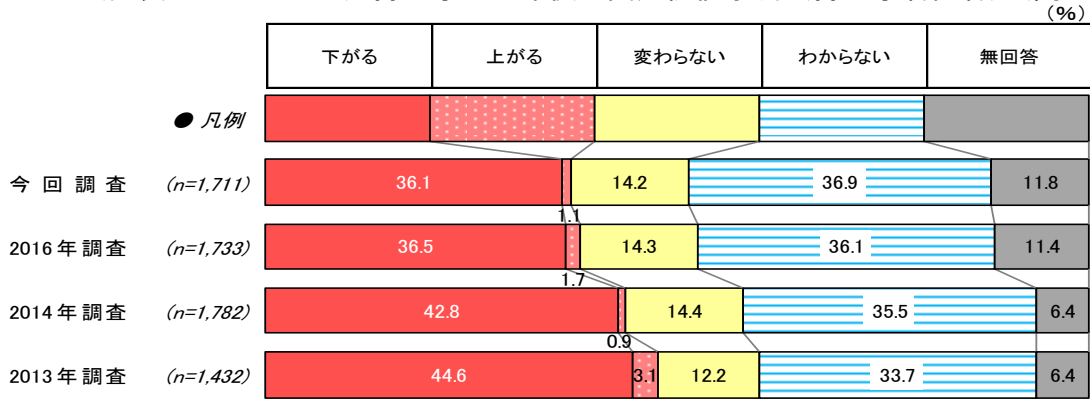


【持ち家あり、但し敷地面積はマンションを除く】

(6) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者)

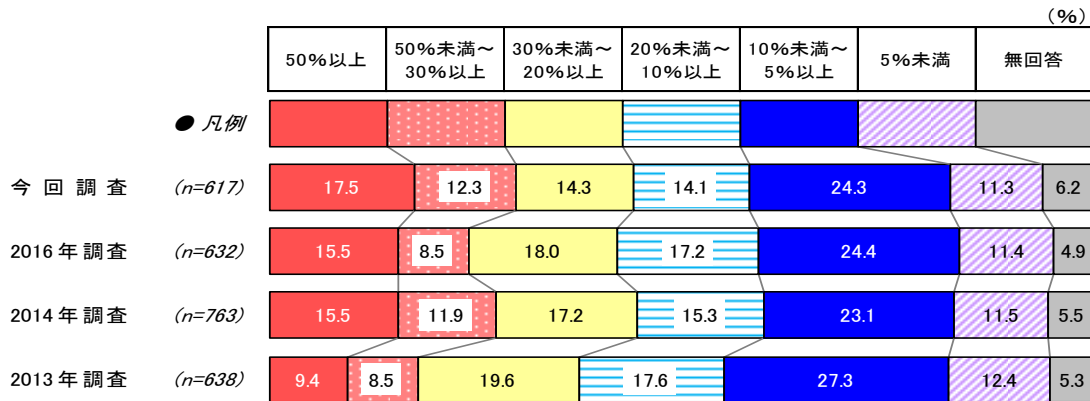
- 持ち家またはその他住居の居住者 (n=1,711) の現在の『持ち家』の3年後の資産価値は、「下がる」と回答した人が36.1%で、「変わらない」が14.2%、「上がる」は1.1%にとどまった。また、3割以上の人は、「わからない」(36.9%)と回答した。(図表 11-6-1)
- 『持ち家』の3年後の資産価値は「下がる」と回答した人 (n=617) の考える3年後の下落幅としては、「10%未満～5%以上」が24.3%で最も多かった。(図表 11-6-2)
- 一方、『持ち家』の3年後の資産価値は「上がる」と回答した18人の考える上昇幅は、「5%未満」が7人、「5%～10%未満」が6人だった。(図表 11-6-3)

(図表 11-6-1) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者) (問 42)



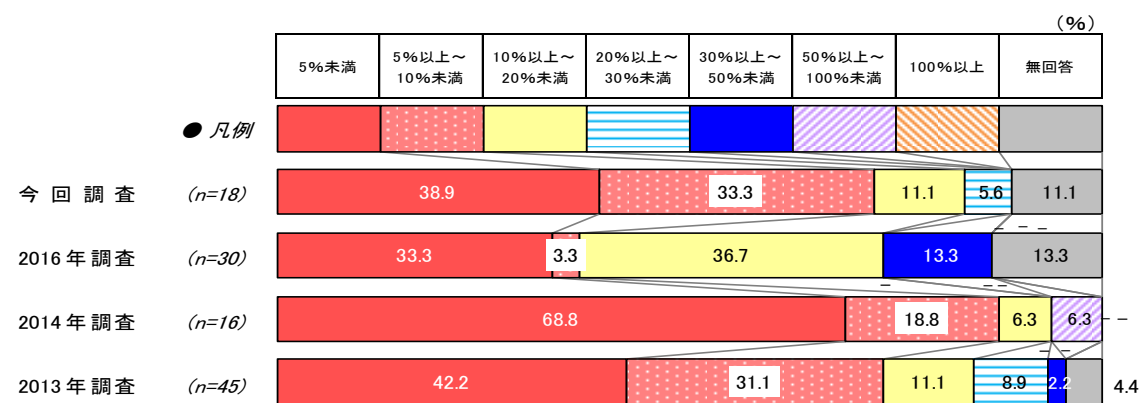
【持ち家あり】

(図表 11-6-2) 持ち家の3年後の資産価値下落幅 (問 42-1)



【3年後の資産価値が下がると思う】

(図表 11-6-3) 持ち家の3年後の資産価値上昇幅 (問 42-2)

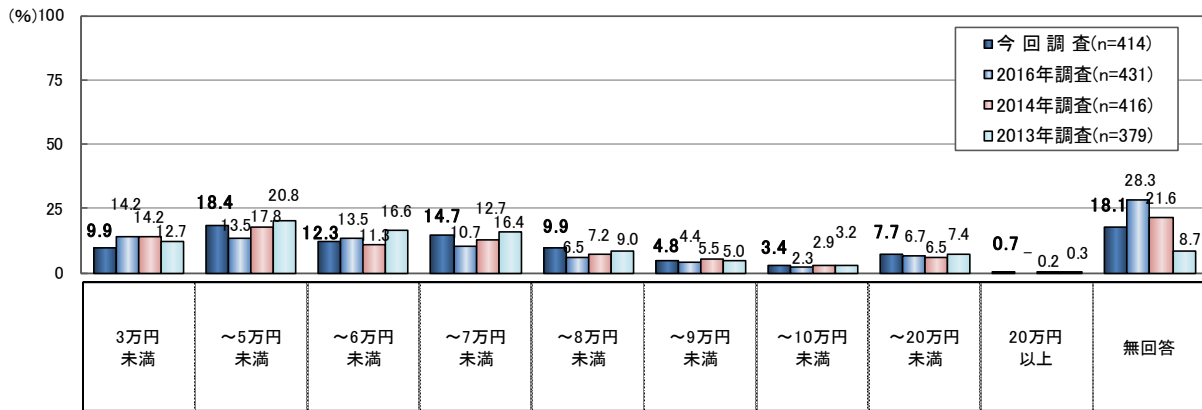


【3年後の資産価値が上がると思う】

(7) ひと月の家賃（賃貸居住者）

- 民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者（n=414）の、ひと月の家賃は、2割弱（18.4%）が「3万円以上5万円未満」で最も多く、次いで「6万円以上7万円未満」（14.7%）、「5万円以上6万円未満」（12.3%）が、ともに1割台であった。平均すると5万8千円となった。（図表 11-7）

(図表 1 1 - 7) 賃貸住宅のひと月の家賃（問 43）



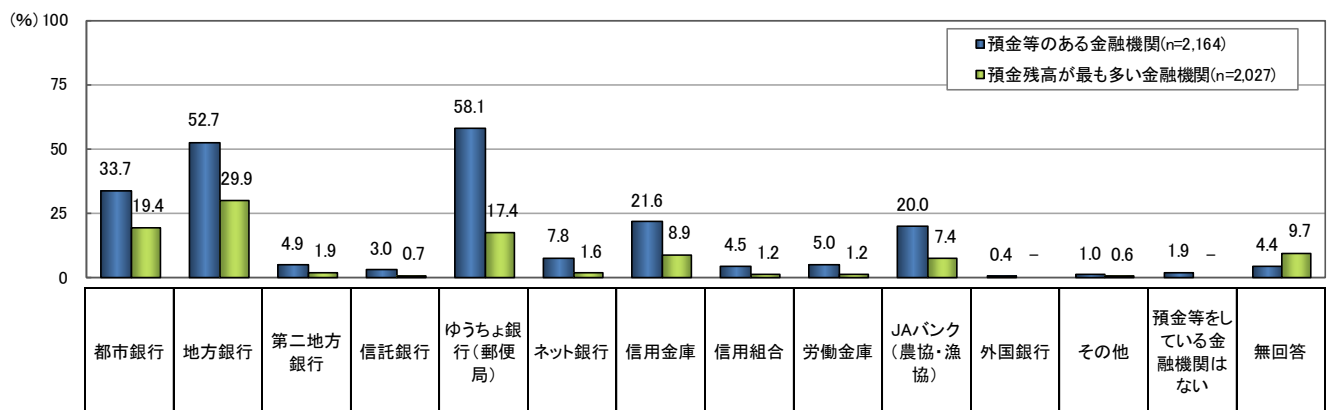
【民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者】

12. 金融機関の利用状況について

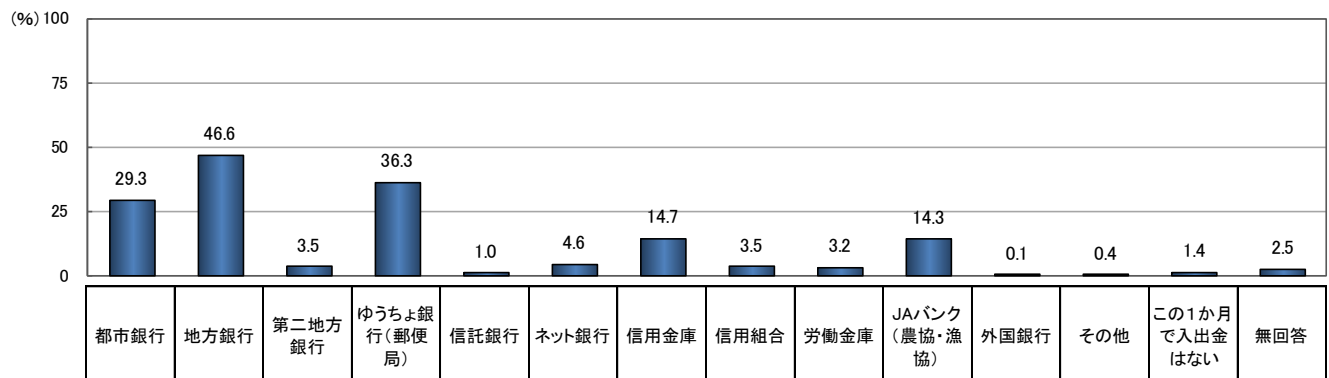
(1) 利用している金融機関

- 現在、預金等をしている金融機関（複数回答）を聞くと、「ゆうちょ銀行」が58.1%で最も多く、次いで、「地方銀行」（52.7%）、「都市銀行」（33.7%）、「信用金庫」（21.6%）、「JAバンク」（20.0%）となった。そのうちで最も預金残高が多い金融機関を聞くと、多い順に「地方銀行」（29.9%）、「都市銀行」（19.4%）、「ゆうちょ銀行」（17.4%）の順になった。（図表12-1-1）
- 金融機関を利用している回答者（n=2,027）に、最近1か月間で入出金のあった金融機関（複数回答）を聞くと、多い順に「地方銀行」（46.6%）「ゆうちょ銀行」（36.3%）、「都市銀行」（29.3%）の順となった。（図表12-1-2）

(図表12-1-1) 預金等をしている金融機関（問44、複数回答）



(図表12-1-2) 過去1か月間で利用した金融機関（問45、複数回答）

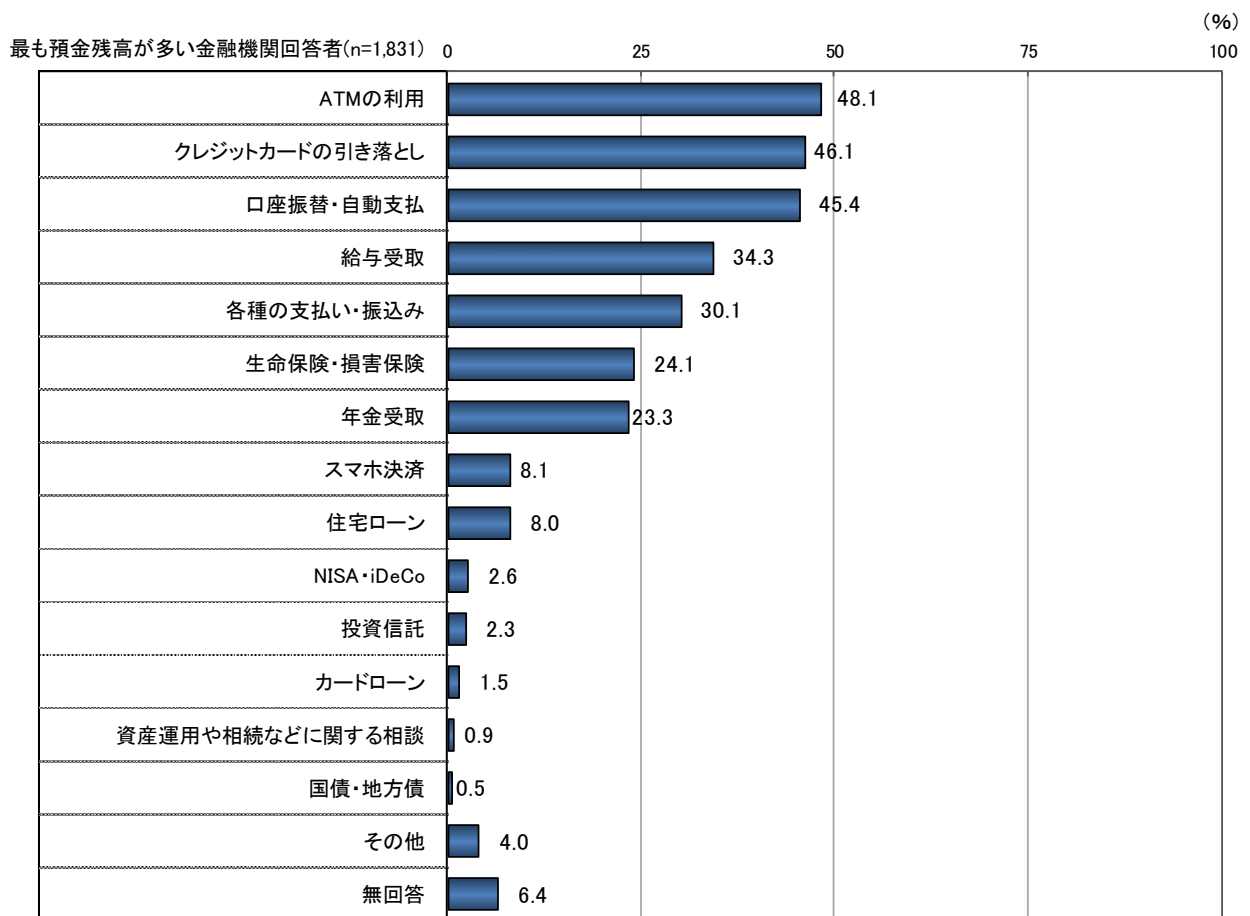


1機関以上利用(n=2,027)

(2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス

- 最も預金残高が多い金融機関で利用しているサービス(複数回答)を聞くと、「ATMの利用」(48.1%)、「クレジットカードの引き落とし」(46.1%)、「口座振替・自動支払」(45.4%)が4割台で多く、次いで「給与受取」(34.3%)、「各種の支払い・振込み」(30.1%)が3割台で続いた。(図表 12-2)

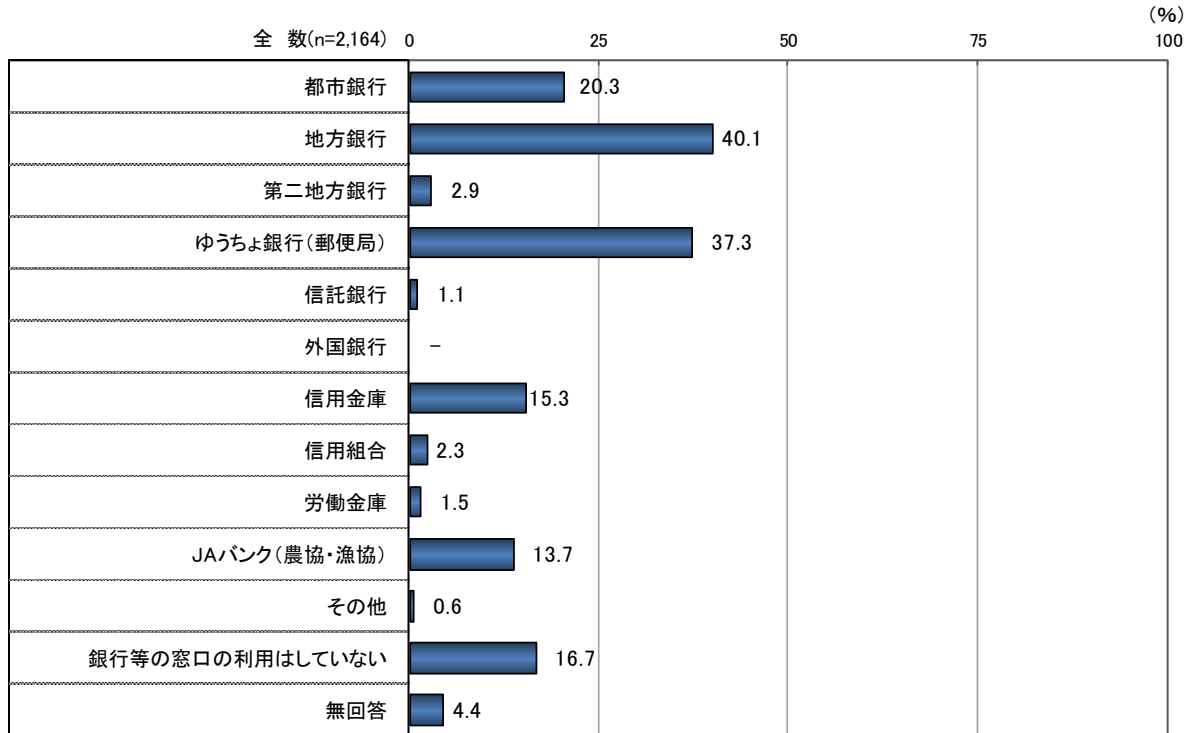
(図表 12-2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス (問 46、複数回答)



(3) 行員等がいる窓口を利用している金融機関

- 行員等がいる窓口を利用している金融機関（複数回答）を聞くと、「地方銀行」が40.1%で最も多く、次いで「ゆうちょ銀行」(37.3%)、「都市銀行」(20.3%)、「信用金庫」(15.3%)、「JAバンク」(13.7%)の順だった。「銀行等の窓口は利用していない」は16.7%だった。(図表 12-3)

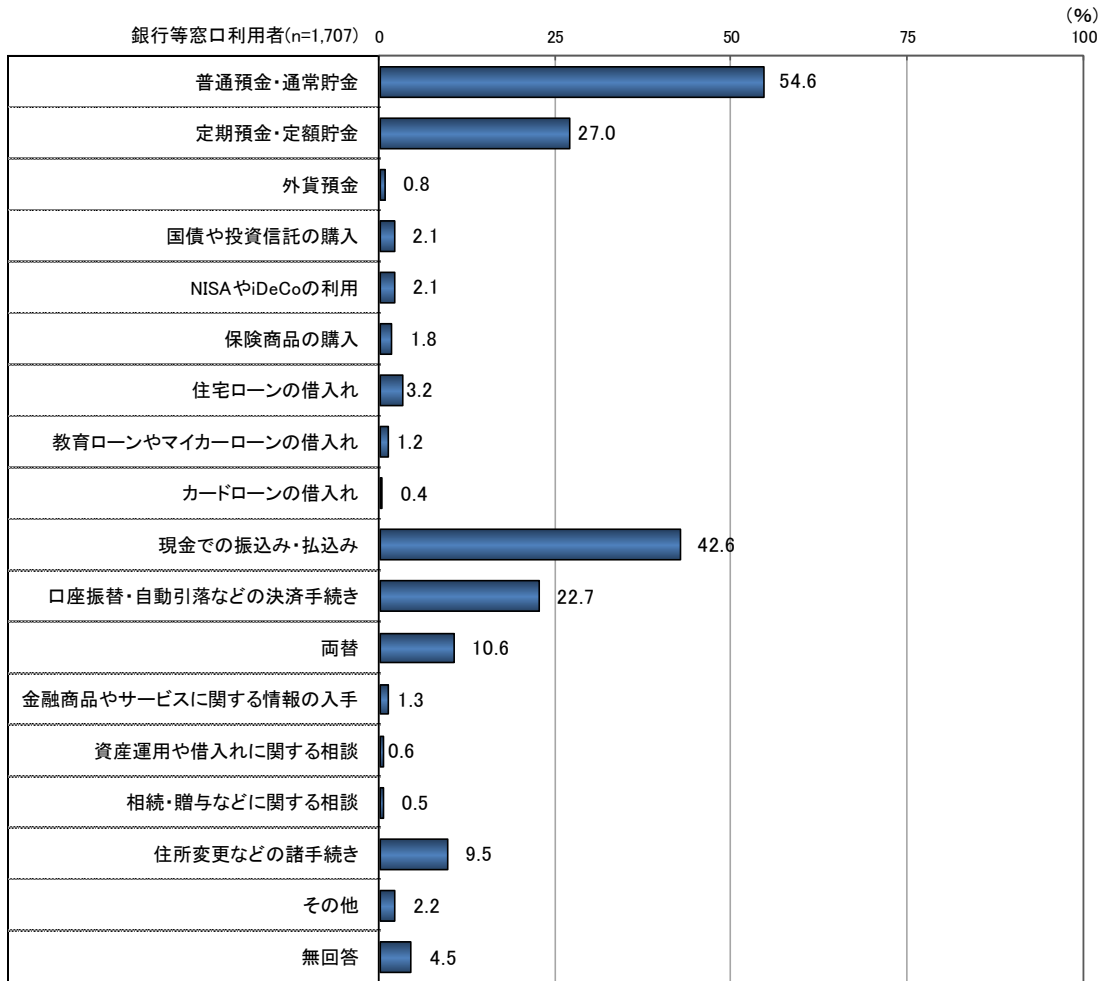
(図表 12-3) 銀行等の窓口を利用している金融機関（問 47、複数回答）



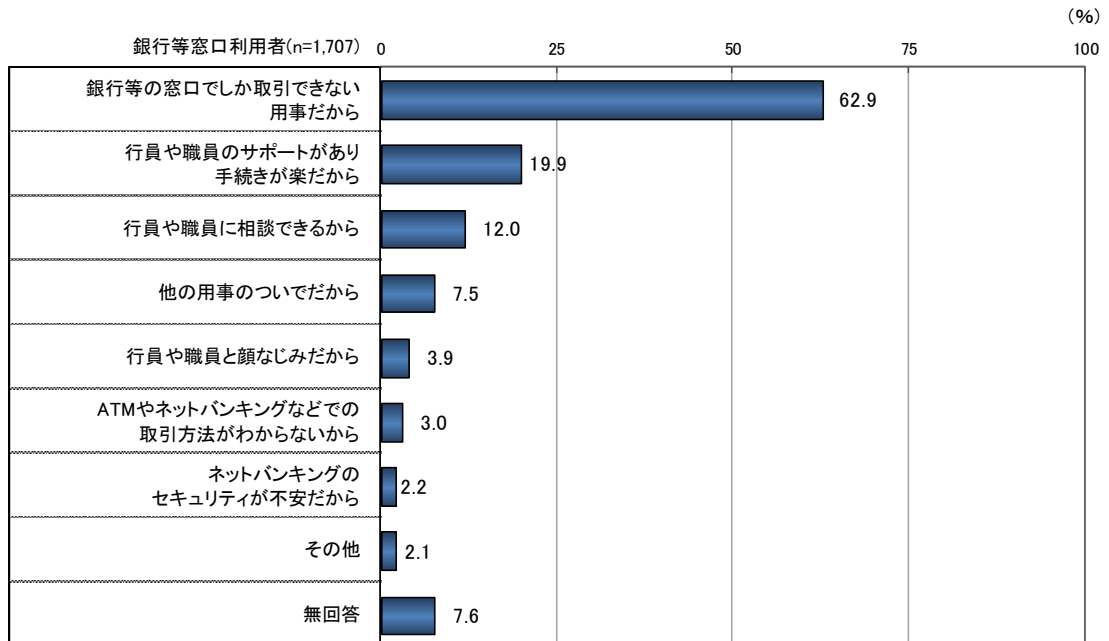
(4) 銀行等の窓口を利用する目的、理由

- 銀行等の窓口を利用する人 (n=1,707) に、窓口を利用する目的（複数回答）を聞くと、「普通預金・通常貯金」が54.6%で最も多く、次いで「現金での振込み・払込み」(42.6%)、「定期預金・定額貯金」(27.0%)、「口座振替・自動引落などの決済手続き」(22.7%)、の順で続く。(図表 12-4-1)
- 窓口を利用する理由（複数回答）を聞くと、「銀行等の窓口でしか取引できない用事だから」(62.9%)が6割以上で最も多く、次いで「行員や職員のサポートがあり手続きが楽だから」(19.9%)、「行員や職員に相談できるから」(12.0%)が1割台で続く。その他の選択肢は1割未満だった。(図表 12-4-2)

(図表 1 2 - 4 - 1) 銀行等の窓口を利用する目的 (問 48、複数回答)



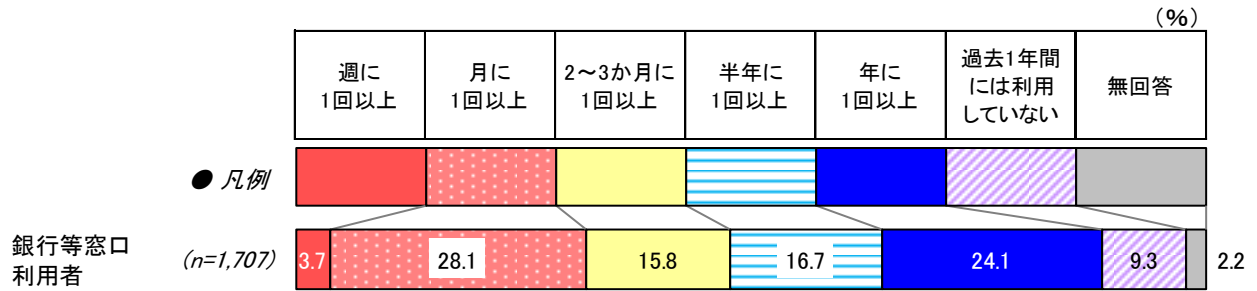
(図表 1 2 - 4 - 2) 銀行等の窓口を利用する理由 (問 49、複数回答)



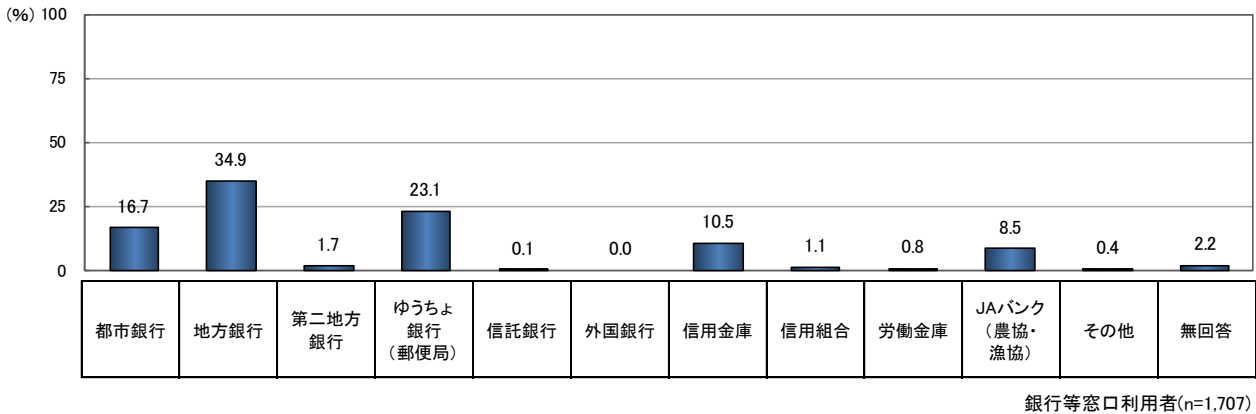
(5) 銀行等の窓口を利用する頻度・最もよく窓口を利用する金融機関

- 窓口を利用する頻度は、「月に1回以上」が28.1%で最も多く、「週に1回以上」(3.7%)と合わせると3割以上が月に1回以上利用している。(図表12-5-1)
- 最もよく窓口を利用する金融機関は、「地方銀行」(34.9%)、「ゆうちょ銀行」(23.1%)、「都市銀行」(16.7%)、「信用金庫」(10.5%)の順。(図表12-5-2)

(図表12-5-1) 銀行等の窓口を利用する頻度 (問50)



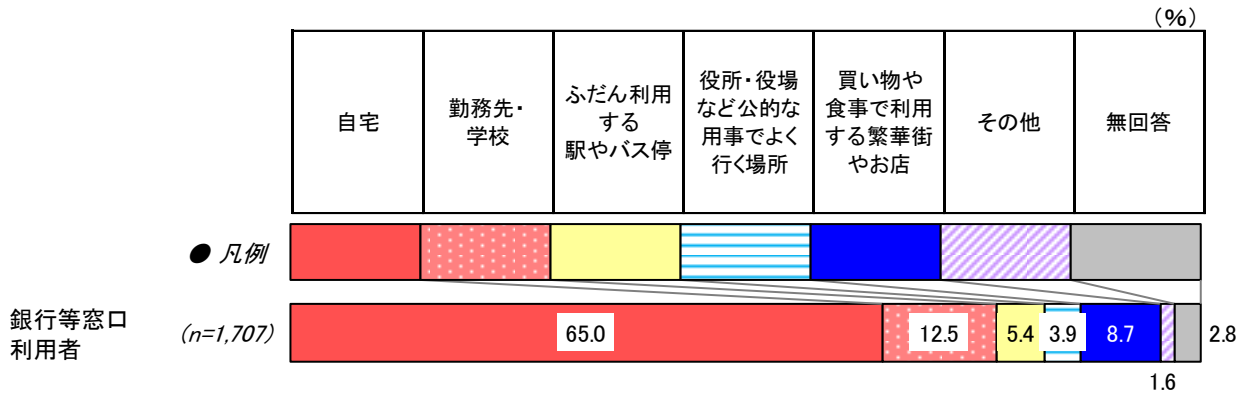
(図表12-5-2) 最もよく窓口を利用する金融機関 (問51)



(6) 最もよく窓口利用する金融機関のロケーション

- 最もよく窓口利用する金融機関のロケーションが「どこ」の近くかを聞くと、「自宅」が65.0%を占め、次いで「勤務先・学校」(12.5%)、「買い物や食事で利用する繁華街やお店」(8.7%)、「ふだん利用する駅やバス停」(5.4%)、「役所・役場など公的な用事でよく行く場所」(3.9%)の順だった。(図表 12-6)

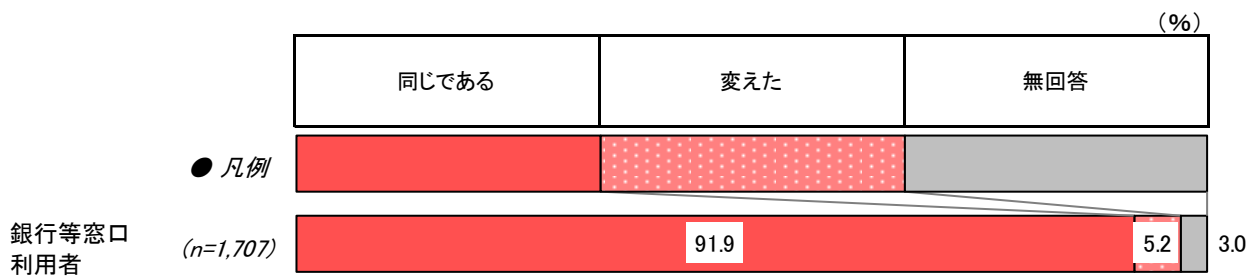
(図表 1 2 - 6) 最もよく窓口を利用する金融機関の近隣にあるもの (問 52)



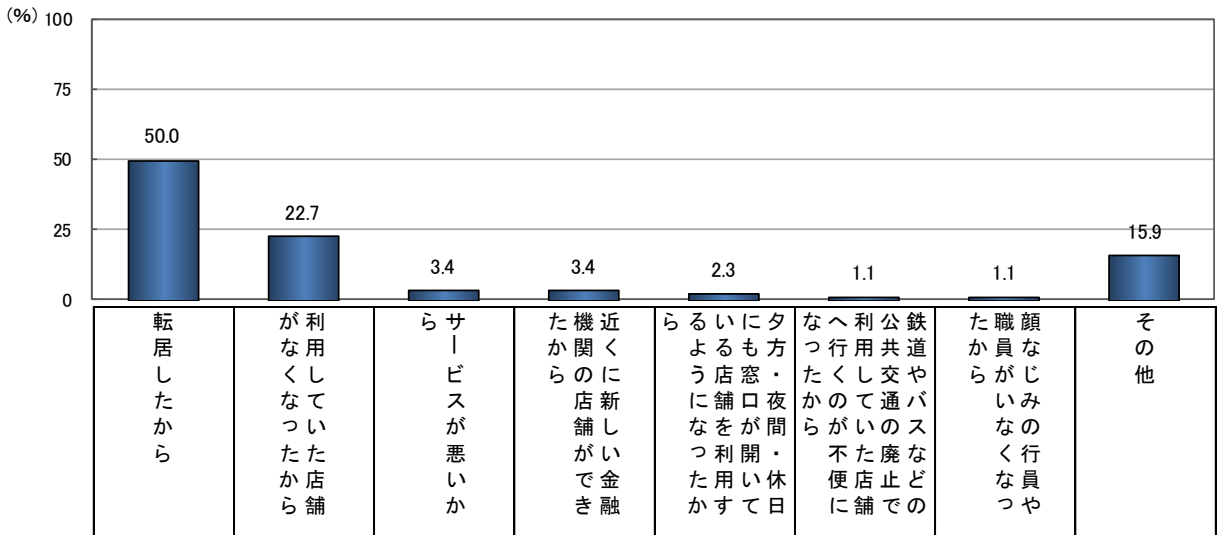
(7) 窓口利用する金融機関の店舗の変更

- 銀行等の窓口を利用する人(n=1,707)に、現在最もよく窓口を利用する店舗が2年前と同じか変更したかを聞いたところ、「同じである」が91.9%と9割以上を占め、「変えた」は5.2%だった。
(図表 12-7-1)
- 窓口を「変えた」人 (n=88) に変更した最も大きな理由を聞くと、半数は「転居したから」(50.0%)で、次いで「利用していた店舗がなくなったから」が22.7%だった。(図表 12-7-2)

(図表 12-7-1) 最もよく窓口を利用する店舗の2年前と現在の変化 (問53)



(図表 12-7-2) 最もよく窓口を利用する金融機関の店舗を変えた最大の理由 (問53-1)



銀行等窓口変更者(n=88)

Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

「第4回くらしと生活設計に関する調査」 調査票

- この調査は金融やくらしについて、日ごろお考えになられていることなどをおうかがいするものです。
- お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的に集計処理し、家計の金融行動に関する今後の学術研究に役立てます。個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。
- お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、()内に具体的な内容を記入してください。
- 金額など数値をお尋ねしている設問では、それぞれの単位に合わせて、その1つ下の位を四捨五入して回答ください。
例) 金額を「万円」の単位でおうかがいしている場合：64,000円であれば千の位「4」を四捨五入して「6万円」と回答してください。
- 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。
- ご回答いただいた調査票は 11月30日(土)～12月8日(日) の期間に調査員が引き取りに訪問します。同封の封筒に入れて調査員にお渡しください。
郵送での返送をご希望の場合は、同封の封筒(切手は不要です)に入れて 12月13日(金) までにご投函下さい。
- ご協力いただいた方には、謝礼として1,000円分のQUOカードを贈呈いたします。
訪問引き取りの場合は記入済調査票と引き換えにお渡しします。
郵送返送の場合は、期限までにご投函下さった方に、2020年1月中にお送りさせていただきます。

【調査の企画】 一般財団法人ゆうちょ財団 金融行動調査ワーキングチーム

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町3-7-4

ホームページ <http://www.yu-cho-f.jp/>

慶應義塾大学 商学部教授 渡部 和孝

文京学院大学 人間学部准教授 寺島 拓幸

(独)労働政策研究・研修機構 主任研究員 周 燕飛

【調査の実施】 株式会社日本リサーチセンター



〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-26-5

ホームページ <https://www.nrc.co.jp/>

担当: 吉田、蔵田



お問い合わせ:フリーダイヤル 0120-996-241

(平日 10:00~12:00、13:00~17:00)

担当調査員									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

消費生活についておうかがいします。

問 1 次に示されたa～tの買い物についての考え方や行動が、あなたにどのくらいあてはまるかお答えください。

(○はそれぞれ1つずつ)

(N=2,164)

		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 新しい商品が出るとほしくなる	⇒	(5.5)	(30.7)	(40.4)	(22.0)	(1.3)
b. 広告を見ると、その商品がほしくなる	⇒	(3.7)	(25.6)	(46.5)	(22.6)	(1.6)
c. 周囲の人がもっている商品をもっていないと気になる	⇒	(1.8)	(11.5)	(39.9)	(45.3)	(1.5)
d. 流行や話題になっている商品を選ぶ	⇒	(4.0)	(26.2)	(40.5)	(27.8)	(1.5)
e. ショッピングは楽しい	⇒	(30.4)	(41.2)	(19.7)	(7.3)	(1.4)
f. いろいろなお店を見てまわるのが好きだ	⇒	(23.3)	(31.2)	(28.0)	(15.9)	(1.7)
g. 必要なものを必要な量だけ買う	⇒	(31.4)	(45.7)	(16.8)	(4.6)	(1.5)
h. 買い物は素早く済ませる	⇒	(27.7)	(39.5)	(25.3)	(6.1)	(1.4)
i. コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ	⇒	(22.5)	(41.6)	(24.9)	(9.3)	(1.8)
j. 事前にいろいろと情報収集してから商品を買う	⇒	(20.0)	(38.0)	(29.1)	(11.5)	(1.4)
k. できるだけセール価格で商品を買う	⇒	(23.2)	(42.7)	(25.0)	(7.6)	(1.6)
l. 少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ	⇒	(19.8)	(52.1)	(21.8)	(4.9)	(1.4)
m. 少し値段が高くても、有名なブランドやメーカーの商品を選ぶ	⇒	(7.3)	(29.2)	(40.2)	(21.9)	(1.4)
n. インテリアや服装などはコーディネート(組み合わせ)を考えて商品を選ぶ	⇒	(17.9)	(40.9)	(26.8)	(12.9)	(1.5)
o. おしゃれにお金をかける	⇒	(4.3)	(21.3)	(41.8)	(31.1)	(1.4)
p. 性能よりもデザイン(色や形)を重視して商品を選ぶ	⇒	(5.1)	(26.2)	(46.3)	(20.8)	(1.5)
q. 人とは違った個性的な商品を選ぶ	⇒	(5.7)	(23.2)	(45.1)	(24.3)	(1.7)
r. 自分のこだわりの商品を探求する	⇒	(12.3)	(36.4)	(33.8)	(15.9)	(1.6)
s. 長く使えるものを選ぶ	⇒	(31.3)	(51.0)	(13.4)	(3.0)	(1.3)
t. 環境にやさしい商品を選ぶ	⇒	(13.7)	(42.8)	(34.1)	(7.9)	(1.4)

小学生の頃のことについておうかがいします。

問2 あなたが小学校高学年の頃、ご家族とどれくらい外食をしていましたか。(○は1つ) (N=2,164)

(2.2) 1 週に数回以上	(22.1) 3 年に数回程度	(10.7) 5 覚えていない
(21.1) 2 月に数回程度	(41.7) 4 ほとんどない	(1.7) 6 その他(具体的に)

(0.4) 無回答

問3 あなたが小学校高学年の頃、世間一般と比べてご家庭の収入状況は、以下のどれに最もあてはまりますか。

(○は1つ) (N=2,164)

(12.4) 1 平均よりかなり少ない	(34.2) 3 ほぼ平均	(4.1) 5 平均よりかなり多い
(18.5) 2 平均よりやや少ない	(16.7) 4 平均よりやや多い	(13.6) 6 覚えていない

(0.5) 無回答

問4 あなたが小学校高学年の頃、お父様がしていたお仕事は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

(N=2,164)

(15.9) 1 経営者、役員、理事、課長相当以上の管理職 (公務員を含む)	(1.0) 5 臨時雇い・パート・アルバイト・内職 (4.4) 6 その他(具体的に)
(45.0) 2 常時雇用されている一般従業者(公務員を含む)	(0.8) 7 無職
(11.4) 3 農林漁業の自営業	(3.3) 8 わからない
(11.6) 4 農林漁業以外の自営業	(5.9) 9 父親はいなかった

(0.6) 無回答

問5 あなたが小学校高学年の頃、お母様は働いていらっしゃいましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。(○は1つ) (N=2,164)

(23.5) 1 自営業、自由業(家族従業者も含む)	(3.0) 5 その他の職業(具体的に)
(3.0) 2 公務員	(28.8) 6 無職
(9.8) 3 民間企業の正社員	(2.4) 7 わからない
(26.7) 4 パート・アルバイト	(2.2) 8 母親はいなかった

(0.6) 無回答

問6 あなたが小学校高学年の頃、ご両親からもらうおこづかいやプレゼントの金額は友だちとくらべてどれくらいでしたか。(○は1つ) (N=2,164)

(5.7) 1 多いほうだった	(22.0) 3 少ないほうだった	(18.9) 5 もらうことがなかった
(39.5) 2 ふつうだった	(11.4) 4 覚えていない	(2.1) 6 その他(具体的に)

(0.4) 無回答

問7 あなたが小学校高学年の頃、家の仕事(料理、洗濯、掃除、おつかいなど)を手伝いましたか。(○は1つ)

(N=2,164)

(32.8) 1 手伝った	(23.2) 3 あまり手伝わなかった	(3.7) 5 覚えていない
(29.9) 2 やや手伝った	(9.9) 4 手伝わなかった	(0.3) 6 その他(具体的に)

(0.3) 無回答

問8 あなたが小学生の頃、ご両親は次のようなことをしていましたか。(○はそれぞれいくつでも) (N=2,164)

	父親	母親
	↓	↓
宝くじ	(15.4)	(8.8)
公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)	(7.4)	(0.4)
パチンコ・パチスロ	(16.5)	(2.4)
マーじゃん	(7.4)	(1.0)
上記、いずれもしていなかった	(52.9)	(73.7)
当時、父親(母親)はいなかった	(4.5)	(1.7)
覚えていない	(6.6)	(6.4)
	無回答	(3.1) (7.0)

金融の知識についておうかがいします。

問 9 あなたは、どのような金融に関する知識・情報が暮らしに役立つと思いますか。(〇は3つまで) (N=2,164)

(28.0)	1	金融商品・サービスの種類や商品性(リスクを含む)に関する知識・情報
(25.4)	2	金融機関が破たん(倒産)しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報
(17.3)	3	金融・経済の仕組みに関する知識・情報(例:金融機関や株式市場の役割・機能について)
(8.5)	4	多重債務に陥らないための知識・情報
(24.0)	5	金融取引においてトラブルにまきこまれないための知識・情報
(43.9)	6	将来の生活設計やこれに必要となる資金計画などに関する知識・情報
(57.8)	7	介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報
(19.4)	8	子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報
(5.7)	9	どれも役立つと思わない
(1.2)	10	その他(具体的に)

(3.6) 無回答

問 10 銀行で取り扱われている以下の金融商品のうち預金保険の保護の対象となっているのは、どれだと思いますか。(〇は1つ) (N=2,164)

(1.6)	1	外貨預金	(1.0)	3	公社債投資信託	(7.6)	5	住宅火災保険	(17.1)	7	どれも
(0.9)	2	株式投資信託	(9.4)	4	国債	(52.5)	6	定期預金			保護されない

(9.8) 無回答

問 11 現金口座に100万円あり、預金金利が年率2%であるとして、預金を引き出さずにそのままにした場合、10年後の金額はいくらだと思いますか。(〇は1つ) (N=2,164)

(32.8)	1	120万円超	(20.3)	2	120万円ちょうど	(41.6)	3	120万円未満
--------	---	--------	--------	---	-----------	--------	---	---------

(5.3) 無回答

クレジットカードや消費者金融についておうかがいします。

問 12 クレジットカードに対する次のa~fの意見について、あなたはどのように思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ) (N=2,164)

	⇒	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない	無回答
a.持っている则便利だ	⇒	(53.8)	(25.7)	(11.0)	(7.8)	(1.8)
b.現金で買うよりもお得(ポイントなど)	⇒	(36.9)	(35.4)	(17.0)	(8.3)	(2.5)
c.持っている则ステータスになる	⇒	(5.3)	(13.2)	(41.8)	(35.4)	(4.3)
d.使いすぎる恐れがある	⇒	(42.2)	(32.6)	(15.6)	(7.4)	(2.2)
e.犯罪に利用される恐れがある	⇒	(41.5)	(41.2)	(10.8)	(3.9)	(2.6)
f.宣伝を法律で制限すべきだ	⇒	(16.9)	(26.4)	(39.2)	(14.1)	(3.4)

問 13 あなたは、ご自分名義のクレジットカードを持っていますか。家族カードや使用していないものも含まれます。
(○は1つ) (N=2,164)

(66.1) 1 持っている	(23.9) 2 持っていない → 次ページの間14へお進みください
----------------	------------------------------------

(10.0) 無回答

【 問 13 で「1」を回答した方へ 】

問 13-1 何枚のクレジットカードをお持ちですか。(N=1,430)

(24.5) 1 枚	(10.3) 4 枚	(0.2) 1 1～20 枚
(28.7) 2 枚	(7.6) 5 枚	(0.1) 2 1枚以上
(23.3) 3 枚	(4.6) 6～10 枚	(0.8) 無回答

問 13-2 あなたご自身のひと月あたりの私的なショッピングでのクレジットカード利用額はどれくらいですか。クレジットカードを複数枚お持ちの方は合計利用額をお答えください。

*ショッピングでの利用がない場合は「× 利用していない」に○をおつけください。(N=1,430)

ひと月あたり約	(8.7) 1万円未満	(3.3) ～5万円未満	(2.3) ～9万円未満
	(15.5) ～2万円未満	(8.7) ～6万円未満	(0.1) ～10万円未満
	(10.9) ～3万円未満	(1.5) ～7万円未満	(7.1) ～20万円未満
	(10.6) ～4万円未満	(1.0) ～8万円未満	(2.8) 20万円以上
			(12.7) 利用していない

(14.6) 無回答

問 13-3 あなたがお持ちのクレジットカードのうち、最も利用額が高いものの年会費(税抜き)はいくらですか。
(○は1つ) (N=1,430)

(56.4) 1 無料	(8.0) 3 1万円以上2万円未満	(1.3) 5 3万円以上5万円未満
(29.7) 2 1円以上1万円未満	(0.9) 4 2万円以上3万円未満	(1.8) 6 5万円以上

(2.0) 無回答

問 13-4 あなたは、どのような基準で、最も利用額が高いクレジットカードを選びましたか。(○はいくつでも)
(N=1,430)

(46.4) 1 ポイントやマイルを貯めやすい	(6.2) 8 各種補償や保険が充実している
(53.1) 2 年会費が安い、または無料	(7.0) 9 空港ラウンジなどの付帯サービスが充実している
(14.6) 3 銀行・ゆうちょなどのキャッシュカードと一体型	(13.8) 10 発行会社の知名度が高い
(6.3) 4 交通系電子マネー (SuicaやPASMOなど) と一体型	(2.3) 11 ステータスがある
(24.6) 5 よく利用するお店で割引サービスなどが受けられる	(2.4) 12 カードのデザインが良い
(16.9) 6 ポイントと交換できる商品などが良い	(3.5) 13 その他 (具体的に)
(5.6) 7 サポート体制 (サービスデスクなど) がしっかりしている	(9.9) 14 特に理由はない

(1.5) 無回答

問 13-5 あなたは、どのような支払いにクレジットカードを利用していますか。(○はいくつでも)(N=1,430)

(54.1) 1 インターネットショッピング	(50.5) 6 百貨店・家電量販店	(13.8) 11 電子マネーのチャージ
(38.7) 2 公共料金・通信費	(26.6) 7 レストラン・飲食店	(13.1) 12 病院・医療機関
(34.5) 3 スーパーマーケット	(35.4) 8 ガソリンスタンド	(5.7) 13 その他 (具体的に)
(16.8) 4 コンビニエンスストア	(21.3) 9 航空券・乗車券・定期券	
(19.4) 5 ドラッグストア	(41.0) 10 高速道路料金 (ETC)	

(2.7) 無回答

【全員の方へ】

問 14 このところ、ATM や無人契約機などで手軽にお金を借りられるカードローンや消費者金融が普及していますが、次のa～dの意見について、あなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つつ)
(N=2,164)

	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	無回答
a. あると便利だ ⇒	(15.0)	(21.6)	(26.6)	(33.3)	(3.5)
b. 使いすぎる恐れがある ⇒	(57.2)	(24.4)	(7.9)	(7.0)	(3.5)
c. 犯罪に利用される恐れがある ⇒	(52.7)	(28.8)	(9.5)	(5.4)	(3.6)
d. 宣伝を法律で制限すべきだ ⇒	(39.2)	(27.9)	(20.3)	(8.5)	(4.1)

問 15 あなたは、これまでにカードローンや消費者金融から借入したことがありますか。(○は1つ) (N=2,164)

*「カードローン」は銀行などの使い道が自由なローン、「消費者金融」は消費者金融会社からの使い道が自由なローンを指します。

(12.0)1 カードローンはある	(2.7)2 消費者金融はある	(3.3)3 カードローンも 消費者金融もある	(78.2)4 どちらもない	7ページの問18へお進みください (3.7) 無回答
-------------------	------------------	-----------------------------	----------------	--------------------------------

【問 15 で「1～3」と回答した方へ】

問 15-1 カードローンや消費者金融から借入した際に、次のようなことをされた経験がありますか。a.カードローンと
b.消費者金融 それぞれについてお知らせください。*問15で借入したことがあるものについてお答えください。

(a、bそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

	a. カード ローン (N=332)	b. 消費 者 金 融 (N=131)
必要金額以上の借入を勧められた	(6.3)	(23.7)
貸付可能金額の増額を提案された	(23.5)	(37.4)
新規あるいは追加の借入を勧められた	(7.5)	(19.8)
電話等で追加の借入を勧められ、店舗に行かないまま銀行口座にお金が振り込まれた	(2.1)	(4.6)
一括（または一部）返済しようとした際、また借りるよう言われた	(2.4)	(12.2)
一括（または一部）返済しようとした際、返済しないよう言われた	(1.2)	(0.8)
ATM で借入限度額が表示されるので、つい必要以上の借入をしてしまった	(13.0)	(19.1)
上記いずれも経験したことがない	(62.3)	(36.6)
	無回答 (3.9)	(7.6)

【問 15 で「1～3」と回答した方へ】

問 15-2 カードローンや消費者金融から借入したことで、あなたの日常生活にどのような変化が起きましたか。

(○はいくつでも) (N=391)

(18.7) 1 高額の商品を買うことができた	(0.8)	8 経営する会社（個人経営を含む）が倒産した
(4.1) 2 事業の資金繰りが円滑になった	(1.3)	9 自宅を手放した
(29.7) 3 上記以外の臨時の出費にも対応できるようになった	(0.8)	10 親戚との付き合いがなくなった
(3.6) 4 自殺を考えるようになった	(1.0)	11 保証人に請求があり、顔向けできなくなった
(2.6) 5 職場を辞めた	(3.8)	12 その他（具体的に）
(4.1) 6 家族の別居や離婚など、家庭崩壊を招いた	(40.7)	13 特に大きな変化はなかった
(0.5) 7 子供が学校を退学した、進学を断念した		

(4.3) 無回答

【問15で「1～3」と回答した方へ】

問 16 あなたがカードローンや消費者金融から借入をした理由を、お答えください。

*問 15 で借入したことがあるものについてお答えください。(a、bそれぞれについてあてはまるものすべてに○)

	a. カードローン (N=332)	b. 消費者金融 (N=131)
住宅ローンの返済	(5.1)	(3.1)
車のローンや借金の返済	(20.2)	(13.7)
生活資金の補てん	(45.8)	(48.9)
事業資金の補てん	(5.1)	(7.6)
訪問販売の物品の購入	(2.1)	(0.8)
パチンコ、競馬等のギャンブル費	(9.3)	(14.5)
保証人・肩代わり	(3.6)	(10.7)
趣味や遊興費	(26.5)	(22.1)
その他 (具体的に)	(8.4)	(2.3)
無回答	(6.9)	(7.6)

【問 15 で「1～3」と回答した方へ】

問 17 現在、カードローンや消費者金融からの借入残高はありますか。(○は1つ) (N=391)

(26.3) 1 カードローンがある	(4.6) 2 消費者金融がある	(4.3) 3 カードローンと消費者金融両方ある	(64.7) 4 現在は両方ともない
			↳ 次ページの間18へお進みください
			(-) 無回答

【問 17 で「1～3」と回答した方へ】

問 17-1 あなたは、最近3年のあいだにカードローンや消費者金融から何回お金を借りましたか。

*問 17 で借入残高があるものについてお答えください。(a、bそれぞれについてあてはまるもの1つに○)

	a. カードローン (N=120)	b. 消費者金融 (N=35)
1回ある	(24.2)	(31.4)
2～5回ある	(31.7)	(34.3)
6～9回ある	(10.8)	(5.7)
10回以上ある	(17.5)	(14.3)
最近3年間はない	(14.2)	(14.3)
無回答	(1.7)	(-)

【問 17 で「1～3」と回答した方へ】

問 17-2 現在の借入残高の総額はいくらですか。カードローン・消費者金融それぞれについてお答えください。

回答可能な範囲でお答え頂ければ結構です。*問 17 で借入残高があるものについてお答えください。

ア)カードローン → (N=120)	(-) 0万円	(18.3)	～300万円未満	(16.7) 無回答
	(7.5) ～10万円未満	(1.7)	～500万円未満	
	(25.8) ～30万円未満	(-)	～1000万円未満	
	(12.5) ～50万円未満	(1.7)	1000万円以上	
	(15.8) ～100万円未満			
イ)消費者金融 → (N=35)	(-) 0万円	(22.9)	～300万円未満	(8.6) 無回答
	(2.9) ～10万円未満	(2.9)	～500万円未満	
	(37.1) ～30万円未満	(2.9)	～1000万円未満	
	(8.6) ～50万円未満	(2.9)	1000万円以上	
	(11.4) ～100万円未満			

問 17-3 カードローンや消費者金融からの借入について、その返済に困難を感じていますか。

*問 17 で借入残高があるものについてお答えください。(a, bそれぞれについてあてはまるもの1つに○)

	a. カードローン (N=120)	b. 消費者金融 (N=35)
まったく困難を感じていない	(44.2)	(31.4)
少し困難を感じている	(42.5)	(40.0)
すでに返済困難な状況になっている	(9.2)	(17.1)
多重債務、個人破産に追い込まれている	(2.5)	(8.6)
無回答	(1.7)	(2.9)

決済方法についておうかがいします。

【全員の方へ】

問 18 あなたは、スーパーやコンビニでの買い物の支払いに次のどのような方法を利用されていますか。

(○はいくつでも) (N=2,164)

(89.3) 1 現金	(14.1) 7 スマホ決済※
(12.0) 2 金券	(8.2) 8 プリペイドカード
(37.4) 3 クレジットカード	(17.0) 9 ポイント
(2.0) 4 デビットカード	(-) 10 仮想通貨 (暗号資産)
(12.5) 5 カード型交通系電子マネー (Suica、PASMO など)	(0.5) 11 その他 (具体的に)
(20.4) 6 カード型流通系電子マネー (nanaco、WAON など)	

(1.5) 無回答

※スマホ決済：スマホアプリを使った決済。Suica や nanaco 等の電子マネー系と、PayPay や楽天 Pay 等のバーコード・QR コード系がある。

問 19 あなたは、電気・ガス・水道代などの公共料金の支払いに次のどのような方法を利用されていますか。

(○はいくつでも) (N=2,164)

(71.0) 1 口座振替・自動引落	(34.0) 5 クレジットカード
(4.2) 2 銀行等や郵便局の窓口での支払い	(1.1) 6 その他 (具体的に)
(0.7) 3 ATM での支払い	(9.2) 7 支払っていない
(11.0) 4 コンビニでの支払い	

(1.3) 無回答

問 20 あなたは、家賃・給食費・新聞購読代などの公共料金以外の定期的な支払いには次のどのような方法を利用されていますか。(○はいくつでも) (N=2,164)

(61.1) 1 口座振替・自動引落	(16.6) 5 クレジットカード
(5.2) 2 銀行等や郵便局の窓口での支払い	(9.2) 6 その他 (具体的に)
(2.9) 3 ATM での支払い	(14.0) 7 支払っていない
(7.4) 4 コンビニでの支払い	

(2.7) 無回答

問 21 あなたは、固定資産税などの税金や国民年金保険料などの社会保険料の支払いには次のどのような方法を利用されていますか。(○はいくつでも) (N=2,164)

(55.2) 1 口座振替・自動引落	(2.8) 5 クレジットカード
(22.9) 2 銀行等や郵便局の窓口での支払い	(1.0) 6 ペイジー
(1.4) 3 ATM での支払い (ペイジーを除く)	(3.6) 7 その他 (具体的に)
(18.0) 4 コンビニでの支払い	(10.1) 8 支払っていない

(2.2) 無回答

問 22 あなたは、ネット通販で購入された代金の支払いには次のどのような方法を利用されていますか。

(○はいくつでも) (N=2,164)

(10.3) 1	銀行等や郵便局の窓口での支払い	(10.9) 8	ポイント
(4.4) 2	ATM での支払い	(0.1) 9	仮想通貨 (暗号資産)
(27.5) 3	コンビニでの支払い	(15.0) 10	代金引換
(47.1) 4	クレジットカード	(0.4) 11	その他(具体的に)
(1.2) 5	デビットカード	(23.8) 12	ネット通販は利用していない
(5.2) 6	スマホ決済		
(0.7) 7	プリペイドカード		

(2.6) 無回答

問 23 最近さまざまなスマホ決済が利用できるようになってきましたが、あなたは、スマホ決済を利用したいと思いますか。 ※スマホ決済とは、スマホアプリを使った決済のことです

(○は1つ)

(N=2,164)

(19.2) 1	現在利用している	(9.8) 2	今後利用してみたい	(46.9) 3	利用するつもりはない	(22.1) 4	わからない
				↓ 次ページの間 23-2 へお進みください		↓ 次ページの間 24 へお進みください	

(1.9) 無回答

【問 23 で「1」または「2」と回答した方へ】

問 23-1 あなたが現在利用している、または今後利用してみたいスマホ決済は次のどれですか。(○はいくつでも)

(N=628)

(49.5) 1	スマホアプリの電子マネー決済(Suica、nanaco、WAON など)
(83.1) 2	スマホのバーコード・QR コード決済(楽天ペイ、PayPay、d 払いなど)
(1.4) 3	その他(具体的に) →次ページの間 24 へお進みください

(0.8) 無回答

【問 23-1 で「1」と回答した方(スマホアプリの電子マネー決済を利用している方)へ】

問 23-1-1 現在利用しているのは、次のどの電子マネー決済ですか。(○はいくつでも) (N=311)

(39.9) 1	Suica	(18.3) 5	iD
(34.1) 2	nanaco	(10.3) 6	QUICPay
(27.3) 3	WAON	(4.2) 7	その他 (具体的に)
(15.8) 4	楽天 Edy		

(9.3) 無回答

→次ページの間 24 へお進みください

【問 23-1 で「2」と回答した方(バーコード・QR コード決済を利用している方)へ】

問 23-1-2 次のどのバーコード・QR コード決済ですか。(○はいくつでも) (N=522)

(21.1) 1	楽天ペイ	(-) 6	pring
(60.2) 2	PayPay	(1.0) 7	PAY ID
(23.9) 3	LINE Pay	(1.1) 8	ゆうちょ Pay
(25.7) 4	d 払い	(3.8) 9	FamiPay
(1.5) 5	Origami Pay	(10.2) 10	その他 (具体的に)

(6.1) 無回答

→次ページの間 24 へお進みください

【問 23 で「3」と回答した方(スマホ決済を利用するつもりはない方)へ】

問 23-2 あなたが、スマホ決済を利用されない理由は次のどれにあたりますか。(〇はいくつでも) (N=1,015)

(30.3) 1 スマホを持っていないから	(17.7) 6 ついお金を使い過ぎてしまいそうだから
(3.0) 2 使える場所が限られているから	(41.7) 7 現在の決済方法で満足しているから
(28.0) 3 個人情報が漏れるのが怖いから	(30.0) 8 利用の仕方がわからなく、面倒くさそうだから
(33.9) 4 セキュリティに不安があるから	(1.6) 9 その他(具体的に)
(25.5) 5 スマホの紛失や故障時に心配だから	

(3.5) 無回答

消費税率の引上げについておうかがいします。

【全員の方へ】

問 24 本年 10 月から食料品や定期購読の新聞以外の消費税率が引上げられましたが、あなたは、9 月までに駆け込みで何か商品などを購入されましたか。(〇はいくつでも) (N=2,164)

(27.3) 1 購入した	(69.5) 2 購入していない → 次ページの間 25 へお進みください
---------------	---------------------------------------

(3.1) 無回答

【問 24 で「1」と回答した方へ】

問 24-1 あなたが駆け込みで購入されたものは何ですか。(〇はいくつでも) (N=591)

(1.5) 1 住宅	(7.3) 8 冷蔵庫	(3.2) 15 旅行・レジャー
(5.2) 2 住宅のリフォーム	(6.1) 9 エアコン	(17.1) 16 衣料品
(7.6) 3 自動車	(9.3) 10 6~9 以外の家電製品	(60.4) 17 トイレtpptペーパー・洗剤など日用品
(1.0) 4 バイク	(3.9) 11 パソコン	(3.2) 18 本・参考書
(1.4) 5 自転車	(1.0) 12 タブレット端末	(2.7) 19 時計・バッグなどブランド品・高級品
(6.9) 6 テレビ	(4.4) 13 スマートフォン	(12.9) 20 その他(具体的に)
(7.3) 7 洗濯機	(5.6) 14 家具	

(0.2) 無回答

【問 24 で「1」と回答した方へ】

問 24-2 あなたが駆け込みで購入された金額は合計でおよそどのくらいでしたか。(N=591)

駆け込み 購入金額(合計)	(6.3) 1 万円未満	(10.3) ~20 万円未満	(3.7) ~200 万円未満
	(27.4) ~3 万円未満	(4.9) ~30 万円未満	(5.1) ~500 万円未満
	(7.4) ~5 万円未満	(4.1) ~50 万円未満	(0.7) ~1,000 万円未満
	(11.2) ~10 万円未満	(3.4) ~100 万円未満	(1.4) 1,000 万円以上

(14.2) 無回答

【全員の方へ】

問 25 消費税率引上げ後、消費に変化はありましたか。(○は1つ) (N=2,164)

(85.6) 1 今までどおり消費している →問 26 へお進みください

(11.6) 2 消費を減らした

(0.3) 3 消費を増やした →問 25-2 へお進みください

(2.5) 無回答

➤【問 25 で「2」と回答した方へ】

問 25-1 消費のどの項目を減らされましたか。(○はいくつでも) (N=250)

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| (48.0) 1 食費 | (18.8) 9 嗜好品(酒・タバコなど) |
| (56.4) 2 外食費 | (8.8) 10 通信費(スマホ・携帯電話代など) |
| (15.6) 3 光熱費(電気・ガス・水道代など) | (3.2) 11 医療費 |
| (30.4) 4 日用雑貨費 | (5.6) 12 交通費 |
| (12.0) 5 教養娯楽費 | (1.2) 13 教育費 |
| (22.0) 6 交際費 | (0.4) 14 住宅費 |
| (40.8) 7 被服費 | (1.6) 15 銀行などの ATM 利用や送金 |
| (19.2) 8 理美容費 | (2.4) 16 その他(具体的に) |

(0.4) 無回答

→問 26 へお進みください

➤【問 25 で「3」と回答した方へ】

問 25-2 消費のどの項目を増やされましたか。(○はいくつでも) (N=7)

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| (28.6) 1 食費 | (-) 9 嗜好品(酒・タバコなど) |
| (14.3) 2 外食費 | (-) 10 通信費(スマホ・携帯電話代など) |
| (28.6) 3 光熱費(電気・ガス・水道代など) | (28.6) 11 医療費 |
| (-) 4 日用雑貨費 | (-) 12 交通費 |
| (14.3) 5 教養娯楽費 | (-) 13 教育費 |
| (28.6) 6 交際費 | (-) 14 住宅費 |
| (28.6) 7 被服費 | (14.3) 15 銀行などの ATM 利用や送金 |
| (-) 8 理美容費 | (-) 16 その他(具体的に) |

(-) 無回答

【全員の方へ】

問 26 消費税率引上げ後の 10 月以降で、買い物の内容や買い方に変化はありましたか。(○はいくつでも) (N=2,164)

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| (9.7) 1 購入する数を減らした | (13.9) 6 ポイントへ還元のある店舗に変えた |
| (11.6) 2 購入する頻度を減らした | (1.7) 7 消費税率引上げ前は購入していたものを購入するのをやめた |
| (11.3) 3 安売りの際にまとめ買いするようにした・まとめ買いが増えた | (1.8) 8 その他(具体的に) |
| (9.8) 4 価格の安い商品へ購入する商品を変えた | (60.3) 9 買い物内容や買い方に変化はない |
| (8.7) 5 価格の安い店舗に変えた | |

(2.8) 無回答

【全員の方へ】

問 27 消費税率引上げでどの程度生活に影響がありましたか。(○は1つ) (N=2,164)

- (4.3) 1 かなり苦しくなった
 (21.4) 2 やや苦しくなった
 (55.9) 3 それほど影響はない
 (-) 4 楽になった
 (16.5) 5 わからない

(2.0) 無回答

問 28 消費税率引上げ後の 10 月以降、中小の小売店などの買い物でキャッシュレス決済を利用すると、最大 5%のポイント還元が受けられる制度が始まりましたが、あなたはポイント還元が受けられる店舗を利用されましたか。(○は1つ)(N=2,164)

- (39.5) 1 ポイント還元が受けられる店舗を利用した
 (57.3) 2 ポイント還元が受けられる店舗は利用していない → 次ページの間 28-4 へお進みください

(3.1) 無回答

【問 28 で「1」と回答した方へ】

問 28-1 あなたは、ポイント還元が受けられる店舗で、どのようなものをご購入されましたか。(○はいくつでも) (N=855)

- | | | |
|----------------------------|----------------------|-----------------------------|
| (86.7) 1 食料品や水・お酒などの飲料 | (0.7) 6 冷蔵庫 | (0.7) 12 タブレット端末 |
| (46.4) 2 トイレトペーパー・洗剤などの日用品 | (1.1) 7 エアコン | (1.1) 13 スマートフォン |
| (23.0) 3 衣料品 | (2.6) 8 4〜7 以外の家電製品 | (6.2) 14 本・参考書 |
| (0.4) 4 テレビ | (0.1) 9 自転車 | (1.2) 15 時計・バッグなどブランド品・高級品 |
| (0.5) 5 洗濯機 | (0.5) 11 パソコン | (0.7) 16 家具 |
| | | (6.9) 17 その他(具体的に) |

(0.4) 無回答

問 28-2 あなたが本年 10 月の 1 か月にポイント還元が受けられる店舗で購入された金額は合計でおよそどのくらいでしたか。(N=855)

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| (2.0) 1 万円未満 | (2.7) ~ 5 万円未満 | (1.8) ~ 20 万円以上 |
| (31.3) ~ 2 万円未満 | (15.7) ~ 10 万円未満 | |
| (14.0) ~ 3 万円未満 | (6.4) ~ 15 万円未満 | |
| (10.9) ~ 4 万円未満 | (1.1) ~ 20 万円未満 | |

(14.2) 無回答

問 28-3 あなたがポイント還元が受けられる店舗で利用されたキャッシュレス決済の方法は次のどの方法ですか。(○はいくつでも) (N=855)

- | | |
|---|---|
| (57.8) 1 クレジットカード | (10.2) 5 スマホアプリの電子マネー決済(Suica、nanaco など) |
| (2.3) 2 デビットカード | (29.0) 6 スマホのバーコード・QR コード決済
(楽天ペイ、PayPay など) |
| (13.9) 3 カード型交通系電子マネー
(Suica、PASMO など) | (6.8) 7 プリペイドカード |
| (28.1) 4 カード型流通系電子マネー
(nanaco、WAON など) | (4.0) 8 その他(具体的に) |

(3.9) 無回答

【問 28 で「2」と回答された方(ポイント還元を受けられる店舗は利用していない方)へ】

問 28-4 あなたがポイント還元を受けられる店舗を利用されなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)(N=1,241)

- | | | | | | |
|--------|---|----------------------------------|--------|---|------------------------------|
| (25.2) | 1 | ポイント還元を受けられる店舗がわからなかったから | (8.7) | 5 | クレジット決済やスマホ決済では個人情報漏れるのが怖いから |
| (13.5) | 2 | ポイント還元を受けられる店舗は利用していないから | (12.1) | 6 | キャッシュレス決済はセキュリティに不安があるから |
| (2.3) | 3 | ポイント還元を受けられる店舗ではスマホ決済などが使えなかったから | (12.2) | 7 | ついお金を使い過ぎそうだから |
| (57.7) | 4 | 現金での支払いしか利用しないから | (4.4) | 8 | その他(具体的に) |

(1.9) 無回答

リスク性金融商品についてお伺いします。

【全員の方へ】

問 29 あなたは、リスク性金融商品を保有・運用されていますか。(〇は1つ)

※ 「リスク性金融商品」とは、価格・金利・為替相場の変動により利益率が変動するため、状況によっては元本割れとなる可能性のある金融商品。

(N=2,164)

- | | | | | | |
|--------|---|-----------------|--------|---|-----------------------|
| (18.3) | 1 | 現在、保有・運用している | (54.7) | 3 | いままで保有・運用したことはない |
| (4.7) | 2 | 過去に保有・運用したことがある | | | →次ページの間 29-3 へお進みください |
| | | | (18.4) | 4 | わからない |
| | | | | | →次ページの間 30 へお進みください |

(3.9) 無回答

【問 29 で「1」または「2」と回答した方へ】

問 29-1 あなたが、保有・運用されたことのあるリスク性金融商品は次のどれですか。(〇はいくつでも)(N=498)

- | | | | | | |
|--------|---|-----------|--------|----|-----------------------|
| (52.6) | 1 | 国内株式 | (3.2) | 8 | 外国為替証拠金(FX)、差金決済(CFD) |
| (9.2) | 2 | 外国株式 | (5.6) | 9 | 外貨建てMMF |
| (52.2) | 3 | 投資信託 | (8.2) | 10 | 外貨建て個人年金保険 |
| (5.4) | 4 | RIET | (1.2) | 11 | 先物・オプション商品 |
| (4.6) | 5 | 国債以外の国内債券 | (1.4) | 12 | ラップ口座 |
| (9.4) | 6 | 外貨建ての債券 | (3.0) | 13 | 仮想通貨(暗号資産) |
| (16.9) | 7 | 外貨預金 | (2.6) | 14 | その他(具体的に) |

(0.6) 無回答

【問 29 で「1」または「2」と回答した方へ】

問 29-2 (1) あなたが、リスク性金融商品を保有・運用された目的は次のどれですか。(〇はいくつでも)

(2) (1)で選ばれた目的のうち、最も重要視されたのはどれですか。(〇は1つ) (N=498)

	(1)運用の目的 (いくつでも)	(2)最重視 (1つだけ)
	↓	↓
配当金・分配金・利子を得るため	(71.3)	(35.3)
長期の資産形成・資産運用のため	(53.6)	(22.5)
短期の運用益を得るため	(15.7)	(5.8)
株主優待を得るため	(20.9)	(4.0)
社会的に貢献度が高い活動をしている企業を応援するため	(3.2)	(0.2)
老後の生活資金のため	(33.9)	(11.4)
教育資金のため	(4.6)	(1.0)
住宅購入資金のため	(2.0)	(0.2)
レジャーや高額品の購入資金のため	(2.2)	(0.2)
信頼できる営業担当者に勧められたため	(15.3)	(4.0)
投資の勉強のため	(17.1)	(1.8)
時間の有効活用のため	(2.8)	(0.4)
その他(具体的に)	(5.2)	(2.4)
無回答	(1.8)	(10.6)

→問 30 へお進みください

【問 29 で「3」と回答した方へ】

問 29-3 あなたが、リスク性金融商品を保有・運用されていない理由は次のどれですか。(〇はいくつでも) (N=1,183)

(46.4) 1 手元に資金がないから	(32.8)	7 取引の仕方がわからないから
(36.5) 2 損をしそうだから	(31.0)	8 面倒だから
(31.0) 3 元本割れリスクのある取引はしたくないから	(7.6)	9 手数料や信託報酬がかかるから
(29.6) 4 リスク性金融商品に関する知識がないから	(8.1)	10 税制がわからないから
(2.3) 5 近くに証券会社や銀行などの金融機関の店舗がないから	(9.5)	11 時間的余裕がないから
(12.8) 6 安心して相談できる専門家がないから	(4.5)	12 その他(具体的に)

(1.4) 無回答

【全員の方へ】

問 30 投資信託などのリスク性金融商品を保有することによって長期の資産形成をすることが推進されていますが、あなたは必要性を感じますか。(〇は1つ) (N=2,164)

(4.9) 1 非常に必要性を感じる	(30.9) 3 どちらともいえない	(24.7) 4あまり必要性を感じない
(12.5) 2 やや必要性を感じる		(22.6) 5まったく必要性を感じない

(4.4) 無回答

問 31 リスク性金融商品の場合、どのような金融商品であれば魅力を感じますか。(〇はいくつでも)(N=2,164)

(26.4) 1 少額から始められる金融商品	(15.0) 5 手数料や信託報酬が低い金融商品
(36.3) 2 リスクの少ない金融商品	(1.2) 6 その他(具体的に)
(22.2) 3 税金が優遇される金融商品	(38.8) 7 わからない
(29.4) 4 仕組みが分かりやすい金融商品	

(4.8) 無回答

問 32 税金が優遇される長期資産形成の制度として次のようなものがありますが、あなたは利用されていますか。

(〇はいくつでも)(N=2,164)

(8.8) 1 一般 NISA	(83.6) 5 どれも利用していない→次ページの間 33 へお進みください
(0.3) 2 ジュニア NISA	
(1.7) 3 つみたて NISA	
(1.8) 4 iDeCo	

(4.6) 無回答

【問 32 で「1～4」のいずれかを選んだ方へ】

問 32-1 あなたが、NISA や iDeCo の運用商品を選ぶ際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

(N=254)

(36.6) 1 多くの運用商品があり過ぎて仕組みがわからない	(18.9) 6 安心して相談できる専門家がない
(33.1) 2 自分に適した運用商品がわからない	(6.7) 7 信頼できる金融機関がわからない
(12.6) 3 資産の配分方法がわからない	(2.4) 8 その他(具体的に)
(28.0) 4 分配金など損得の判断が難しい	(26.0) 9 困っていることはない
(15.0) 5 信頼できる情報がない	

(2.4) 無回答

【全員の方へ】

お仕事についておうかがいします。

問 33 あなたは、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(○は1つ) (N=2,164)

(62.2) 1 している	(6.4) 2 していない (求職中)	} →次ページの間 34 へお進みください
	(28.3) 3 していない (求職活動もしていない)	

(3.0) 無回答

【 問 33 で「1」と回答した方へ 】

問 33-1 あなたの現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(N=1,347) ※②業種は 26 ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

①雇用形態 (○は1つ)	(50.0)1 正社員・正規職員 (6.8) 2 嘱託・契約社員 (1.6) 3 派遣社員	(26.1)4 パート・アルバイト (3.6)5 自営業 (雇人あり) (7.0)6 自営業 (雇人なし)	(2.4)7 自営業の手伝い (0.3)8 内職 (1.3)9 その他 (具体的に) (1.0)無回答
②業種 (○は1つ)	(3.2)1 農林漁業 (6.8)2 建設業 (16.9)3 製造業	(4.5)4 運輸業、郵便業 (12.3)5 卸売業、小売業 (6.6)6 宿泊業、飲食サービス業	(14.1)7 医療、福祉 (9.7)8 公務、教育、電気水道業 (23.5)9 その他サービス業 (2.3)無回答
③職種 (○は1つ)	(19.8) 1 専門・技術的職業 (医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (5.5) 2 管理的な仕事 (企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (15.5) 3 事務的な仕事 (企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (13.5) 4 営業・販売の仕事 (小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (13.7) 5 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (3.6) 6 運輸・通信の仕事 (トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (0.8) 7 保安的職業 (警察官、消防士、自衛官、警備員など) (3.2) 8 農林漁業 (14.9) 9 サービスの職業 (理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (7.9) 10 その他 (具体的に) (1.5) 無回答		
④従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (○は1つ)	(14.2) 1 5人未満 (7.7) 2 5人以上 10人未満 (13.2) 3 10人以上 30人未満	(17.7) 4 30人以上 100人未満 (10.8) 5 100人以上 300人未満 (4.7) 6 300人以上 500人未満	(5.1) 7 500人以上 1,000人未満 (14.0) 8 1,000人以上 (3.7) 9 官公庁 (5.0)10 わからない (3.8)無回答 ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。
⑤就労時間	(16.3)10 時間未満 (8.8)20 時間未満 (32.84 時間)	(35.3)50 時間未満 (10.5)60 時間未満 (2.7)70 時間未満 (10.0)40 時間未満	(0.3)90 時間未満 (-)100 時間未満 (0.2)100 時間以上 (5.9)無回答 (内残業時間) 週平均(3.71 時間) (25.6)0 時間 (6.5)15 時間未満 (14.6)5 時間未満 (3.6)15 時間以上 (8.3)10 時間未満 (41.5)無回答
⑥就職時期 (現在の就業先について)	西暦 (0.2)1950年代以前 (7.6)1980年代 (48.9)2010年代	(1.1)1960年代 (13.4)1990年代 (7.8)無回答	(2.7)1970年代 (18.2)2000年代 ※25 ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。 ※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 ※自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。
⑦仕事に対する満足度 (○は1つ)	(17.6) 1 満足 (44.4) 2 まあまあ満足	(16.2) 3 やや不満 (7.5) 4 不満	(13.1) 5 どちらともいえない (1.2) 無回答

【 全員の方へ 】

問 34 あなたの配偶者は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。配偶者のいない方は「4 配偶者はいない」をお選びください。(〇は1つ)(N=2,164)

(40.8) 1 している	(3.1) 2 していない(求職中)	} →次ページの間 35 へお進みください
	(19.9) 3 していない(求職活動もしていない)	
	(32.1) 4 配偶者はいない	
(4.1) 無回答		

【 問 34 で「1」と回答した方へ 】

問 34-1 配偶者の方のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(N=883) ※②業種は 26 ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

①雇用形態 (〇は1つ)	(52.2)1 正社員・正規職員 (23.0)4 パート・アルバイト (2.8)7 自営業の手伝い (6.8)2 嘱託・契約社員 (4.9)5 自営業(雇人あり) (0.3)8 内職 (0.9)3 派遣社員 (7.8)6 自営業(雇人なし) (0.6)9 その他(具体的に) (0.7)無回答
②業種 (〇は1つ)	(3.3) 1 農林漁業 (5.9) 4 運輸業、郵便業 (13.1)7 医療、福祉 (8.5) 2 建設業 (11.9)5 卸売業、小売業 (11.6)8 公務、教育、電気水道業 (14.5) 3 製造業 (5.3) 6 宿泊業、飲食サービス業 (21.9)9 その他サービス業 (4.1)無回答
③職種 (〇は1つ)	(19.3) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (7.0) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (13.7) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (13.8) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (13.9) 5 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (5.3) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (2.3) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (3.3) 8 農林漁業 (13.1) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (5.7) 10 その他(具体的に) (2.6) 無回答
④従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ)	(15.5) 1 5人未満 (15.9) 4 30人以上100人未満 (4.3)7 500人以上1,000人未満 (6.2) 2 5人以上10人未満 (8.4) 5 100人以上300人未満 (13.6)8 1,000人以上 (10.6) 3 10人以上30人未満 (4.3) 6 300人以上500人未満 (3.9) 9 官公庁 (12.3)10 わからない (5.0)無回答 ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。
⑤就労時間	(15.1)10 時間未満 (29.6)50 時間未満 (0.3)90 時間未満 (内残業時間) 週平均(4.69 時間) 週平均 (7.2)20 時間未満 (13.6)60 時間未満 (0.1)100 時間未満 (22.2)0 時間 (7.5)15 時間未満 (33.82 時間) (9.4)30 時間未満 (4.2)70 時間未満 (0.2)100 時間以上 (9.1)5 時間未満 (5.1)15 時間以上 (7.2)40 時間未満 (0.9)80 時間未満 (12.1)無回答 (5.1)10 時間未満 (51.1)無回答
⑥就職時期 (現在の就業先について)	西暦 (0.1)1950 年代以前 (0.9)1960 年代 (3.2)1970 年代 月 (9.4)1980 年代 (15.5)1990 年代 (18.5)2000 年代 (37.7)2010 年代 (14.7)無回答 ※25 ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。 ※いったん退職した後と同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 ※自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。

収入と支出、社会保険についておうかがいします。

【全員の方へ】

問 35 (1)あなたご自身の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。収入なしの場合には「0」を記入してください。また、昨年1年間、就労していなかった場合は、「X 昨年1年間は、就労していなかった」に○をつけてください。(N=2,164)

(2)【配偶者がいる方に】 配偶者の方の就労収入も、ご記入ください。(N=2,164)

①あなた (税込)	②配偶者(税込)
(21.8)0 万円 (6.2)~500 万円未満 (0.8)~1000 万円未満 (8.1)~100 万円未満 (3.7)~600 万円未満 (1.1)~1500 万円未満 (9.4)~200 万円未満 (3.7)~700 万円未満 (0.3)~2000 万円未満 (8.4)~300 万円未満 (2.2)~800 万円未満 (0.3)2000 万円以上 (8.1)~400 万円未満 (2.5)~900 万円未満 (23.3)無回答	(12.2)0 万円 (3.6)~500 万円未満 (0.4)~1000 万円未満 (5.6)~100 万円未満 (3.5)~600 万円未満 (1.6)~1500 万円未満 (6.2)~200 万円未満 (2.0)~700 万円未満 (0.2)~2000 万円未満 (3.2)~300 万円未満 (1.8)~800 万円未満 (0.2)2000 万円以上 (4.6)~400 万円未満 (1.2)~900 万円未満 (37.8)無回答
X 昨年1年間は、就労していなかった	X 昨年1年間は、就労していなかった (16.1)Y 配偶者はいない

問 36 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしているご家族)の昨年1年間の総収入は、どこから得たもので
すか。次のうちあてはまるものすべてお答えください。(○はいくつでも) (N=2,164)

(55.4) 1 あなたの就業収入 (0.9) 6 失業給付 (0.4) 11 特別児童扶養手当
(37.6) 2 配偶者の就業収入 (0.2) 7 元夫(妻)からの養育費 (0.6) 12 生活保護
(12.1) 3 その他の世帯員の就業収入 (1.8) 8 親族からの援助 (5.1) 13 財産収入
(30.7) 4 公的年金・恩給 (7.9) 9 児童手当 (利子・配当・家賃など)
(13.8) 5 個人年金・企業年金 (1.0) 10 児童扶養手当 (1.8) 14 その他(具体的に)

(6.1) 無回答

問 36-1 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしているご家族)の昨年1年間の収入の総額は、およそいくら
ですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入(遺産
を除く)と、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。(N=2,164)

総収入:	(-)0 万円 (8.0)~500 万円未満 (2.4)~1000 万円未満 (1.7)~100 万円未満 (7.1)~600 万円未満 (7.2)~1500 万円未満 (3.9)~200 万円未満 (6.6)~700 万円未満 (1.8)~2000 万円未満 (7.1)~300 万円未満 (5.2)~800 万円未満 (0.7)2000 万円以上 (10.1)~400 万円未満 (5.0)~900 万円未満	(33.3)無回答
手取り:	(-)0 万円 (8.7)~500 万円未満 (0.9)~1000 万円未満 (4.7)~100 万円未満 (7.3)~600 万円未満 (2.8)~1500 万円未満 (6.1)~200 万円未満 (5.7)~700 万円未満 (0.4)~2000 万円未満 (10.5)~300 万円未満 (3.0)~800 万円未満 (0.2)2000 万円以上 (10.4)~400 万円未満 (2.6)~900 万円未満	(36.5)無回答

問 37 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしている家族)の、昨年のひと月あたりの支出はどのくらい
ですか。最も平均的な月について、お答えください。(N=2,164)

ひと月あたり (0.9)5 万円未満 (15.9)~25 万円未満 (5.0)~45 万円未満 (2.7)~10 万円未満 (10.3)~30 万円未満 (1.1)~50 万円未満 (8.7)~15 万円未満 (13.3)~35 万円未満 (4.1)50 万円以上 (11.6)~20 万円未満 (3.7)~40 万円未満 (22.7)無回答	※支出には次のものを含みます。 食費、光熱費、住宅ローンの返済・住宅費(住 宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久 消費財購入費、交通・通信費、教養娯楽・交 際費、医療費
---	---

問 38 お宅の家計の収支状況は次のうちどれが最も近いですか。(○は1つ) (N=2,164)

(23.8)1 黒字 (24.0)2 赤字 (40.6)3 収支ほぼ拮抗	(11.5)無回答
--------------------------------------	-----------

問 39 お宅の家計では金融資産を保有されていますか。保有されている場合は残高はいくら位ですか。
保有されていない場合は「0」とご記入ください。(N=2,164)

(46.2) 0万円 (3.5) ~200万円未満 (6.3) ~1000万円未満	(23.3)無回答
(1.3) ~30万円未満 (2.3) ~300万円未満 (5.2) ~2000万円未満	
(0.3) ~50万円未満 (2.7) ~400万円未満 (5.4) ~5000万円未満	
(1.1) ~100万円未満 (0.8) ~500万円未満 (1.7) 5000万円以上	

住居についておうかがいします。

問 40 現在のお宅はどのような住居ですか。親族の住居に同居しており、生計をともにしている場合はその住居についてお答えください。(○は1つ) (N=2,164)

(66.8) 1 持ち家 (一戸建て)	(3.0) 4 民間の借家 (一戸建て)	} →20 ページの 問 43 へお進み ください
(0.9) 2 持ち家 (定期借地権付き一戸建て住宅)	(11.7) 5 民間の借家 (マンション、アパート等の集合住宅)	
(10.5) 3 持ち家 (マンション)	(2.7) 6 住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅	
	(1.7) 7 社宅・官舎	
	(0.9) 8 その他 (具体的に)	

(1.8) 無回答

【問 40 で「1」～「3」と回答した方へ】

問 40-1 それはどなたの所有ですか。ご自分からみた続柄でお答えください。(○はいくつでも) (N=1,692)

(46.1) 1 本人 (自分)	(2.8) 3 子供	(0.8) 6 兄弟姉妹	(0.6) 9 その他
(35.6) 2 配偶者	(0.5) 4 子供の配偶者	(22.6) 7 親、配偶者の親	(具体的に)
	(0.1) 5 孫	(1.3) 8 祖父母、配偶者の祖父母	

(1.1) 無回答

→問 40-1 で「1」または「2」を選択しなかった方は次ページ問 41 へお進みください。

【問 40-1 で「1」または「2」と回答した方へ】

問 40-2 それはどのようにして取得されましたか。(○は1つ) (N=1,231)

(76.5) 1 自分または配偶者が購入した	(1.5) 3 その他 (具体的に)	→次ページの間 41 へお進みください
(19.0) 2 相続または譲渡を受けた		

(2.9) 無回答

【問 40-2 で「1」または「2」と回答した方へ】

問 40-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(N=1,176)

(0.9) 1950年代以前	(12.3) 1980年代	(23.5) 2010年代
(2.3) 1960年代	(15.6) 1990年代	(13.4) 無回答
(7.1) 1970年代	(24.8) 2000年代	

※25 ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

【問 40-2 で「1」と回答した方へ】 →問 40-2 で「2」と回答した方は、問 41 へお進みください

問 40-4 自己資金以外の購入資金を利用しましたか。利用された場合はそれぞれの金額をお答えください。

※利用されていない場合は「× 利用していない」に○をおつけください。(N=942)

①金融機関からの 借入金	(13.7) 0万円	(0.5) ～300万円未満	(6.2) ～1000万円未満	(36.2) ～5000万円未満
	(0.7) ～100万円未満	(1.6) ～500万円未満	(18.5) ～2000万円未満	(2.4) 5000万円以上
②それ以外の 借入金	(52.1) 0万円	(0.7) ～300万円未満	(1.7) ～1000万円未満	(1.0) ～5000万円未満
	(0.2) ～100万円未満	(0.7) ～500万円未満	(1.6) ～2000万円未満	(-) 5000万円以上
③親族からの 援助	(46.5) 0万円	(3.1) ～300万円未満	(3.5) ～1000万円未満	(1.3) ～5000万円未満
	(0.6) ～100万円未満	(2.4) ～500万円未満	(4.1) ～2000万円未満	(0.2) 5000万円以上

(20.2) 無回答

(41.9) 無回答

(38.2) 無回答

【① 金融機関からの借入金】をお答えの方は問 40-5 へ。それ以外の方は問 41 へお進みください。

問 40-5 次のうちの主にどの金融機関から調達されましたか。(○は1つ) (N=623)

(67.1) 1 民間金融機関	(29.2) 2 住宅金融支援機構 (旧住宅金融公庫)	} 問 41 へお進みください
(1.6) 3 その他 (具体的に)		

(2.1) 無回答

【問 40-5 で「1」と回答した方へ】

問 40-5-1 民間金融機関はどちらでしたか。複数ある場合は、主な金融機関1つだけをお答えください。

※銀行の種別は、末尾の「銀行一覧」をご参照ください (○は1つ) (N=418)

(24.4) 1 都市銀行	(14.4) 6 信用金庫	(0.2) 無回答
(37.6) 2 地方銀行	(1.9) 7 信用組合	
(2.6) 3 第二地方銀行	(6.2) 8 労働金庫	
(4.3) 4 信託銀行	(7.2) 9 JAバンク (農協・漁協)	
(1.0) 5 ネット銀行	(0.2) 10 その他 (具体的に)	

問 40-5-2 その金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちどれにあてはまりますか。(○は1つ)

(N=418)

(38.5) 1 変動金利型	(5.7) 4 全期間固定金利型 (10 年以下)	(4.8) 無回答
(24.4) 2 固定金利期間選択型 (10 年以下)	(12.4) 5 全期間固定金利型 (10 年超)	
(12.9) 3 固定金利期間選択型 (10 年超)	(1.2) 6 その他 (具体的に)	

問 40-5-3 その金融機関から借入れたときの金利はおおよそどの位でしたか。小数第1位までご記入ください。

(N=418)

(3.8) ~0.5%未満	(7.9) ~2.0%未満	(3.8) ~3.5%未満	(0.2) ~5.0%未満	(36.6) 無回答
(12.9) ~1.0%未満	(9.1) ~2.5%未満	(1.4) ~4.0%未満	(8.4) 5.0%以上	
(10.0) ~1.5%未満	(4.1) ~3.0%未満	(1.7) ~4.5%未満		

【問 40 で「1~3」または「8」と回答した方(持ち家・その他の住居にお住まいの方)に】

問 41 お住まいの住居はどのような構造ですか。(○は1つ) (N=1,711)

(61.7) 1 木造	(1.1) 3 ブロック造	(3.8) 5 その他	(10.2) 無回答
(4.5) 2 防火木造	(18.8) 4 鉄筋コンクリート	(具体的に)	

問 41-1 お住まいの住居は築後何年になりますか。(N=1,711)

築後	(11.2) 10 年未満	(16.9) ~30 年未満	(13.9) ~50 年未満	(11.3) 無回答
	(19.6) ~20 年未満	(16.5) ~40 年未満	(10.5) 50 年以上	

問 41-2 敷地面積、床面積はそれぞれいくらですか。(マンションは床面積のみ)

(N=1,484)

ア) 敷地面積 () m ²	(2.9) 50 m ² 未満	(11.6) ~200 m ² 未満	(10.0) ~500 m ² 未満	(38.2) 無回答
	(8.6) ~100 m ² 未満	(11.9) ~300 m ² 未満	(7.7) 500 m ² 以上	
	(9.2) ~150 m ² 未満			

(N=1,711)

イ) 床面積 () m ²	(5.3) 50 m ² 未満	(8.0) ~200 m ² 未満	(1.7) ~500 m ² 未満	(41.0) 無回答
	(19.1) ~100 m ² 未満	(4.5) ~300 m ² 未満	(0.3) 500 m ² 以上	
	(20.0) ~150 m ² 未満			

※1坪=3.3 m²として算出してください。

問 42 現在のお住まいについて、3年後のその資産価値はどうなると思いますか。

マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(○は1つ) (N=1,711)

(36.1) 1 下がる	(14.2) 3 変わらない	} 次ページの間 44 へお進みください
(1.1) 2 上がる→次ページの間 42-2 へお進みください	(36.9) 4 わからない	

(11.8) 無回答

【問 42 で「1」と回答した方へ】

問 42-1 下がる幅はおおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (N=617)

(17.5) 1 50%以上	(14.3) 3 30%未満~20%以上	(24.3) 5 10%未満~5%以上	(6.2) 無回答
(12.3) 2 50%未満~30%以上	(14.1) 4 20%未満~10%以上	(11.3) 6 5%未満	

【問 42 で「2」と回答した方へ】

問 42-2 上がる幅はおよそどの程度とお考えですか。(○は1つ) (N=18)

(38.9)1 5%未満 (11.1)3 10%以上～20%未満 (-)5 30%以上～50%未満 (-)7 100%以上
 (33.3)2 5%以上～10%未満 (5.6)4 20%以上～30%未満 (-)6 50%以上～100%未満

(11.1) 無回答

【問 40 で「4」～「7」と回答した方(「持ち家」以外にお住まいの方)へ】

問 43 ひと月の家賃はどれくらいですか。(千円未満は四捨五入してお答えください。)

支払っていない場合は、「0」とご記入ください。(N=414)

(9.9) 3万円未満 (14.7) ～7万円未満 (4.8) ～9万円未満 (7.7) ～20万円未満
 (18.4) ～5万円未満 (9.9) ～8万円未満 (3.4) ～10万円未満 (0.7) 20万円以上
 (12.3) ～6万円未満

(18.1) 無回答

金融機関の利用についておうかがいします。

【 全員の方へ 】

問 44 (1) 現在、あなたが預金等をされている銀行等の金融機関は、次のどこですか。(○はいくつでも)

(2) 預金等をされている金融機関のうち、最も預金残高が多い金融機関はどこですか。(○は1つ)

※銀行の種別は、末尾の「銀行一覧」をご参照ください

	(1) 預金等のある金融機関 (いくつでも) (N=2,164) ↓	(2) 預金残高が最も多い金融 機関 (1つだけ) (N=2,027) ↓
都市銀行	(33.7)	(19.4)
地方銀行	(52.7)	(29.9)
第二地方銀行	(4.9)	(1.9)
信託銀行	(3.0)	(0.7)
ゆうちょ銀行(郵便局)	(58.1)	(17.4)
ネット銀行	(7.8)	(1.6)
信用金庫	(21.6)	(8.9)
信用組合	(4.5)	(1.2)
労働金庫	(5.0)	(1.2)
JAバンク(農協・漁協)	(20.0)	(7.4)
外国銀行	(0.4)	(-)
その他(具体的に)	(1.0)	(0.6)
預金等をしていない金融機関はない	(1.9)	(0.6)

無回答

(4.4)

(9.7)

→ 次ページの間 47 へお進みください

【 問 44(1)で「1」～「12」のいずれかを回答した方(預金等をしていない金融機関がある方)に 】

問 45 最近1か月で入出金のあった金融機関は、次のどこですか。(○はいくつでも)

※銀行の種別は、末尾の「銀行一覧」をご参照ください(N=2,027)

(29.3) 1 都市銀行 (3.5) 8 信用組合
 (46.6) 2 地方銀行 (3.2) 9 労働金庫
 (3.5) 3 第二地方銀行 (14.3) 10 JAバンク(農協・漁協)
 (36.3) 4 ゆうちょ銀行(郵便局) (0.1) 11 外国銀行
 (1.0) 5 信託銀行 (0.4) 12 その他(具体的に)
 (4.6) 6 ネット銀行 (1.4) 13 この1ヶ月で入出金はない
 (14.7) 7 信用金庫

(2.5) 無回答

問 46 問 44(2)で回答した、最も預金残高が多い金融機関で利用されているサービスは次のどれですか。

(○はいくつでも) (N=1,831)

(46.1)	1	クレジットカードの引き落とし	(0.5)	9	国債・地方債
(48.1)	2	ATMの利用	(2.3)	10	投資信託
(8.1)	3	スマホ決済	(2.6)	11	NISA・iDeCo
(34.3)	4	給与受取	(8.0)	12	住宅ローン
(23.3)	5	年金受取	(1.5)	13	カードローン
(45.4)	6	口座振替・自動支払	(0.9)	14	資産運用や相続などに関する相談
(30.1)	7	各種の支払い・振込み	(4.0)	15	その他(具体的に)
(24.1)	8	生命保険・損害保険			

(6.4) 無回答

【 全員の方へ 】

問 47 あなたが利用されている金融機関のうち、行員等がいる窓口(銀行等の窓口)を利用されているのは次のどこですか。(○はいくつでも) (N=2,164)

(20.3)	1	都市銀行	(15.3)	7	信用金庫
(40.1)	2	地方銀行	(2.3)	8	信用組合
(2.9)	3	第二地方銀行	(1.5)	9	労働金庫
(37.3)	4	ゆうちょ銀行(郵便局)	(13.7)	10	JAバンク(農協・漁協)
(1.1)	5	信託銀行	(0.6)	11	その他(具体的に)
(-)	6	外国銀行	(16.7)	12	銀行等の窓口の利用はしていない

→23 ページの F1 へお進みください

(4.4) 無回答

【問 47 で「1～11」のいずれかにご回答の方(銀行等の窓口を利用する方)に】

問 48 あなたが銀行等の窓口を利用される目的は次のどれですか。(○はいくつでも) (N=1,707)

(54.6)	1	普通預金・通常貯金	(42.6)	10	現金での振込み・払込み
(27.0)	2	定期預金・定額貯金	(22.7)	11	口座振替・自動引落などの決済手続き
(0.8)	3	外貨預金	(10.6)	12	両替
(2.1)	4	国債や投資信託の購入	(1.3)	13	金融商品やサービスに関する情報の入手
(2.1)	5	NISA や iDeCo の利用	(0.6)	14	資産運用や借入れに関する相談
(1.8)	6	保険商品の購入	(0.5)	15	相続・贈与などに関する相談
(3.2)	7	住宅ローンの借入れ	(9.5)	16	住所変更などの諸手続き
(1.2)	8	教育ローンやマイカーローンの借入れ	(2.2)	17	その他(具体的に)
(0.4)	9	カードローンの借入れ			

(4.5) 無回答

問 49 あなたが、銀行等の窓口を利用される理由は次のどれですか。(○はいくつでも) (N=1,707)

(62.9)	1	銀行等の窓口でしか取引できない用事だから	(3.0)	6	ATMやネットバンキングなどでの取引方法がわからないから
(19.9)	2	行員や職員のサポートがあり手続きが楽だから	(2.2)	7	ネットバンキングのセキュリティが不安だから
(12.0)	3	行員や職員に相談できるから	(2.1)	8	その他(具体的に)
(3.9)	4	行員や職員と顔なじみだから			
(7.5)	5	他の用事のついでだから			

(7.6) 無回答

問 50 あなたが、銀行等の窓口を利用される頻度はどの程度ですか。(○は1つ) (N=1,707)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| (3.7) 1 週に1回以上 | (16.7) 4 半年に1回以上 |
| (28.1) 2 月に1回以上 | (24.1) 5 年に1回以上 |
| (15.8) 3 2~3か月に1回以上 | (9.3) 6 過去1年間には利用していない |

(2.2) 無回答

問 51 あなたが最もよく窓口を利用する金融機関はどれですか。(○は1つ) (N=1,707)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (16.7) 1 都市銀行 | (10.5) 7 信用金庫 |
| (34.9) 2 地方銀行 | (1.1) 8 信用組合 |
| (1.7) 3 第二地方銀行 | (0.8) 9 労働金庫 |
| (23.1) 4 ゆうちょ銀行(郵便局) | (8.5) 10 JAバンク(農協・漁協) |
| (0.1) 5 信託銀行 | (0.4) 11 その他(具体的に) |
| (-) 6 外国銀行 | |

(2.2) 無回答

問 52 問 51 でご回答の、あなたが最もよく窓口を利用する金融機関は、「どこ」の近くにありますか。複数当てはまる場合は、最も当てはまるものを1つお選びください。(○は1つ) (N=1,707)

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| (65.0) 1 自宅 | (3.9) 4 役所・役場など公的な用事でよく行く場所 |
| (12.5) 2 勤務先・学校 | (8.7) 5 買い物や食事で利用する繁華街やお店 |
| (5.4) 3 ふだん利用する駅やバス停 | (1.6) 6 その他(具体的に) |

(2.8) 無回答

問 53 あなたが最もよく窓口を利用する金融機関の店舗は、2年前と同じですか。(○は1つ)(N=1,707)

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| (91.9) 1 同じである →次ページのF1へお進みください | (5.2) 2 変えた |
|---------------------------------|-------------|

(3.0) 無回答

【問 53 で「2」と回答した方へ】

問 53-1 最もよく窓口を利用する金融機関の店舗を変えた最も大きな理由は次のどれですか。(○は1つ) (N=88)

- | | |
|---|---|
| (22.7) 1 利用していた店舗がなくなったから | (3.4) 5 サービスが悪いから |
| (1.1) 2 鉄道やバスなどの公共交通の廃止で利用していた店舗へ行くのが不便になったから | (3.4) 6 近くに新しい金融機関の店舗ができたから |
| (50.0) 3 転居したから | (2.3) 7 夕方・夜間・休日にも窓口が開いている店舗を利用するようになったから |
| (1.1) 4 顔なじみの行員や職員がいなくなったから | (15.9) 8 その他(具体的に) |

(-)無回答

最後に、あなたとご家族についておうかがいします。

F1 あなたの性別をお知らせください。(○は1つ) (N=2,164)

(45.1)1 男性	(54.9)2 女性	(-) 無回答
------------	------------	---------

F2 あなたの生年月(西暦)を教えてください。(N=2,164)

(7.3) 1930年代以前	(17.7) 1940年代	(17.3) 1950年代	(17.3) 1960年代	(17.7) 1970年代
(12.8) 1980年代	(9.9) 1990年代			

(-) 無回答

F3 あなたは現在、ご結婚されていますか。(○は1つ) (N=2,164)

(65.4) 1 既婚	(21.3) 2 未婚	(12.1) 3 離別・死別	(1.2) 無回答
-------------	-------------	----------------	-----------

F4 現在、あなたの健康状態は良好ですか。既婚の方は配偶者についてもお答えください。配偶者のいない方は「5 配偶者はいない」をお選びください。(○はそれぞれ1つずつ) (N=2,164)

		健康である	まあ健康である	あまり健康でない	健康でない	配偶者はいない	無回答
あなた ⇒		(40.6)	(42.1)	(10.7)	(4.4)		(2.2)
配偶者 ⇒		(26.4)	(28.9)	(6.2)	(2.4)	(23.2)	(12.8)

F5 あなた、あなた自身のご両親、配偶者(離別・死別の場合は元配偶者を含む)が最後に卒業された学校はどちらですか。(○はそれぞれ1つずつ) (N=2,164)

	あなた	あなたの父親	あなたの母親	配偶者
中学校(旧制小・高等小)	(9.8)	(31.3)	(29.8)	(7.0)
高等学校(旧制中・旧制高女)	(39.0)	(29.3)	(36.3)	(31.1)
専修学校・各種学校	(9.9)	(2.6)	(3.4)	(5.8)
短大・高等専門学校	(12.8)	(3.0)	(7.6)	(8.5)
大学・大学院(文系)	(17.3)	(9.9)	(4.3)	(13.6)
大学・大学院(理系)	(7.3)	(5.1)	(0.8)	(5.4)
その他(具体的に)	(0.9)	(0.5)	(0.3)	(0.4)
わからない	(0.2)	(11.3)	(10.6)	(1.0)
無回答	(2.9)	(6.9)	(6.8)	(27.3)

F6 ご家族の生計を主として維持している方からみて、あなたは次のどの立場にあたりますか。(○は1つ) (N=2,164)

(49.4) 1 本人	(0.5) 4 兄弟・姉妹	(13.2) 7 子
(31.1) 2 配偶者	(3.0) 5 親	(0.4) 8 子の配偶者
(0.3) 3 内縁の妻(夫)	(0.1) 6 配偶者の親	(0.4) 9 その他(具体的に)

(-) 無回答

F7 あなたのご家庭(住居と生計をともにしている人々)は、あなたも含めて何人ですか。(別居している方は除いてお答えください。)(N=2,164)

(11.5)1人	(30.7)2人	(23.2)3人	(19.5)4人	(6.9)5人	(3.3)6人	(1.9)7人以上
----------	----------	----------	----------	---------	---------	-----------

(-) 無回答

F8 ご自身のお子さん(養子や継子を含む)は全部で何人いらっしゃいますか。生計をともにしている・していないにかかわらず、また、同居・別居に関係なくお答えください。(お子さんがいらっしゃらない場合は「0」とご記入ください。)(N=2,164)

(27.4)0人	(13.6)1人	(36.3)2人	(14.0)3人	(4.5)4人以上
(4.1)無回答				

【ご自身のお子さん(養子や継子を含む)がいらっしゃる方へ】

F9 それぞれのお子さんの状況について、①～⑤の項目にお答えください。

	1人目(N=1,482)	2人目(N=1,187)	3人目(N=401) ※4人以上の場合は 末子について
①性別(○は1つ)	(50.7)1 男 (47.4)2 女 (1.9)無回答	(47.8)1 男 (48.7)2 女 (3.5)無回答	(44.9)1 男 (45.6)2 女 (9.5)無回答
②生年月(西暦)	(1.8)1950年代以前 (15.9)1990年代 (8.8)1960年代 (15.9)2000年代 (18.3)1970年代 (12.2)2010年代 (17.2)1980年代 (10.1)無回答	(0.9)1950年代以前 (15.6)1990年代 (7.2)1960年代 (14.2)2000年代 (17.7)1970年代 (14.2)2010年代 (18.4)1980年代 (11.9)無回答	(0.2)1950年代以前 (14.7)1990年代 (4.7)1960年代 (12.7)2000年代 (13.2)1970年代 (13.7)2010年代 (20.2)1980年代 (20.4)無回答
③同別居状況 (○は1つ)	(48.0)1 同居 (48.8)2 別居 (3.2)無回答	(45.0)1 同居 (49.8)2 別居 (5.2)無回答	(41.1)1 同居 (48.1)2 別居 (10.7)無回答
④健康状態 (○は1つ)	(88.7)1 おおむね良好 (5.7)2 軽い持病あり (0.8)3 重病・難病あり (1.5)4 障害あり (3.3)無回答	(89.6)1 おおむね良好 (3.8)2 軽い持病あり (0.3)3 重病・難病あり (1.5)4 障害あり (4.8)無回答	(84.8)1 おおむね良好 (3.7)2 軽い持病あり (0.5)3 重病・難病あり (0.5)4 障害あり (10.5)無回答
⑤学校等教育機関 での在籍状況 (○は1つ)	(3.3)1 認可保育園 (0.2)2 認可外保育施設(認証 保育園、ベビーホテル等) (2.2)3 幼稚園 (24.2)4 小中高校(国公立) (5.4)5 小中高校(私立) (6.3)6 短大・高専 (15.0)7 大学・大学院 (1.1)8 その他教育機関 (33.6)9 該当なし (8.7)無回答	(4.2)1 認可保育園 (0.3)2 認可外保育施設(認証 保育園、ベビーホテル等) (2.3)3 幼稚園 (22.7)4 小中高校(国公立) (4.7)5 小中高校(私立) (7.2)6 短大・高専 (14.7)7 大学・大学院 (1.4)8 その他教育機関 (31.5)9 該当なし (10.9)無回答	(4.7)1 認可保育園 (0.5)2 認可外保育施設(認証 保育園、ベビーホテル等) (2.5)3 幼稚園 (23.2)4 小中高校(国公立) (4.2)5 小中高校(私立) (6.2)6 短大・高専 (11.7)7 大学・大学院 (0.5)8 その他教育機関 (31.7)9 該当なし (14.7)無回答

F10 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか。(○はいくつでも)(N=2,164)

(62.9) 1 配偶者	(3.8) 5 孫	(0.4) 9 友人・知人
(0.8) 2 内縁の夫(妻)	(20.6) 6 あなたの親	(2.4) 10 その他
(32.3) 3 未婚の子ども	(4.3) 7 配偶者の親	(具体的な)
(8.4) 4 既婚の子ども	(5.8) 8 その他の親族	(10.7) 11 いない(自分1人だけ)

(2.3)無回答

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

西暦・元号対比表

西曆	元号
1920年	大正 9年
1921年	大正 10年
1922年	大正 11年
1923年	大正 12年
1924年	大正 13年
1925年	大正 14年
1926年	大正 15年 昭和 元年
1927年	昭和 2年
1928年	昭和 3年
1929年	昭和 4年
1930年	昭和 5年
1931年	昭和 6年
1932年	昭和 7年
1933年	昭和 8年
1934年	昭和 9年
1935年	昭和 10年
1936年	昭和 11年
1937年	昭和 12年
1938年	昭和 13年
1939年	昭和 14年
1940年	昭和 15年
1941年	昭和 16年
1942年	昭和 17年
1943年	昭和 18年
1944年	昭和 19年
1945年	昭和 20年

西曆	元号
1946年	昭和 21年
1947年	昭和 22年
1948年	昭和 23年
1949年	昭和 24年
1950年	昭和 25年
1951年	昭和 26年
1952年	昭和 27年
1953年	昭和 28年
1954年	昭和 29年
1955年	昭和 30年
1956年	昭和 31年
1957年	昭和 32年
1958年	昭和 33年
1959年	昭和 34年
1960年	昭和 35年
1961年	昭和 36年
1962年	昭和 37年
1963年	昭和 38年
1964年	昭和 39年
1965年	昭和 40年
1966年	昭和 41年
1967年	昭和 42年
1968年	昭和 43年
1969年	昭和 44年
1970年	昭和 45年
1971年	昭和 46年

西曆	元号
1972年	昭和 47年
1973年	昭和 48年
1974年	昭和 49年
1975年	昭和 50年
1976年	昭和 51年
1977年	昭和 52年
1978年	昭和 53年
1979年	昭和 54年
1980年	昭和 55年
1981年	昭和 56年
1982年	昭和 57年
1983年	昭和 58年
1984年	昭和 59年
1985年	昭和 60年
1986年	昭和 61年
1987年	昭和 62年
1988年	昭和 63年
1989年	昭和 64年 平成 元年
1990年	平成 2年
1991年	平成 3年
1992年	平成 4年
1993年	平成 5年
1994年	平成 6年
1995年	平成 7年
1996年	平成 8年
1997年	平成 9年

西曆	元号
1998年	平成 10年
1999年	平成 11年
2000年	平成 12年
2001年	平成 13年
2002年	平成 14年
2003年	平成 15年
2004年	平成 16年
2005年	平成 17年
2006年	平成 18年
2007年	平成 19年
2008年	平成 20年
2009年	平成 21年
2010年	平成 22年
2011年	平成 23年
2012年	平成 24年
2013年	平成 25年
2014年	平成 26年
2015年	平成 27年
2016年	平成 28年
2017年	平成 29年
2018年	平成 30年
2019年	平成31年 令和元年

業種分類表

1 農林漁鉱業	農業、林業、漁業、水産養殖業、鉱業、採石業、砂利採取業
2 建設業	総合工事業、一般土木建築工事業、土木工事業、舗装工事業、建築工事業、木造建築工事業、建築リフォーム工事業、大工工事業、とび・土木・コンクリート工事業、鉄骨・鉄筋工事業、石工・れんが・タイル・ブロック工事業、左官工事業、板金・金物工事業、塗装工事業、床・内装工事業、その他の職別工事業、電気工事業、電気通信・信号装置工事業、管工事業、機械器具設置工事業、その他の設備工事業
3 製造業	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、なめし革・同製品・毛皮製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、その他の製造業
4 運輸業、郵便業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、郵便業
5 卸売業、小売業	各種商品卸売業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料・鉱物・金属材料等卸売業、機械器具卸売業、その他の卸売業、各種商品小売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、機械器具小売業、その他の小売業、無店舗小売業
6 宿泊業、飲食サービス業	宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業
7 医療、福祉	医療業、保険衛生、社会保険・社会福祉・介護事業
8 公務、教育、電気水道業	国家公務（他に分類されないもの）、地方公務（他に分類されないもの）、学校教育、その他の教育、学習支援業、電気業、ガス業、熱供給業、水道業
9 その他サービス業	情報通信業（通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業）、金融・保険業（銀行業、協同組織金融業、貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関、金融商品取引業、商品先物取引業、補助的金融業等、保険業＜保険媒介代理業、保険サービス業を含む＞）、不動産業、物品賃貸業（不動産取引業、不動産賃貸業・管理業、物品賃貸業）、複合サービス事業（郵便局、協同組合＜他に分類されないもの＞）、学術研究、専門・技術サービス業（学術・開発研究機関、専門サービス業＜他に分類されないもの＞、広告業、技術サービス業＜他に分類されないもの＞）、生活関連サービス業、娯楽業（洗濯・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業、娯楽業）、サービス業（他に分類されないもの＜廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者派遣業、その他の事業サービス業、政治・経済・文化団体、宗教、その他のサービス業、外国公務＞）、分類不能の産業

銀行一覧

都市銀行	みずほ銀行、三菱 UFJ 銀行、三井住友銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行
地方銀行 (北から南の順)	北海道銀行、青森銀行、みちのく銀行、秋田銀行、北都銀行、荘内銀行、山形銀行、岩手銀行、東北銀行、七十七銀行、東邦銀行、群馬銀行、足利銀行、常陽銀行、筑波銀行、武蔵野銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、きらぼし銀行、横浜銀行、第四銀行、北越銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、北陸銀行、富山銀行、北國銀行、福井銀行、静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、大垣共立銀行、十六銀行、三重銀行、百五銀行、滋賀銀行、京都銀行、関西みらい銀行、池田泉州銀行、南都銀行、紀陽銀行、但馬銀行、鳥取銀行、山陰合同銀行、中国銀行、広島銀行、山口銀行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、北九州銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、十八銀行、親和銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、琉球銀行、沖縄銀行
第二地方銀行 (北から南の順)	北洋銀行、きらやか銀行、北日本銀行、仙台銀行、福島銀行、大東銀行、東和銀行、栃木銀行、京葉銀行、東日本銀行、東京スター銀行、神奈川銀行、大光銀行、長野銀行、富山第一銀行、福邦銀行、静岡中央銀行、愛知銀行、名古屋銀行、中京銀行、第三銀行、大正銀行、みなと銀行、島根銀行、トマト銀行、もみじ銀行、西京銀行、徳島銀行、香川銀行、愛媛銀行、高知銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、熊本銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行
信託銀行	三菱 UFJ 信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、野村信託銀行、ニューヨークメロン信託銀行、日本マスタートラスト信託銀行、オリックス銀行、ステート・ストリート信託銀行、SMBC 信託銀行、GMO あおぞらネット銀行、農中信託銀行、新生信託銀行、日証金信託銀行、日本トラスティ・サービス信託銀行、資産管理サービス信託銀行
ネット銀行	ジャパンネット銀行、ソニー銀行、楽天銀行、住信 SBI ネット銀行、じぶん銀行、大和ネクスト銀行